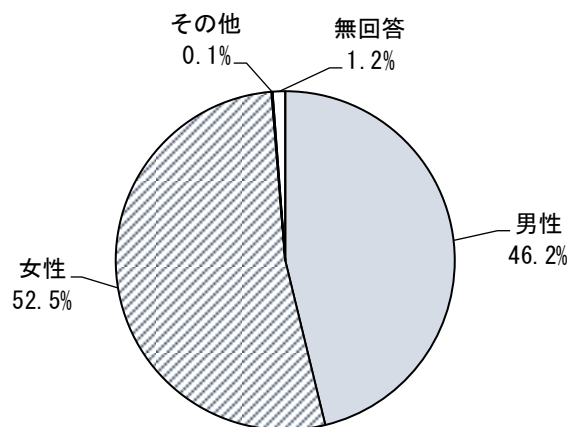


## Ⅱ 調査結果

### (1) 回答者属性

#### F 1 性別

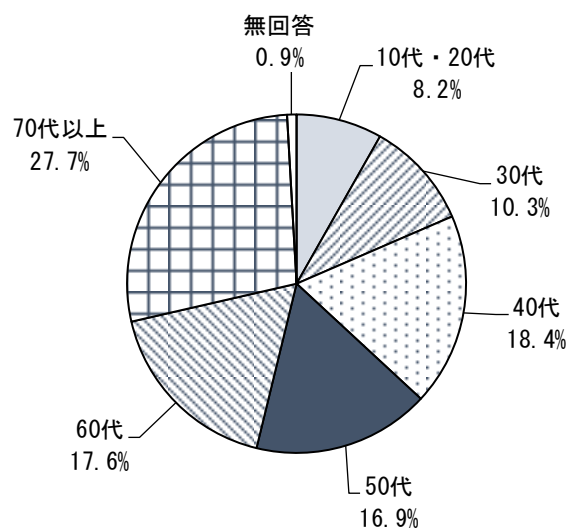
「男性」の割合が46.2%、「女性」の割合が52.5%となっています。



(n=1,278)

#### F 2 年齢

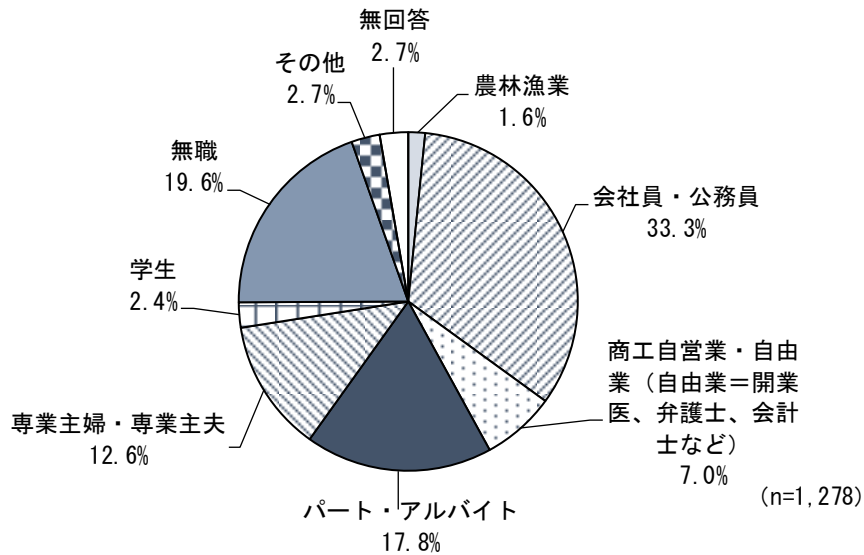
「70代以上」(27.7%)が最も多く、続いて「40代」(18.4%)、「60代」(17.6%)となっています。



(n=1,278)

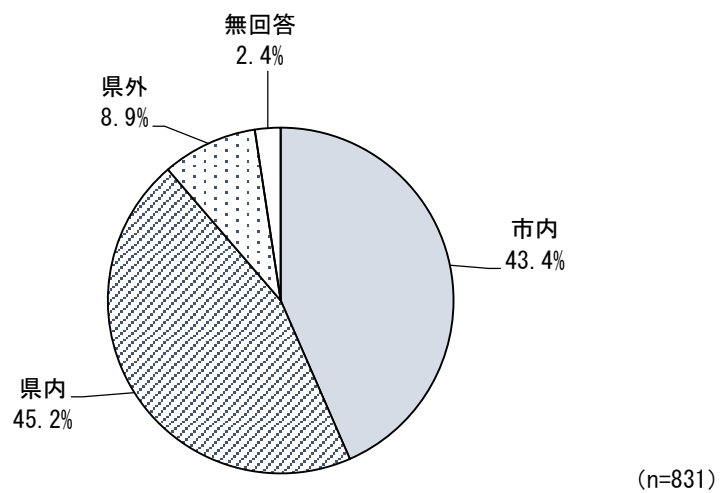
### F 3 職業

「会社員・公務員」(33.3%)が最も多く、続いて「無職」(19.6%)、「パート・アルバイト」(17.8%)となっています。



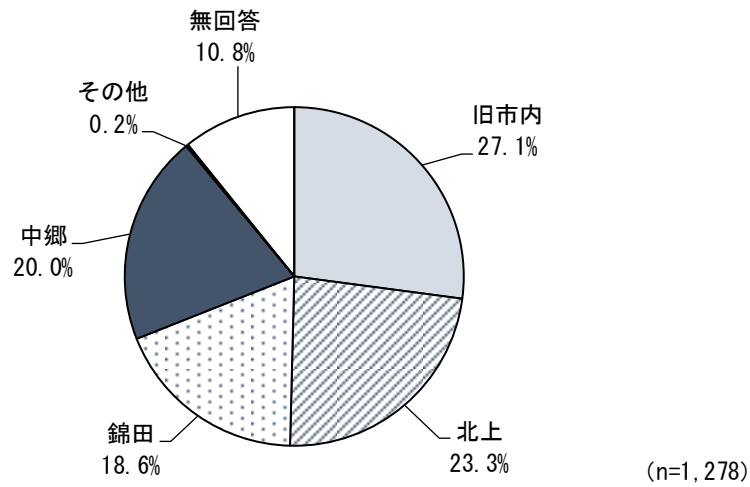
### F 4 職場

「県内」(45.2%)が最も多く、続いて「市内」(43.4%)、「県外」(8.9%)となっています。



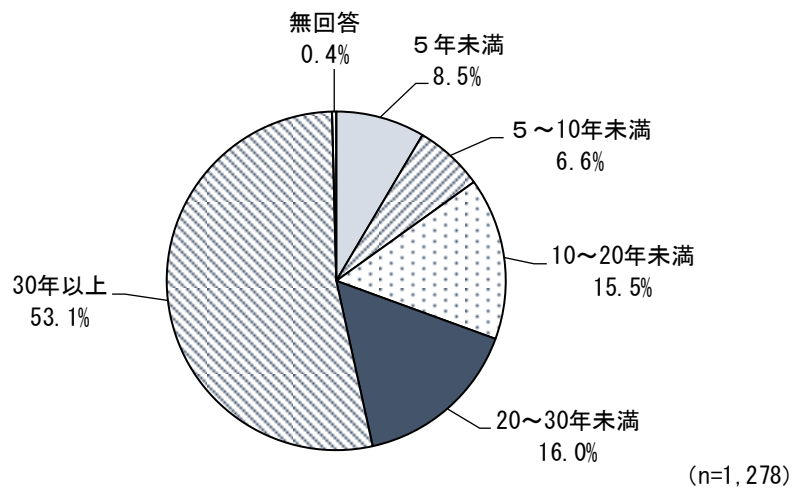
## F 5 居住地区

「旧市内」(27.1%)が最も多く、続いて「北上」(23.3%)、「中郷」(20.0%)となっています。



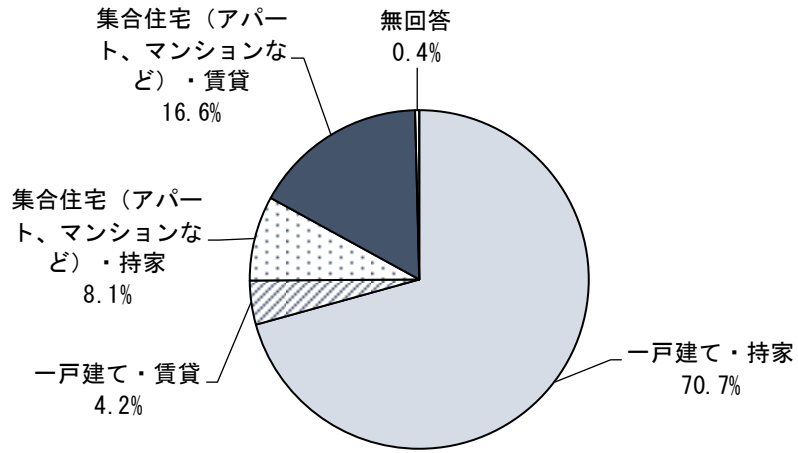
## F 6 在住歴

「30年以上」(53.1%)が最も多く、続いて「20~30年未満」(16.0%)、「10~20年未満」(15.5%)となっています。



## F7 住宅

「一戸建て・持家」(70.7%) が最も多く、続いて「集合住宅(アパート、マンションなど)・賃貸」(16.6%)、「集合住宅(アパート、マンションなど)・持家」(8.1%) となっています。



(n=1,278)

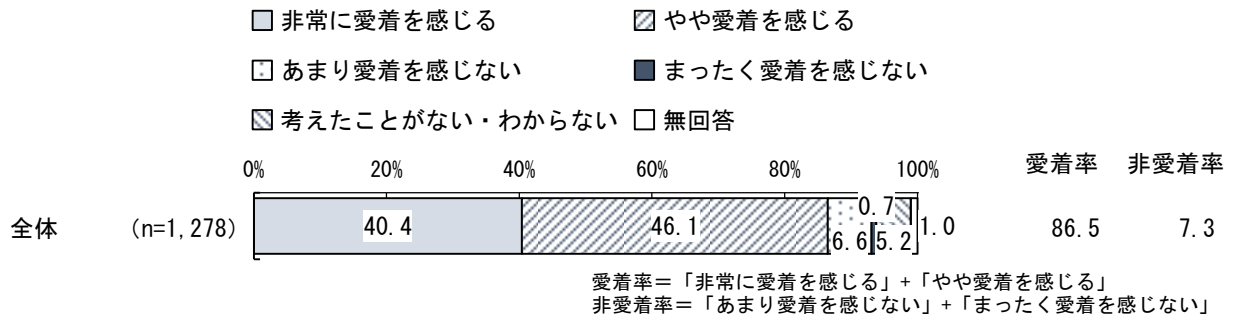
## (2) 居住環境について

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(〇は一つ)

### － “三島市への愛着率” は86.5%－

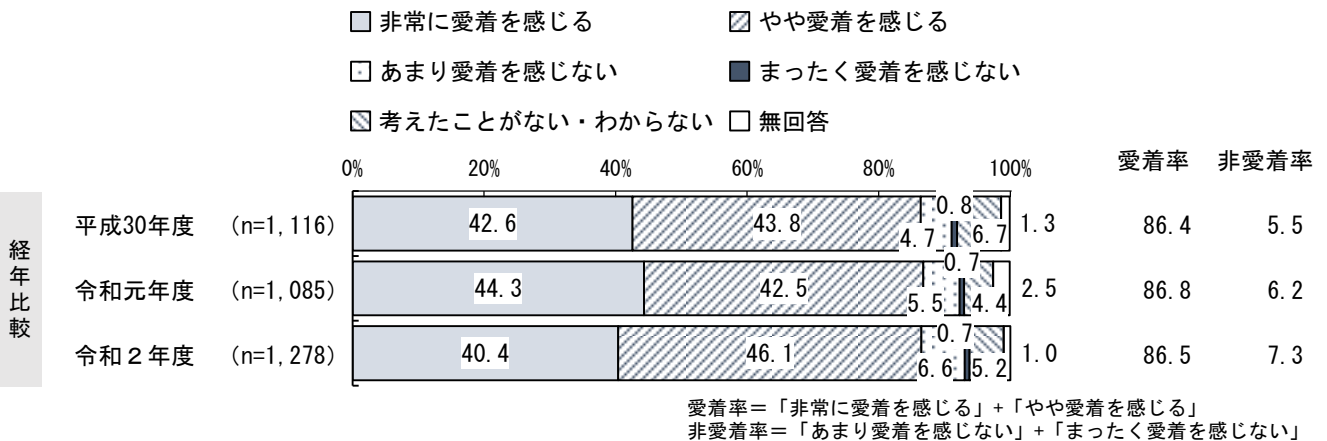
「非常に愛着を感じる」(40.4%)と「やや愛着を感じる」(46.1%)を合わせた“愛着率”は86.5%となっています。

「あまり愛着を感じない」(6.6%)と「まったく愛着を感じない」(0.7%)を合わせた“非愛着率”は7.3%となっています。



### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

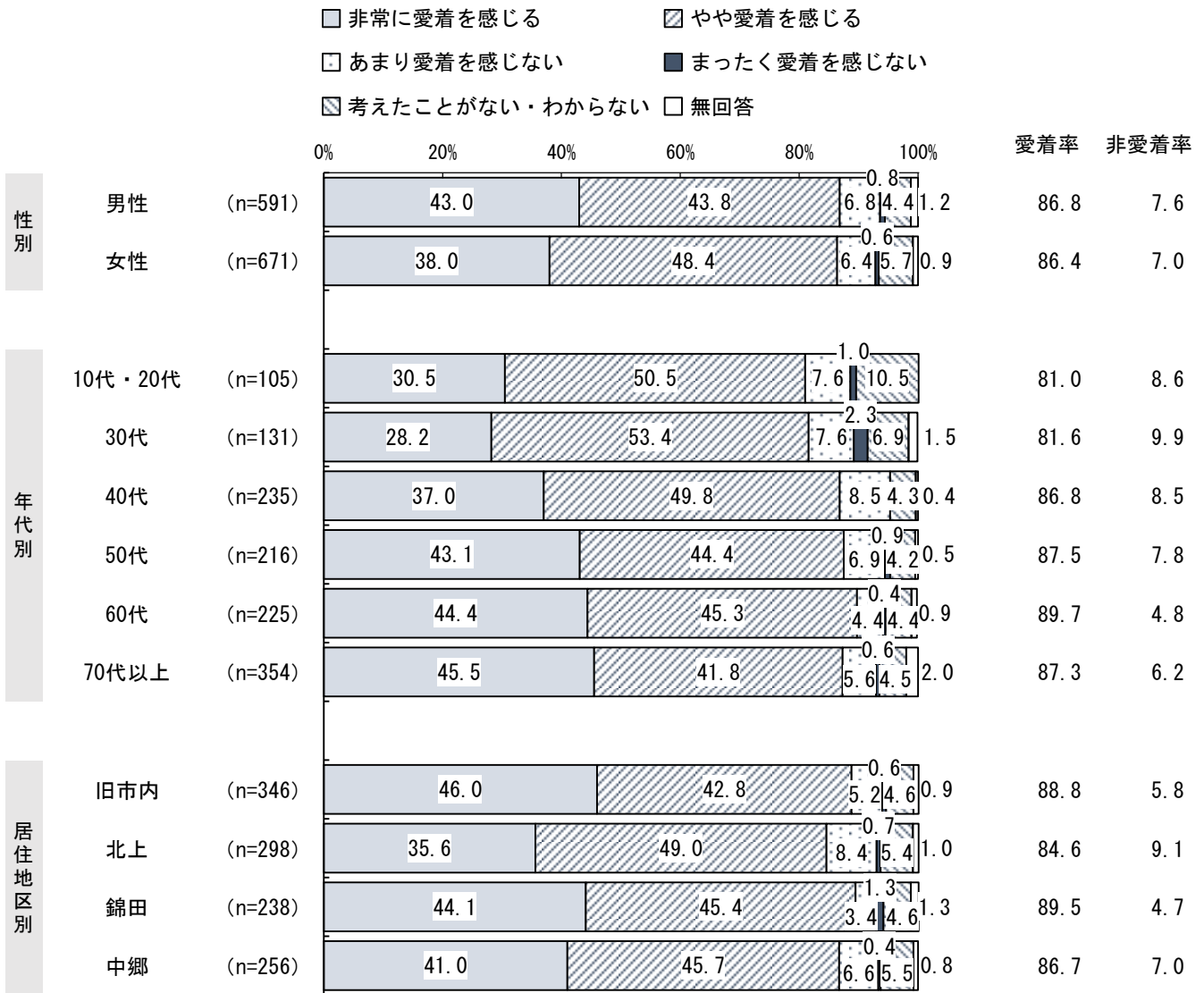


## 【属性別比較】

性別でみると、“愛着率”（男性86.8%、女性86.4%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、“愛着率”は60代(89.7%)が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“愛着率”は錦田(89.5%)が最も多くなっています。



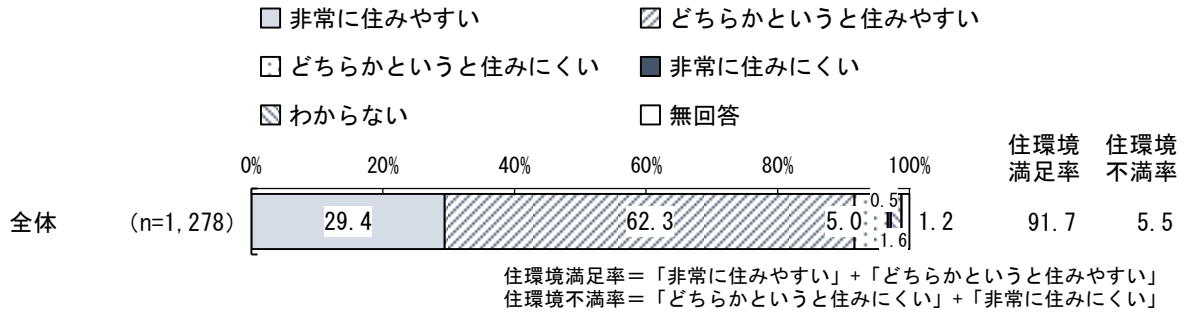
愛着率 = 「非常に愛着を感じる」 + 「やや愛着を感じる」  
 非愛着率 = 「あまり愛着を感じない」 + 「まったく愛着を感じない」

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(〇は一つ)

—三島市が“住みやすい”と感じる人は91.7%—

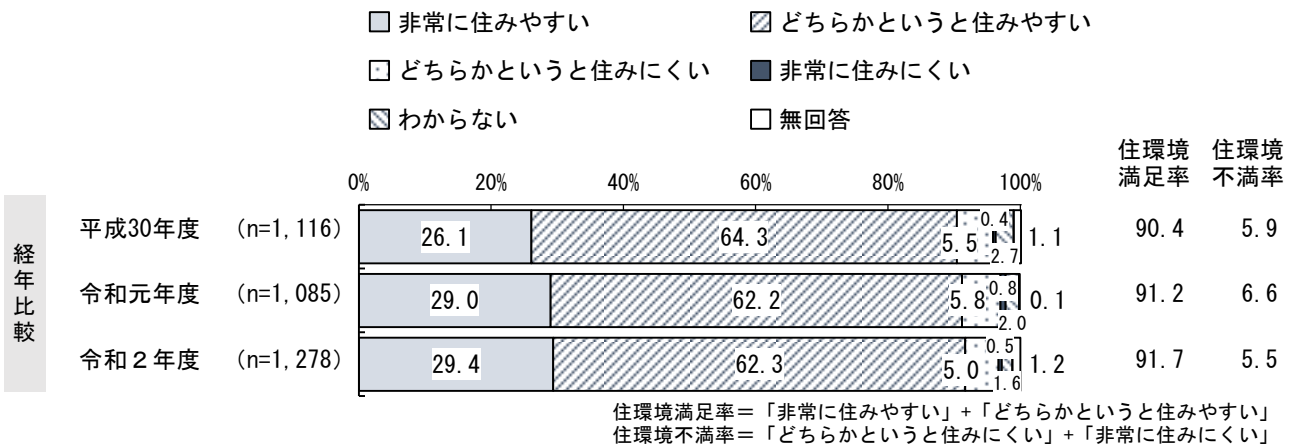
「非常に住みやすい」(29.4%)と「どちらかというに住みやすい」(62.3%)を合わせた“住環境満足率”は91.7%となっています。

「どちらかというに住みにくい」(5.0%)と「非常に住みにくい」(0.5%)を合わせた“住環境不満率”は5.5%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

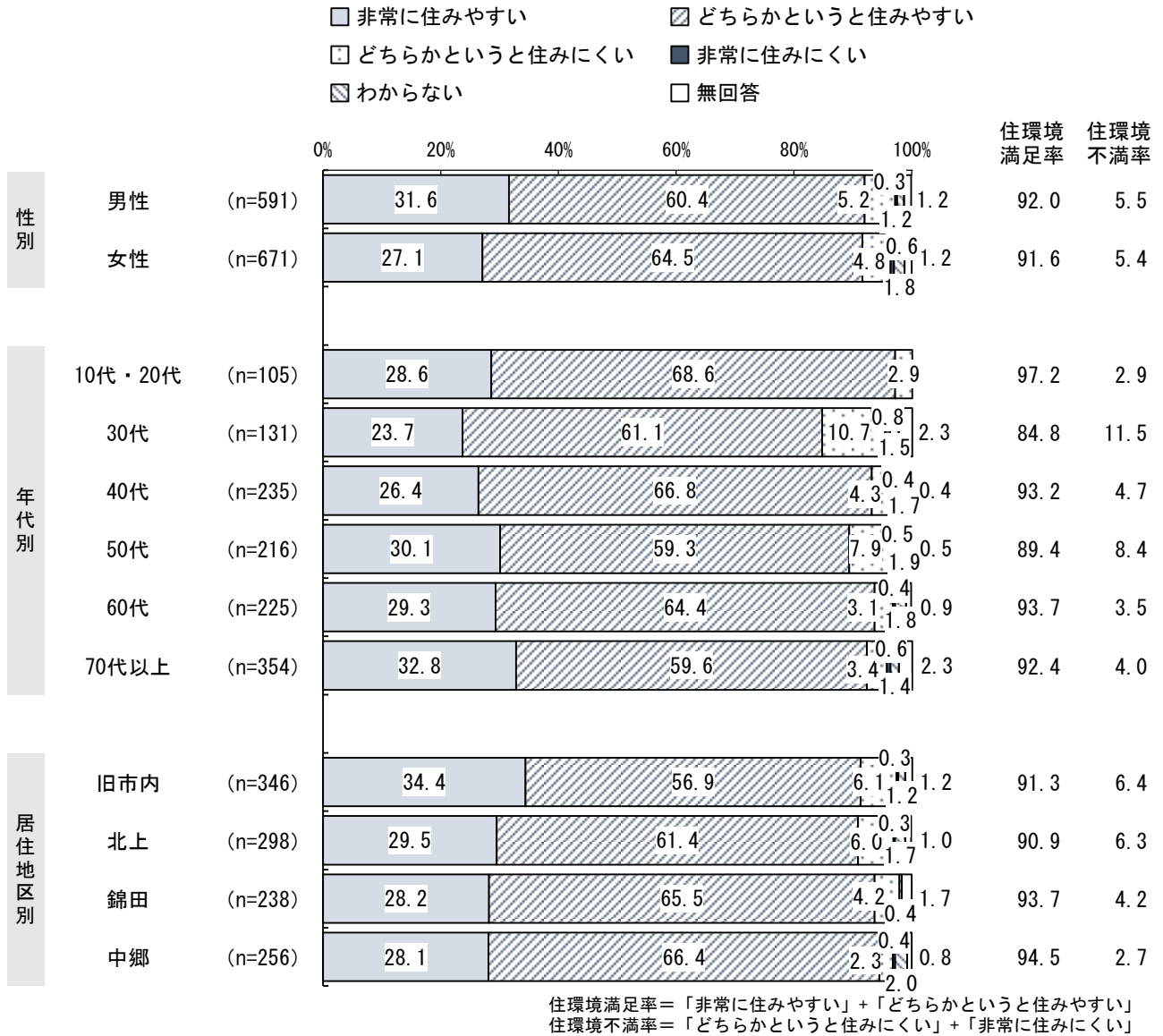


## 【属性別比較】

性別でみると、“住環境満足率”（男性92.0%、女性91.6%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、“住環境満足率”は10・20代(97.2%)が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“住環境満足率”は中郷(94.5%)が最も多くなっています。





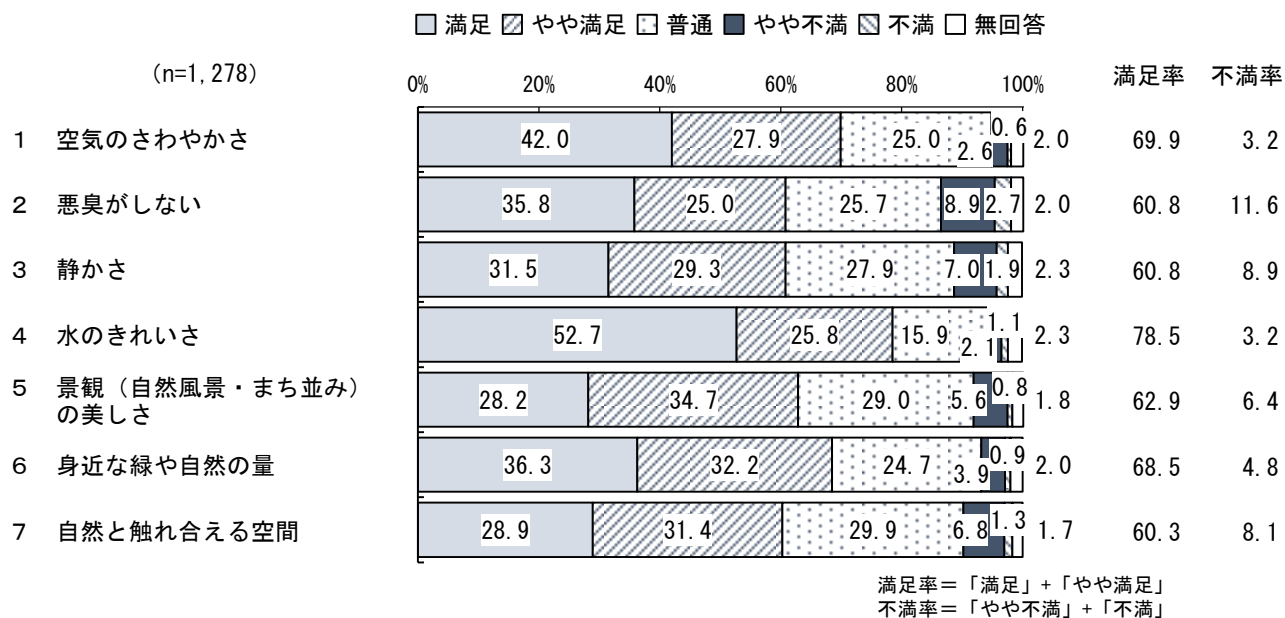
問3 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。

—生活環境の満足率で最も高いのは『水のきれいさ』で78.5%—

生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っています。

“満足率”は『4 水のきれいさ』(78.5%)で7割を超えています。また、「満足」は『4 水のきれいさ』(52.7%)、『1 空気のさわやかさ』(42.0%)が多く、『6 身近な緑や自然の量』(36.3%)、『2 悪臭がしない』(35.8%)、『3 静かさ』(31.5%)で約3割となっています。

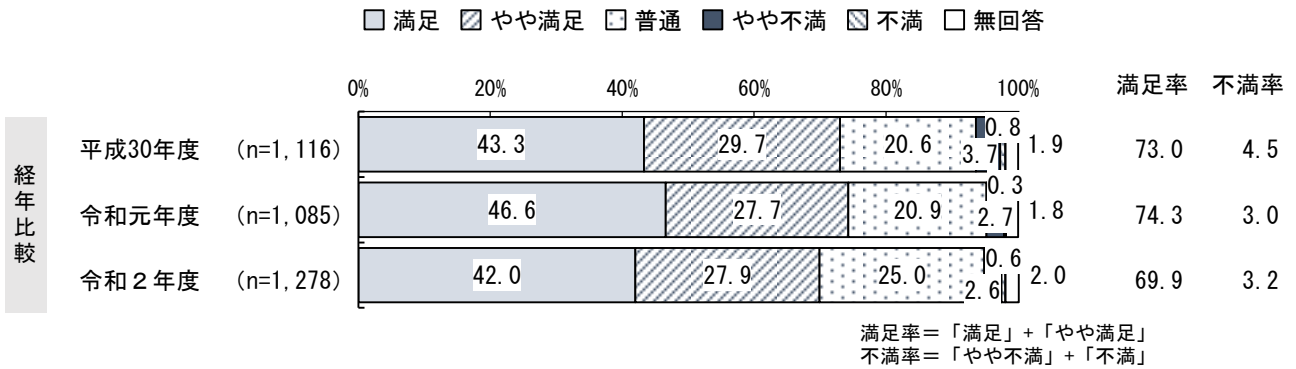
一方、“不満率”は『2 悪臭がしない』(11.6%)、『3 静かさ』(8.9%)、『7 自然と触れ合える空間』(8.1%)で約1割となっています。



# ① 空気のさわやかさ

## 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

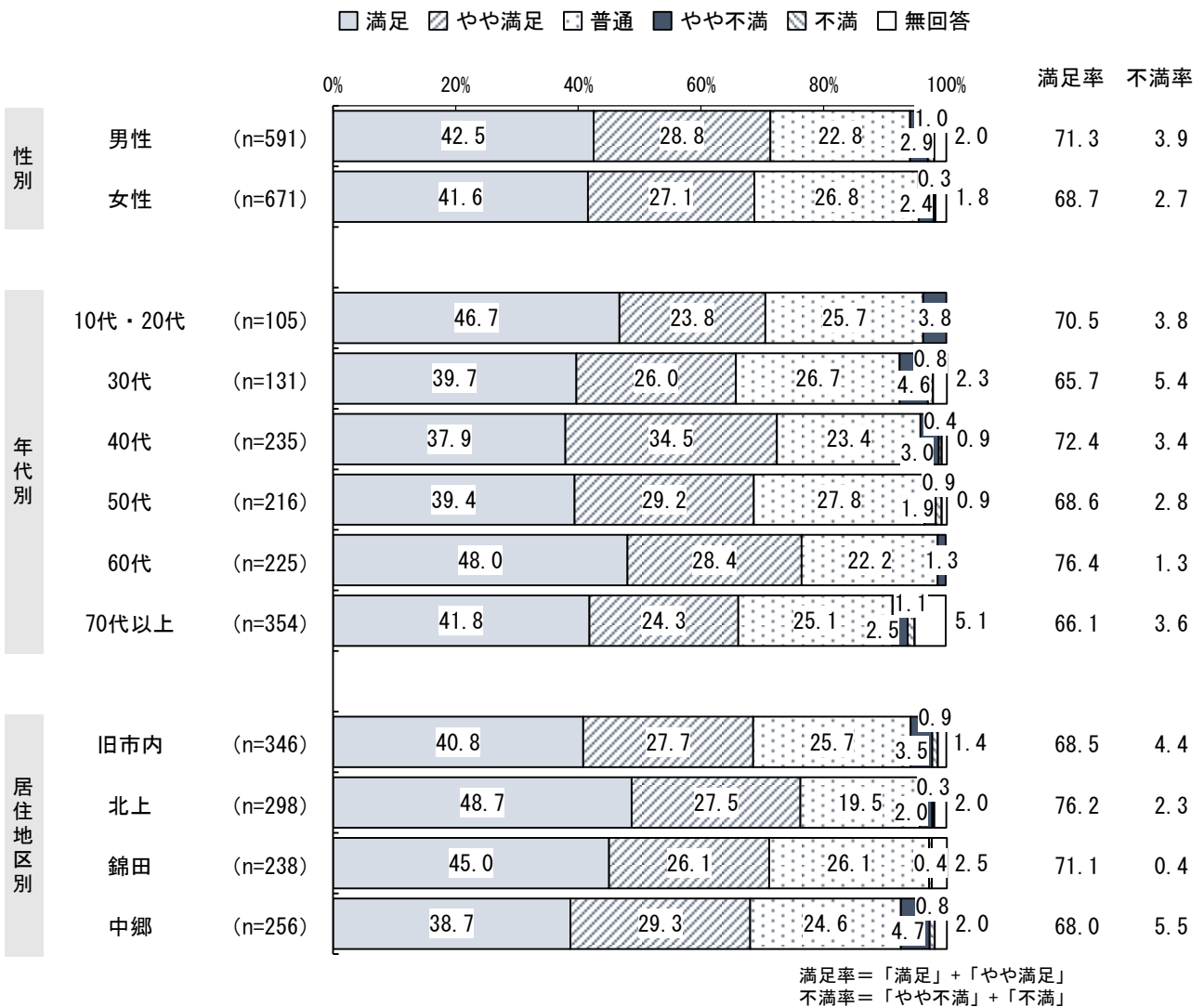


## 【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性71.3%、女性68.7%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、60代(76.4%)で“満足率”が最も多くなっています。

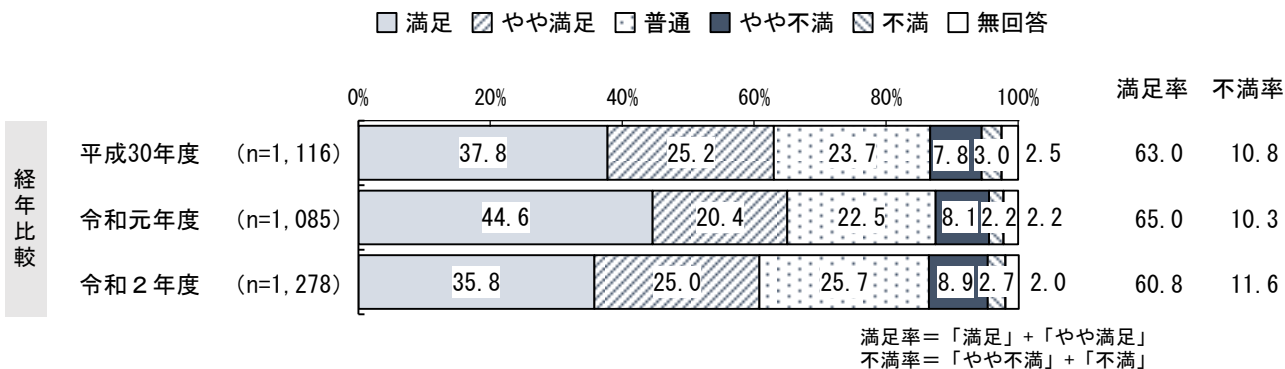
居住地区別でみると、北上(76.2%)で“満足率”が最も多くなっています。



## ② 悪臭がしない

### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度から令和2年度にかけて「満足」の割合が減少しています。

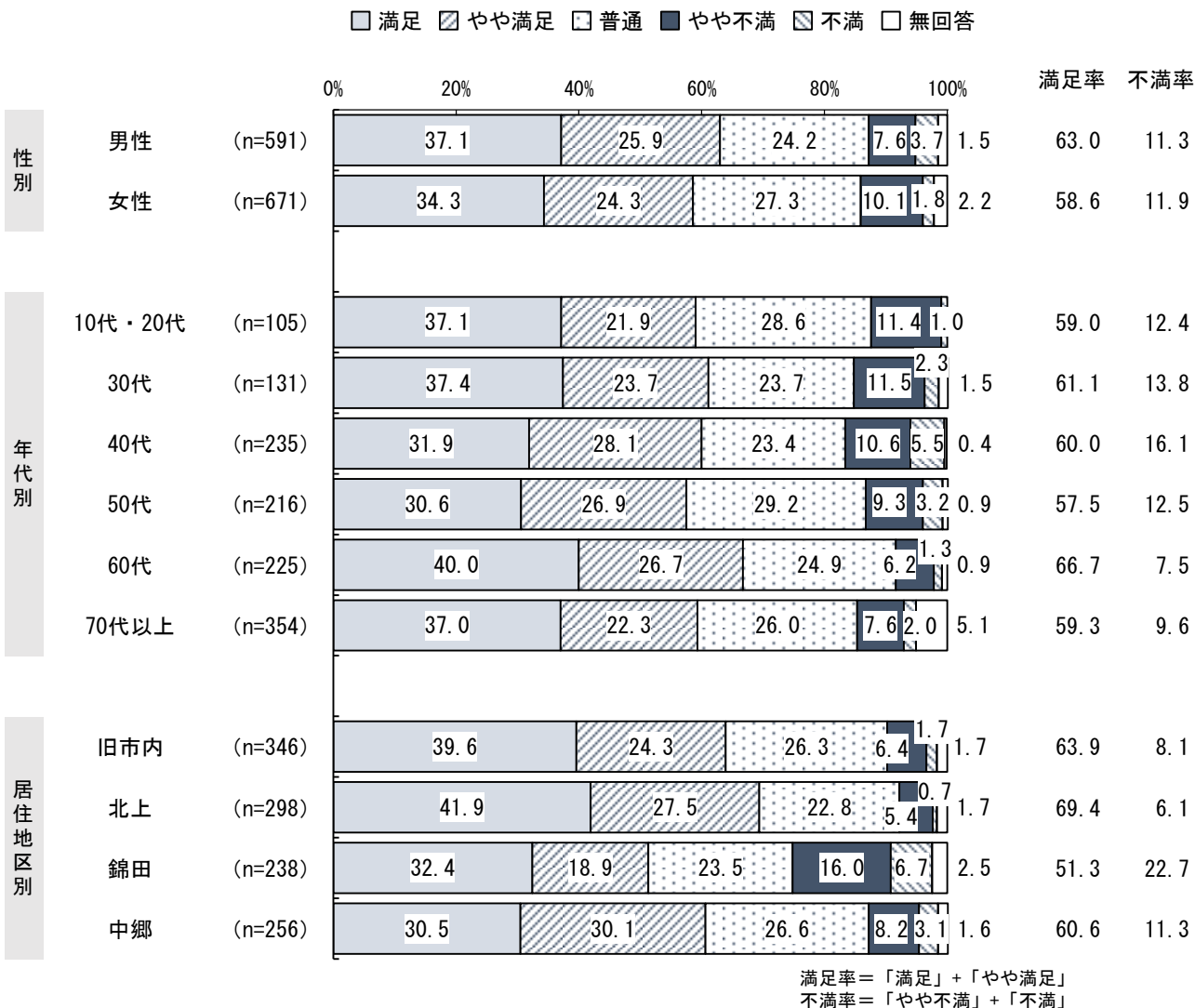


### 【属性別比較】

性別でみると、「満足率」（男性63.0%、女性58.6%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、60代(66.7%)で「満足率」が最も多くなっています。

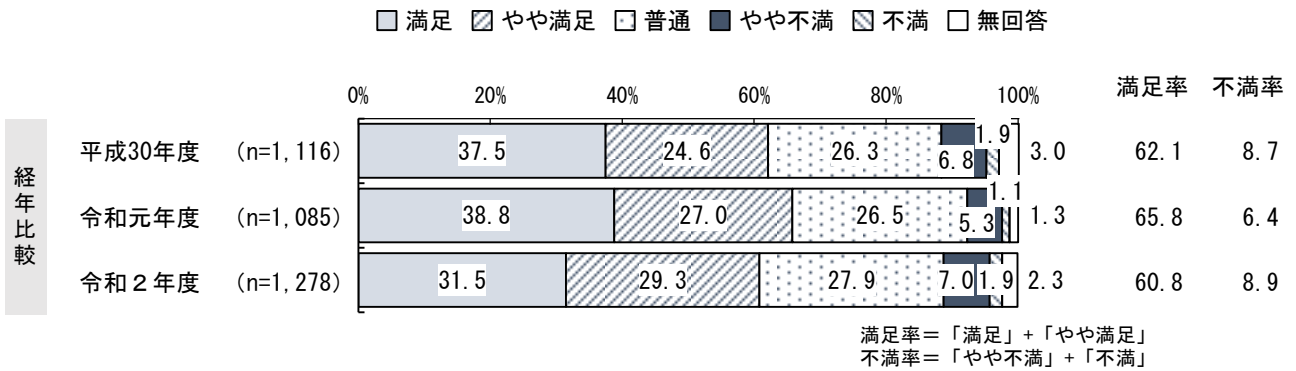
居住地区別でみると、北上(69.4%)で「満足率」が最も多くなっています。



### ③ 静かさ

#### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度から令和2年度にかけて「満足」の割合が減少しています。

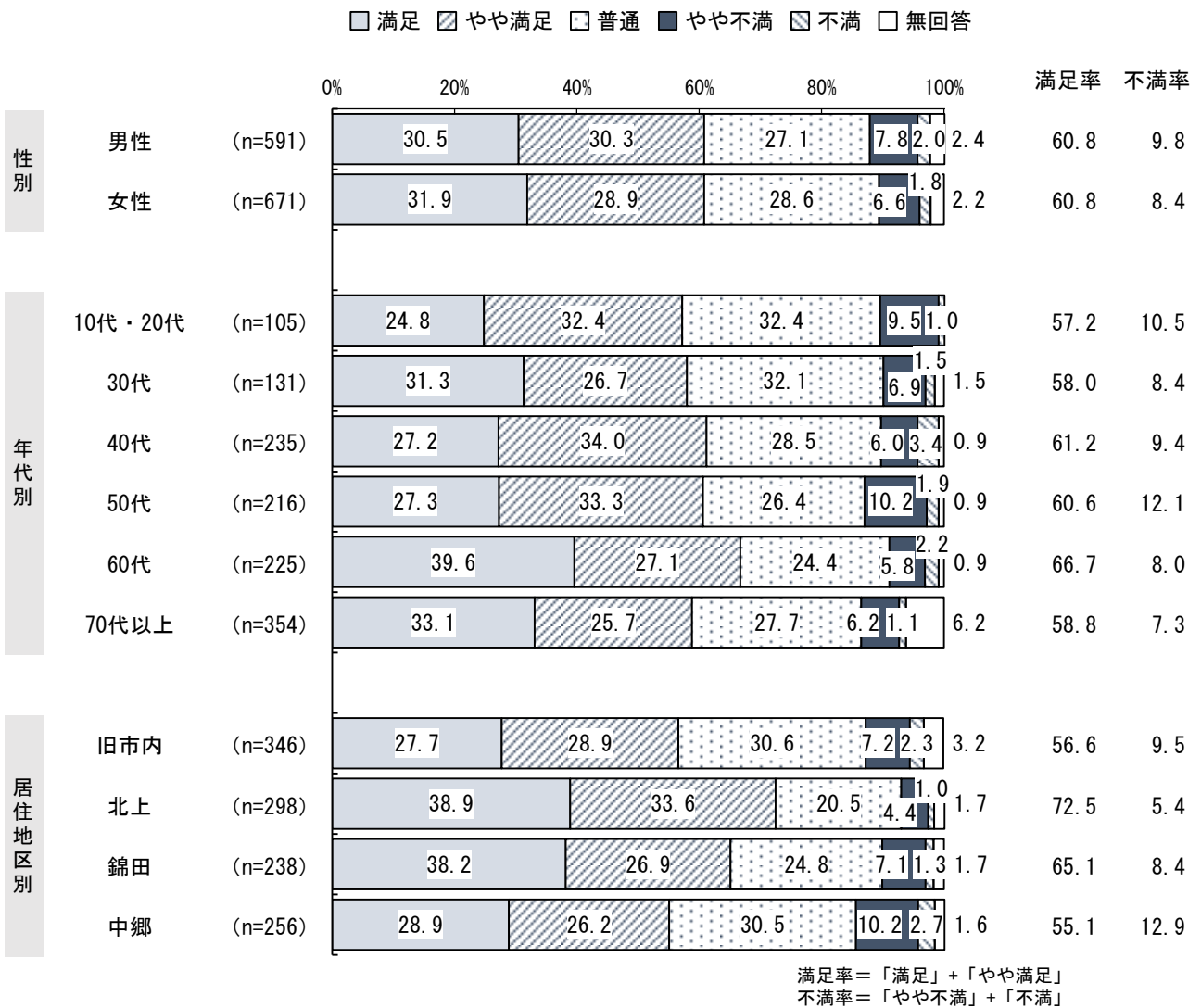


#### 【属性別比較】

性別でみると、「満足率」（男性60.8%、女性60.8%）は、差はみられません。

年代別でみると、60代(66.7%)で「満足率」が最も多くなっています。

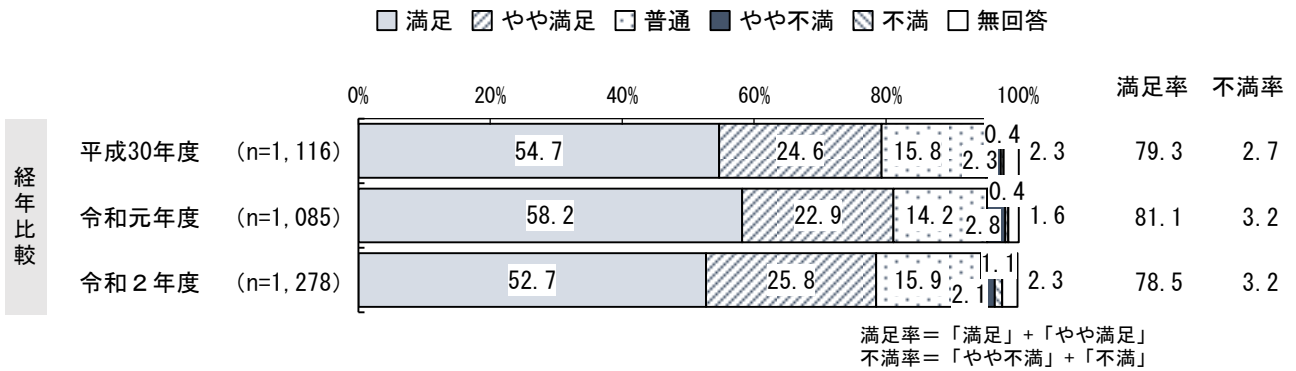
居住地区別でみると、北上(72.5%)で「満足率」が最も多くなっています。



#### ④ 水のきれいさ

##### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度から令和2年度にかけて「満足」の割合が減少しています。

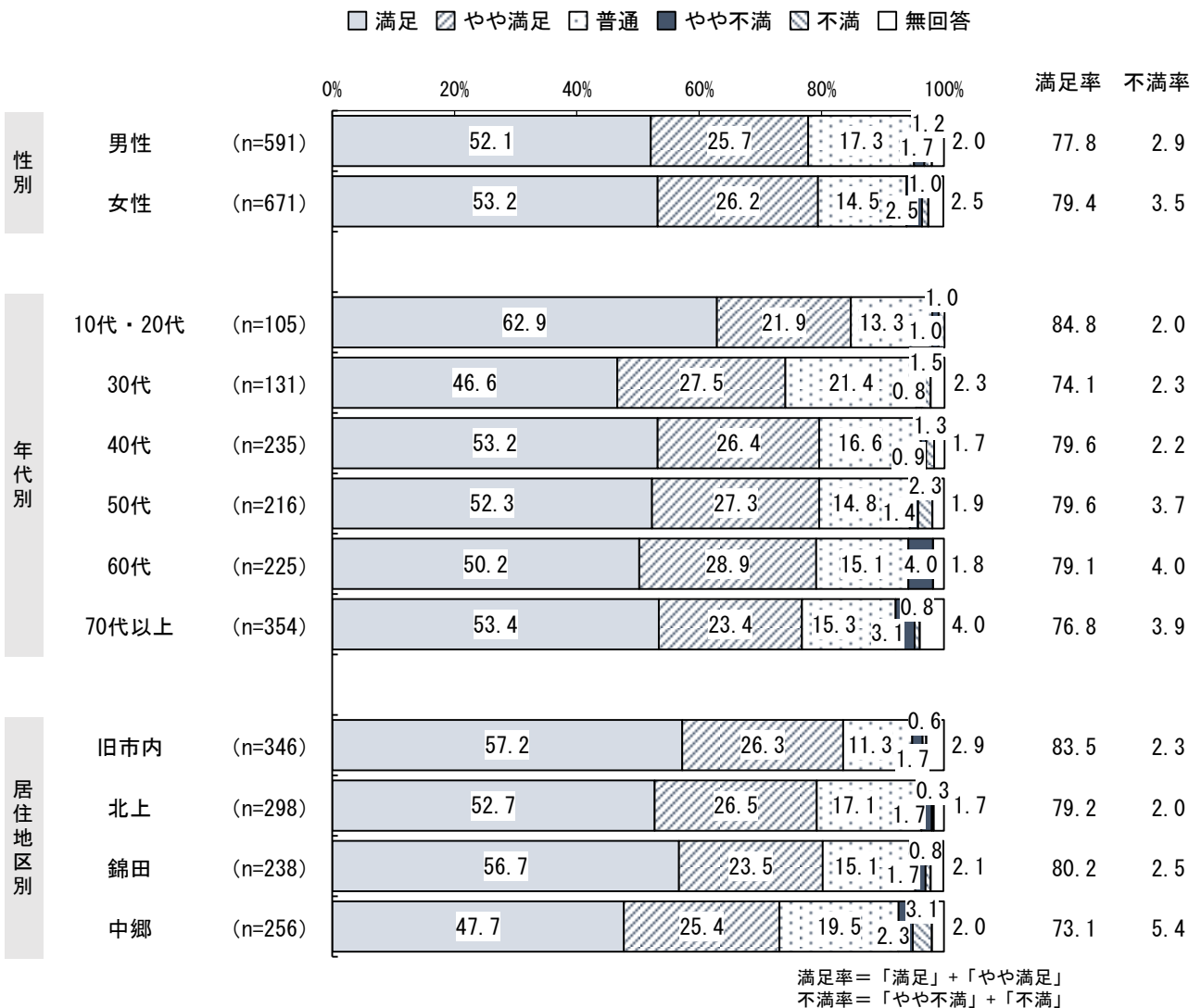


##### 【属性別比較】

性別でみると、「満足率」（男性77.8%、女性79.4%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、10・20代(84.8%)で“満足率”が最も多くなっています。

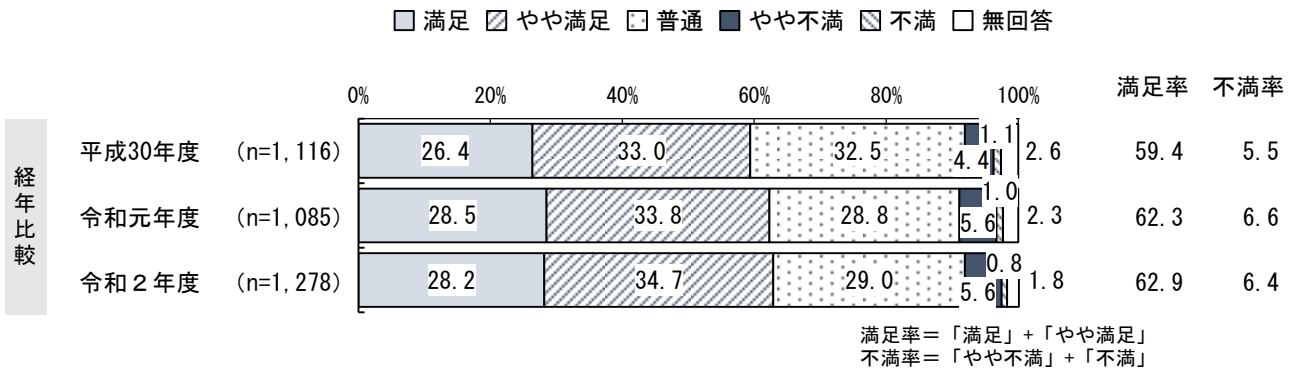
居住地区別でみると、旧市内(83.5%)で“満足率”が最も多くなっています。



## ⑤ 景観（自然風景・まち並み）の美しさ

### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

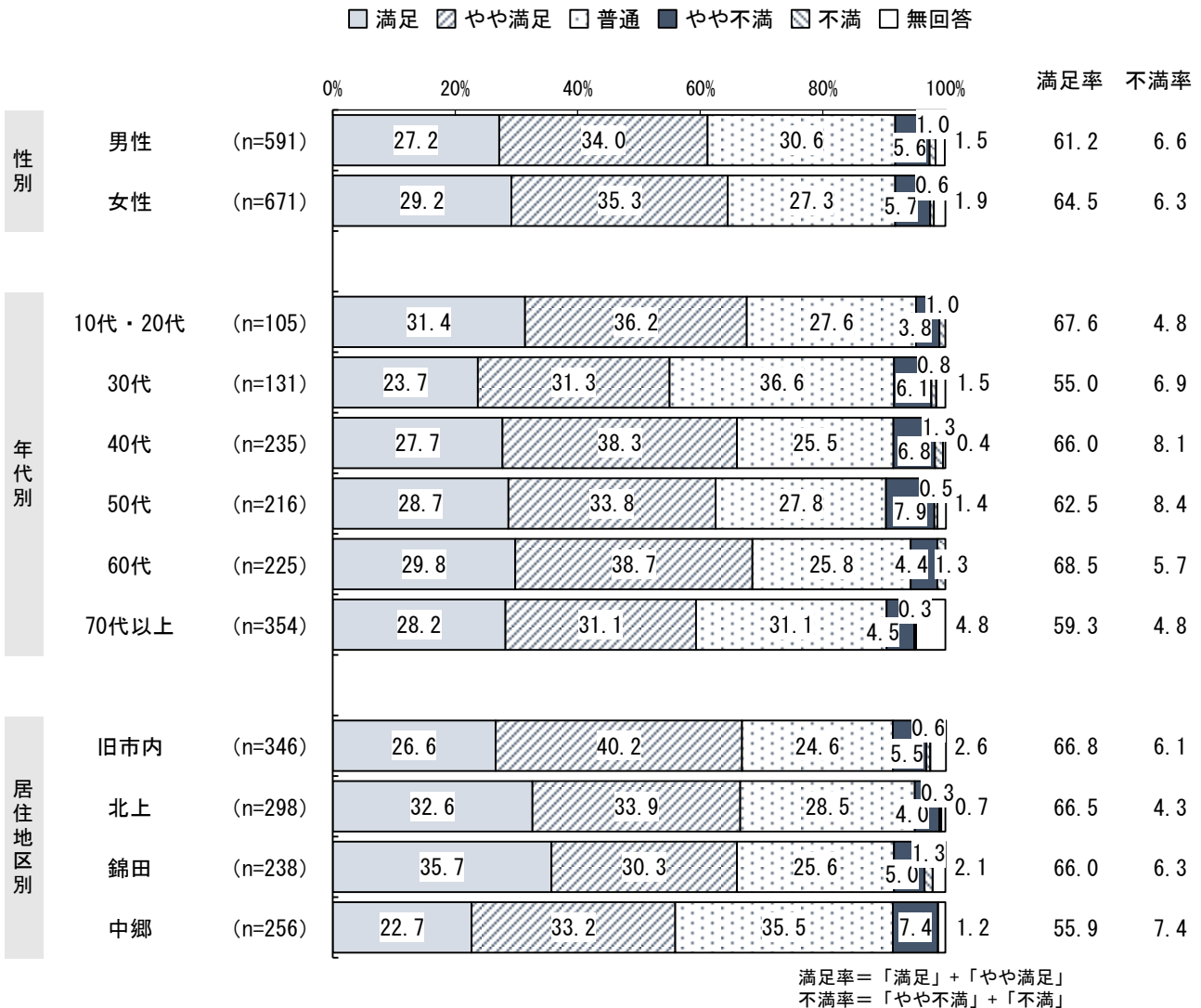


### 【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性61.2%、女性64.5%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、60代(68.5%)で“満足率”が最も多くなっています。

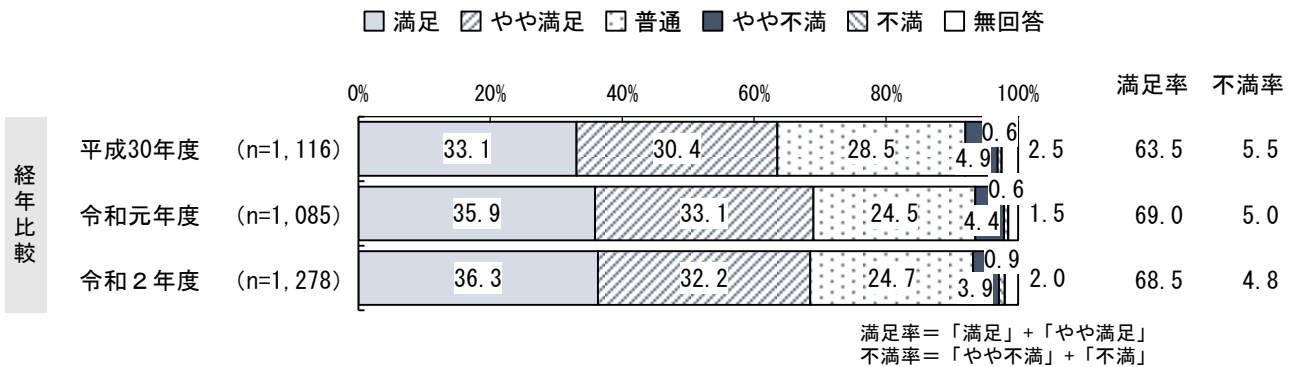
居住地区別でみると、旧市内(66.8%)で“満足率”が最も多くなっています。



## ⑥ 身近な緑や自然の量

### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

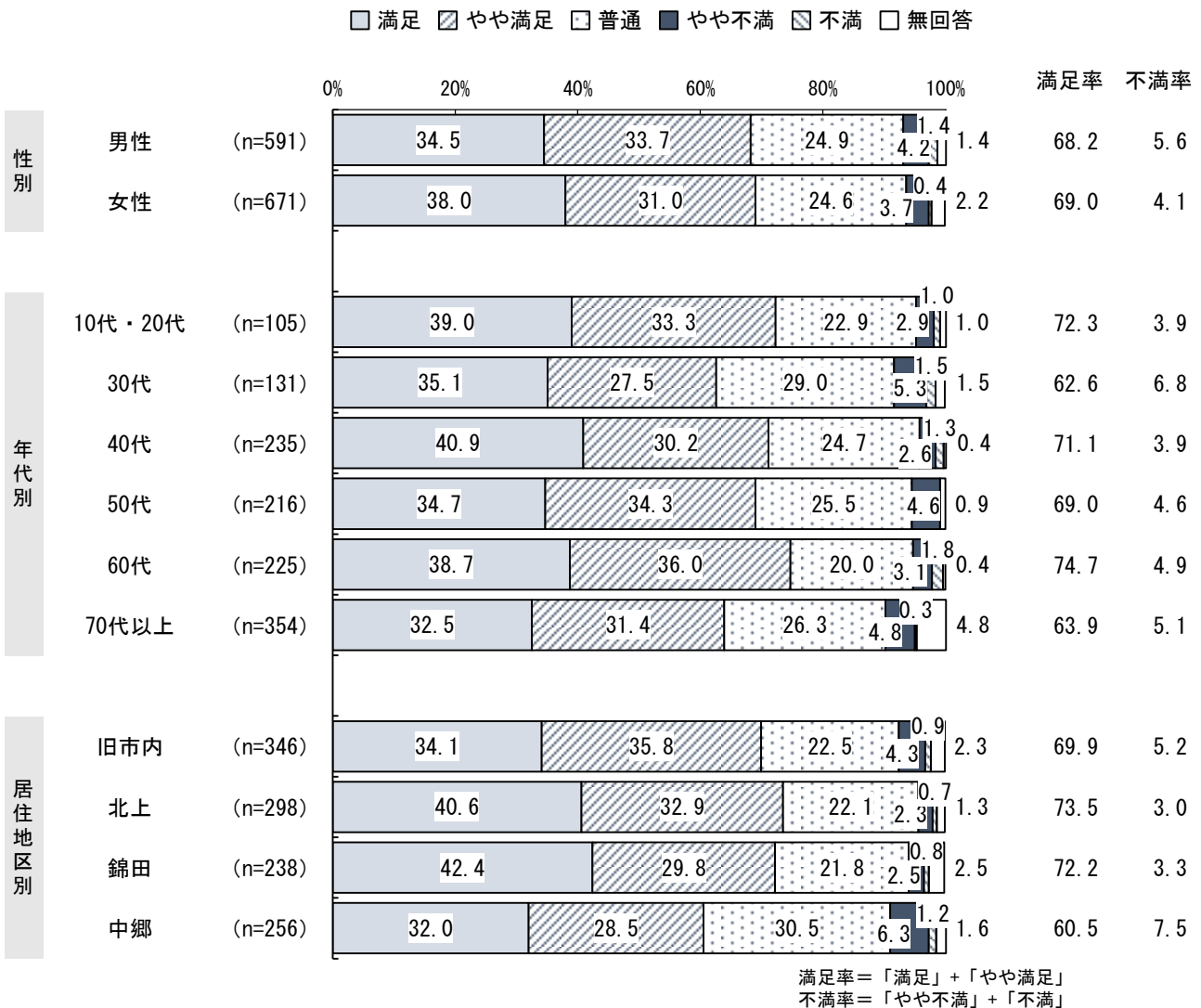


### 【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性68.2%、女性69.0%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、60代(74.7%)で“満足率”が最も多くなっています。

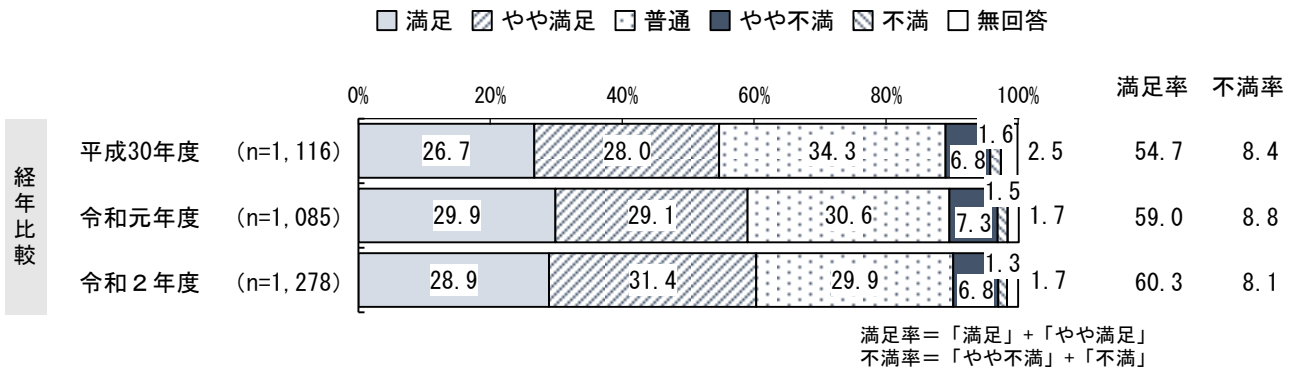
居住地区別でみると、北上(73.5%)で“満足率”が最も多くなっています。



## ⑦ 自然と触れ合える空間

### 【経年比較】

時系列でみると、“満足率”は徐々に増加しています。

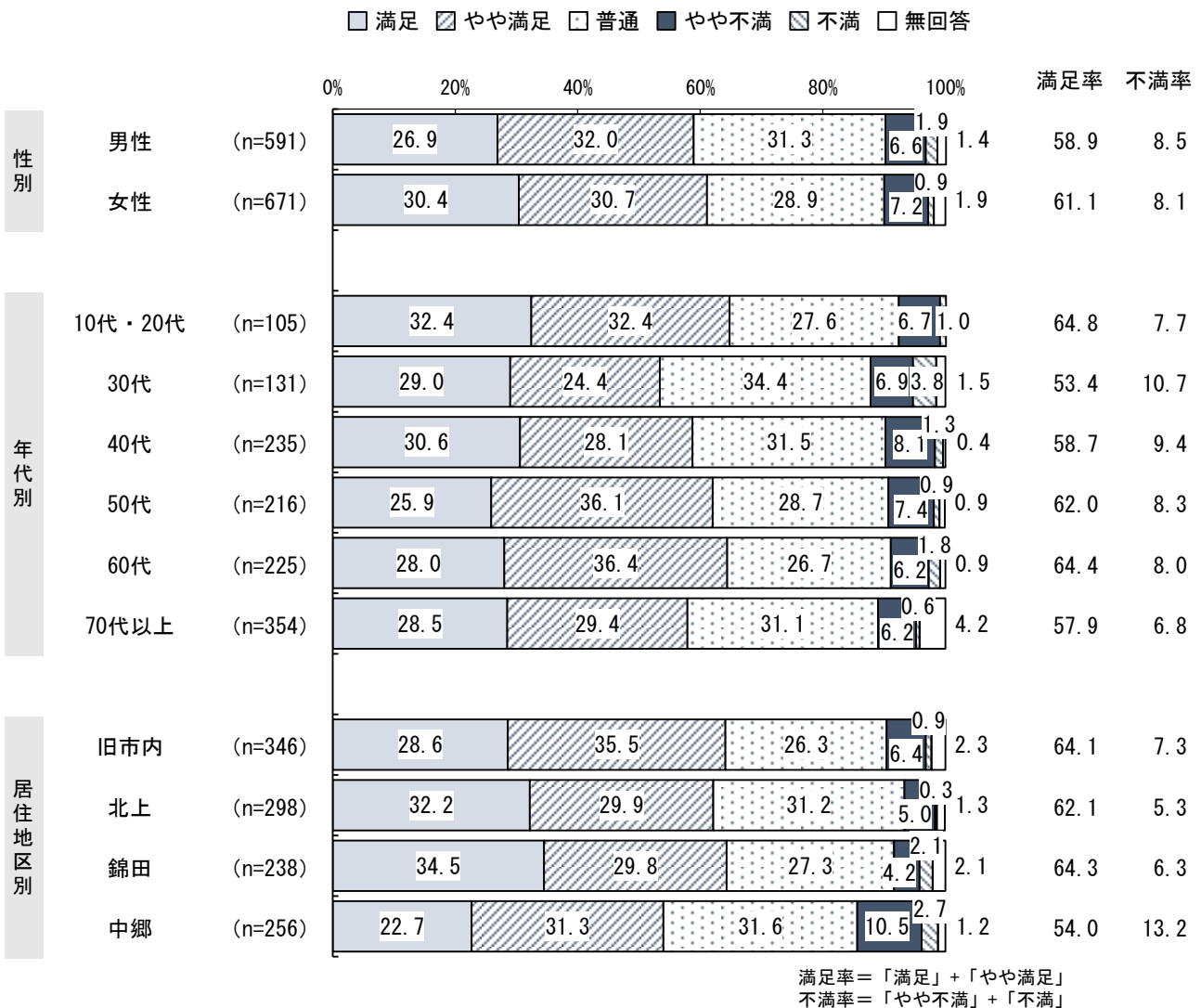


### 【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性58.9%、女性61.1%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、10・20代(64.8%)で“満足率”が最も多くなっています。

居住地区別でみると、錦田(64.3%)で“満足率”が最も多くなっています。





### (3) 市の取り組みの満足度について

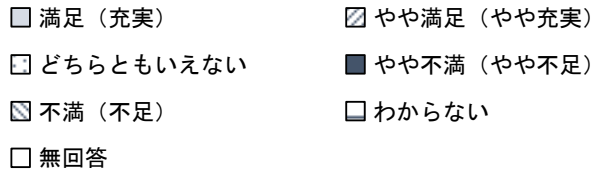
問4 毎日の暮らしを通じて、市が行っている施策に対する満足（充実）度についてお答えください。1～37の項目ごとに該当する番号を選んでください。

—三島市の施策の“満足率”は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が70.6%  
“不満率”は『歩道の整備』が37.9%—

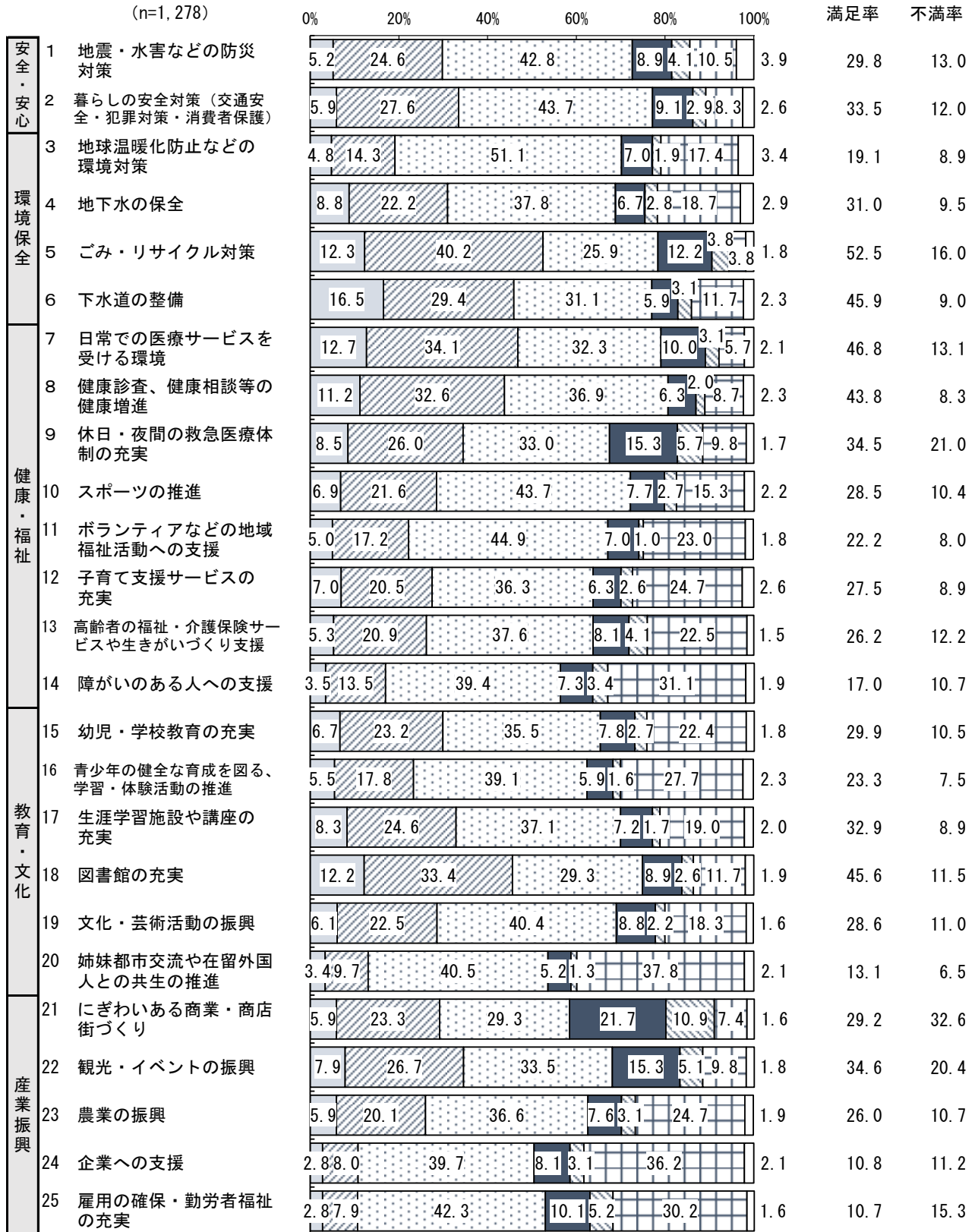
#### 【満足（充実）率】

三島市の施策に対する満足（充実）率について聞いたところ、“満足率”は、安全・安心に関する項目では『2 暮らしの安全対策（交通安全・犯罪対策・消費者保護）』（33.5%）、環境保全に関する項目では『5 ごみ・リサイクル対策』（52.5%）、健康・福祉に関する項目では『7 日常での医療サービスを受ける環境』（46.8%）、教育・文化に関する項目では『18 図書館の充実』（45.6%）、産業振興に関する項目では『22 観光・イベントの振興』（34.6%）、都市基盤に関する項目では『32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（70.6%）、協働・行財政に関する項目では『37 「広報みしま」による市政情報の提供』（57.6%）が最も高くなっています。

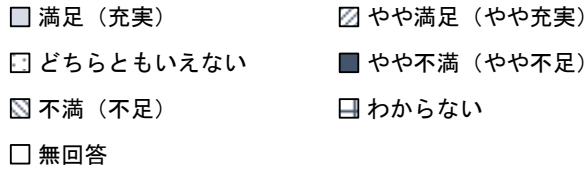
“不満率”は、安全・安心に関する項目では『1 地震・水害などの防災対策』（13.0%）、環境保全に関する項目では『5 ごみ・リサイクル対策』（16.0%）、健康・福祉に関する項目では『9 休日・夜間の救急医療体制の充実』（21.0%）、教育・文化に関する項目では『18 図書館の充実』（11.5%）、産業振興に関する項目では『21 にぎわいある商業・商店街づくり』（32.6%）、都市基盤に関する項目では『27 歩道の整備』（37.9%）、協働・行財政に関する項目では『36 市民意見を聞く機会の充実』（13.2%）が最も高くなっています。



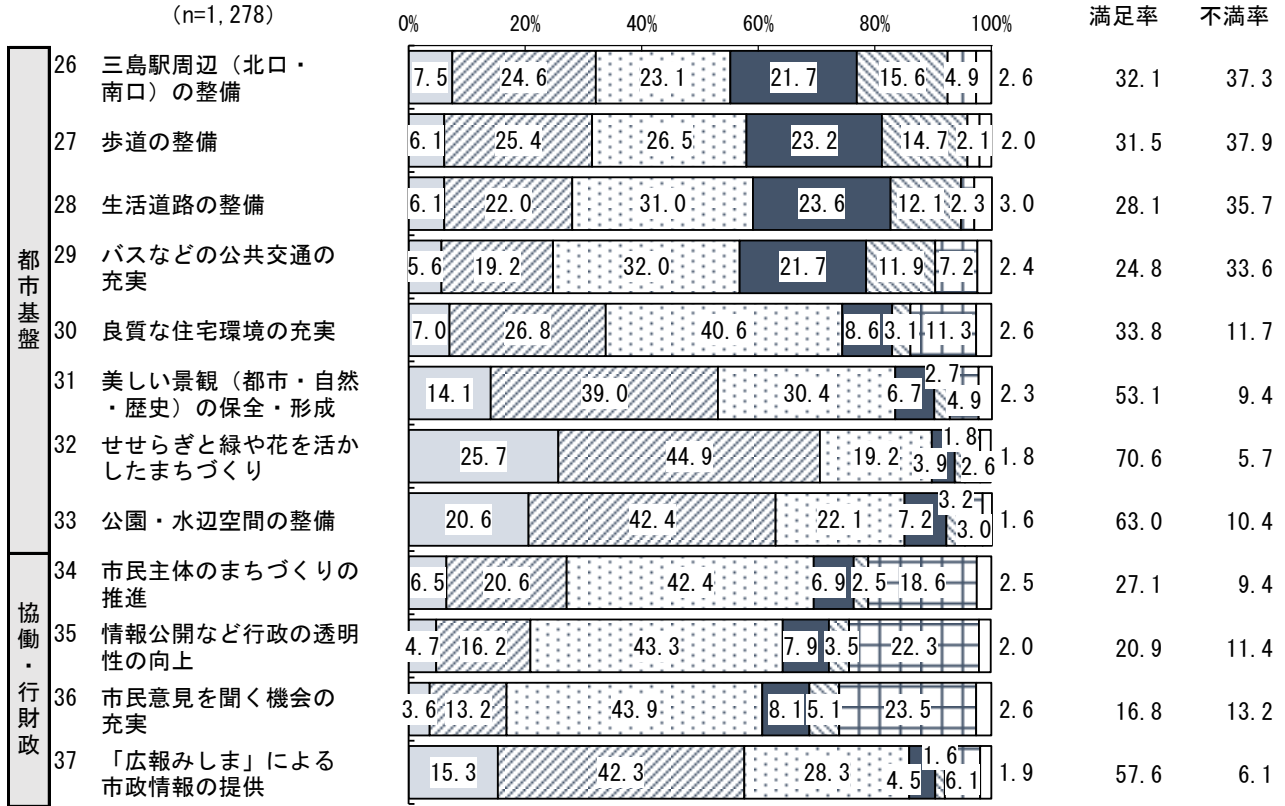
(n=1,278)



満足率 = 「満足 (充実)」 + 「やや満足 (やや充実)」  
 不満率 = 「やや不満 (やや不足)」 + 「不満 (不足)」



(n=1,278)



満足率 = 「満足 (充実)」 + 「やや満足 (やや充実)」  
 不満率 = 「やや不満 (やや不足)」 + 「不満 (不足)」

## 【経年比較】

### ①満足率

時系列でみると、平成30年度からの3年間で“満足率”が増加傾向にあるのは、安全・安心に関する項目では『1 地震・水害などの防災対策』、環境保全に関する項目では『4 地下水の保全』、『5 ごみ・リサイクル対策』、『6 下水道の整備』、健康・福祉に関する項目では『7 日常生活での医療サービスを受ける環境』、『12 子育て支援サービスの充実』、『14 障がいのある人への支援』、教育・文化に関する項目では『15 幼児・学校教育の充実』、『17 生涯学習施設や講座の充実』、産業振興に関する項目では『21 にぎわいある商業・商店街づくり』、『25 雇用の確保・勤労者福祉の充実』、都市基盤に関する項目では『30 良質な住宅環境の充実』、協働・行財政に関する項目では『37 「広報みしま」による市政情報の提供』となっています。

経年比較

□ 令和2年度 (n=1,278)

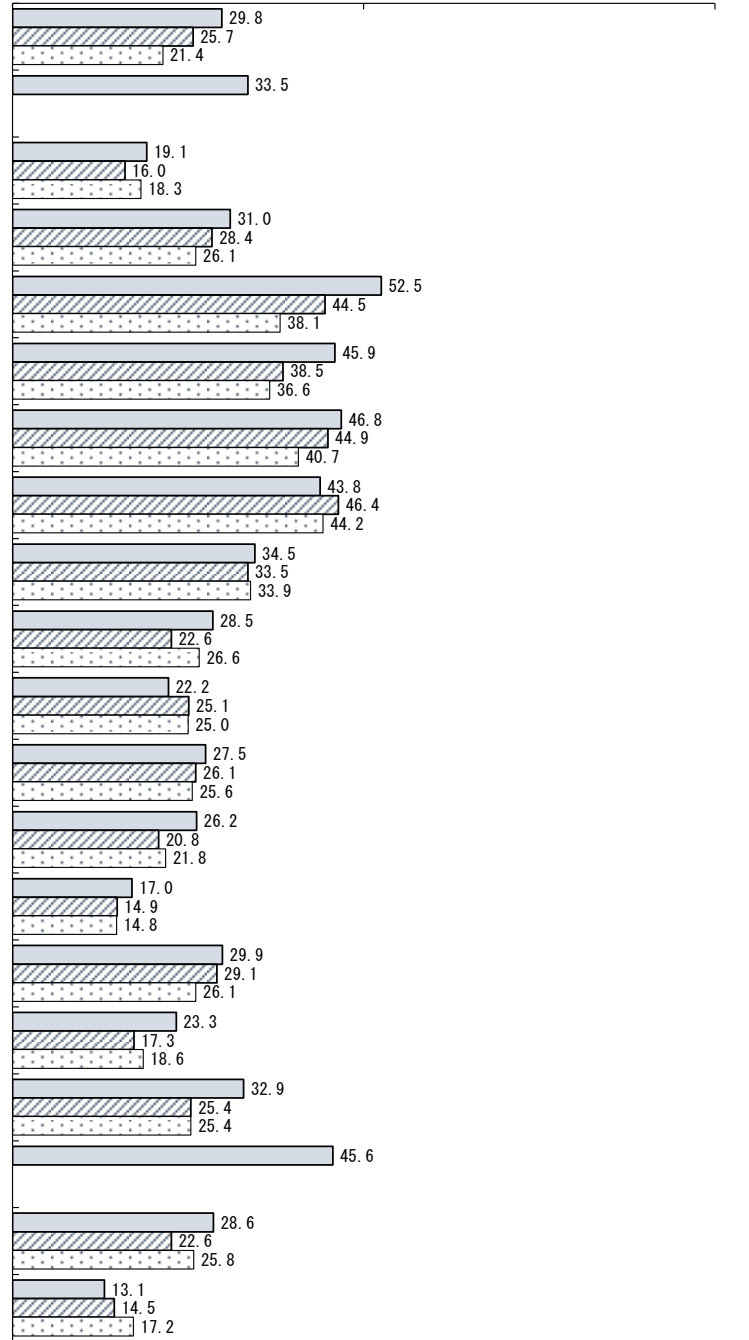
▨ 令和元年度 (n=1,085)

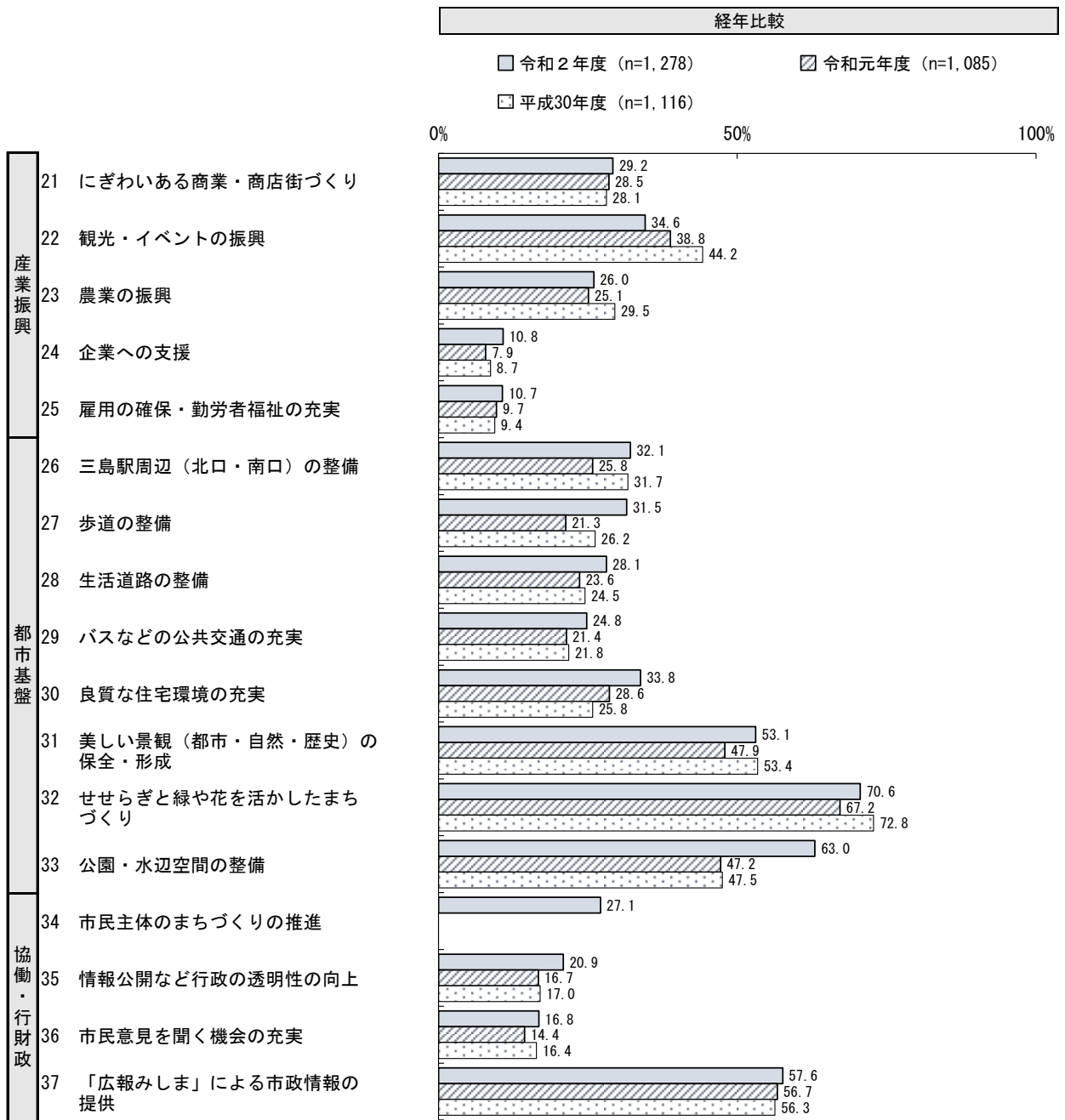
▤ 平成30年度 (n=1,116)

0% 50% 100%

- 安全・安心
- 環境保全
- 健康・福祉
- 教育・文化

- 1 地震・水害などの防災対策
- 2 暮らしの安全対策（交通安全・犯罪対策・消費者保護）
- 3 地球温暖化防止などの環境対策
- 4 地下水の保全
- 5 ごみ・リサイクル対策
- 6 下水道の整備
- 7 日常での医療サービスを受ける環境
- 8 健康診査、健康相談等の健康増進
- 9 休日・夜間の救急医療体制の充実
- 10 スポーツの推進
- 11 ボランティアなどの地域福祉活動への支援
- 12 子育て支援サービスの充実
- 13 高齢者の福祉・介護保険サービスや生きがいつくり支援
- 14 障がいのある人への支援
- 15 幼児・学校教育の充実
- 16 青少年の健全な育成を図る、学習・体験活動の推進
- 17 生涯学習施設や講座の充実
- 18 図書館の充実
- 19 文化・芸術活動の振興
- 20 姉妹都市交流や在留外国人との共生の推進

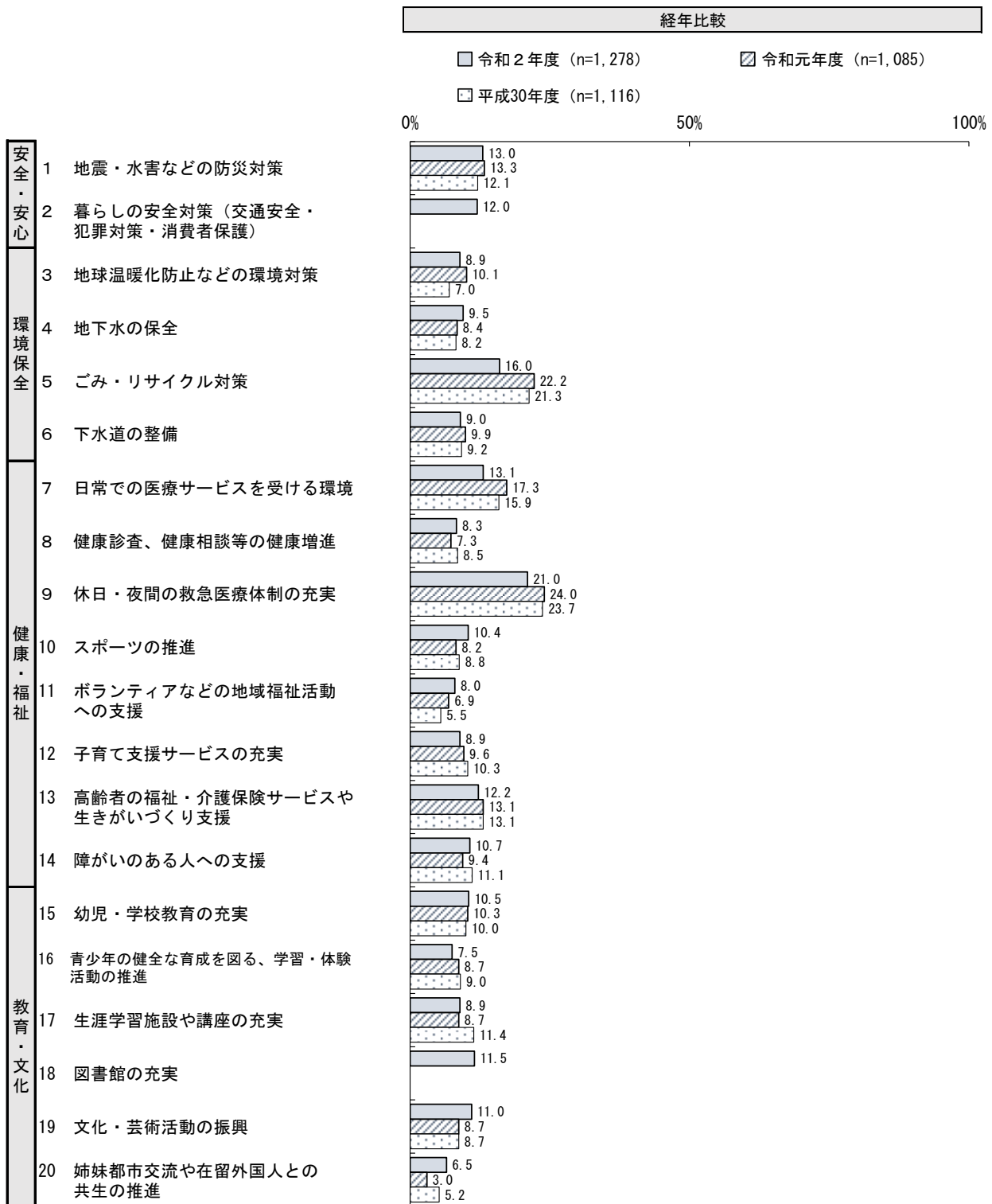




※ 「2 暮らしの安全対策（交通安全・犯罪対策・消費者保護）」、「18 図書館の充実」、「34 市民主体のまちづくりの推進」は令和2年度に新設

## ②不満率

時系列でみると、平成30年度からの3年間で“不満率”が増加傾向にあるのは、環境保全に関する項目では『4 地下水の保全』、健康・福祉に関する項目では『11 ボランティアなどの地域福祉活動への支援』、教育・文化に関する項目では『15 幼児・学校教育の充実』、『19 文化・芸術活動の振興』となっています。

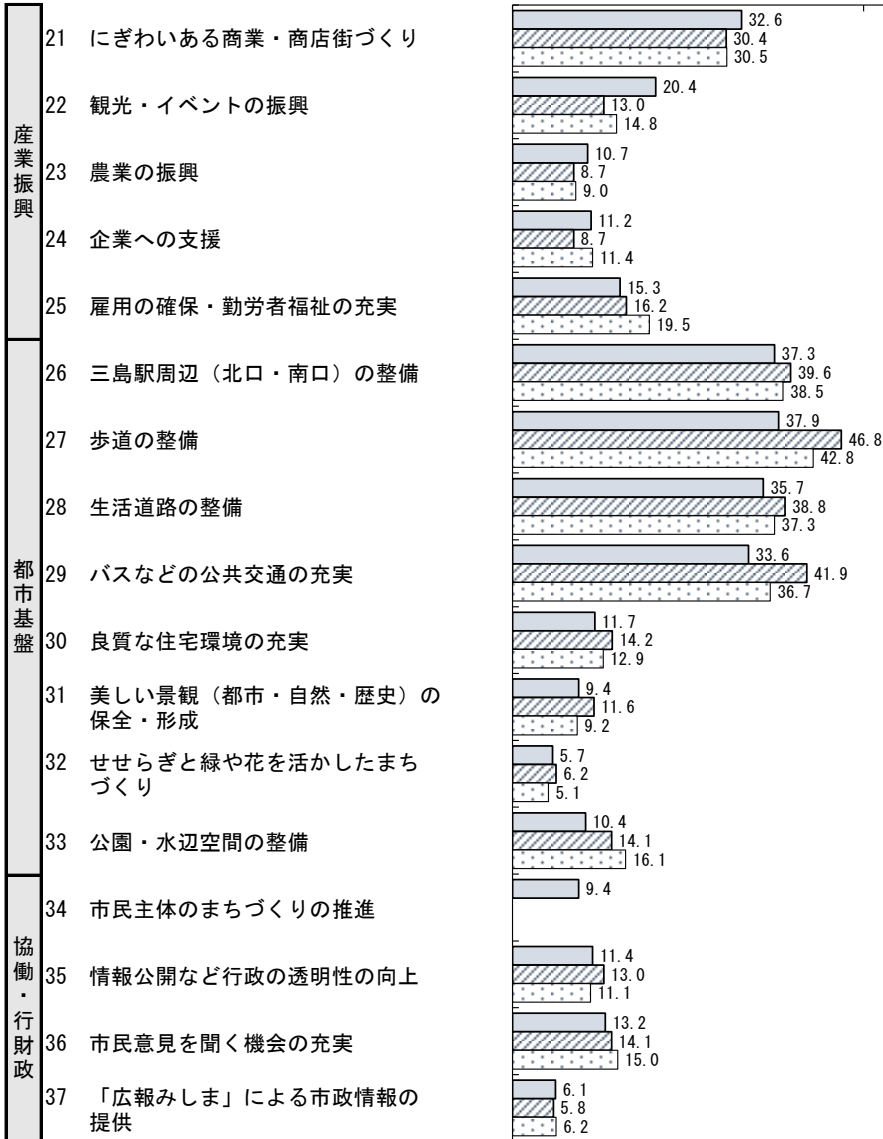


経年比較

令和2年度 (n=1,278)      令和元年度 (n=1,085)

平成30年度 (n=1,116)

0%      50%      100%



※「2 暮らしの安全対策（交通安全・犯罪対策・消費者保護）」、「18 図書館の充実」、「34 市民主体のまちづくりの推進」は令和2年度に新設



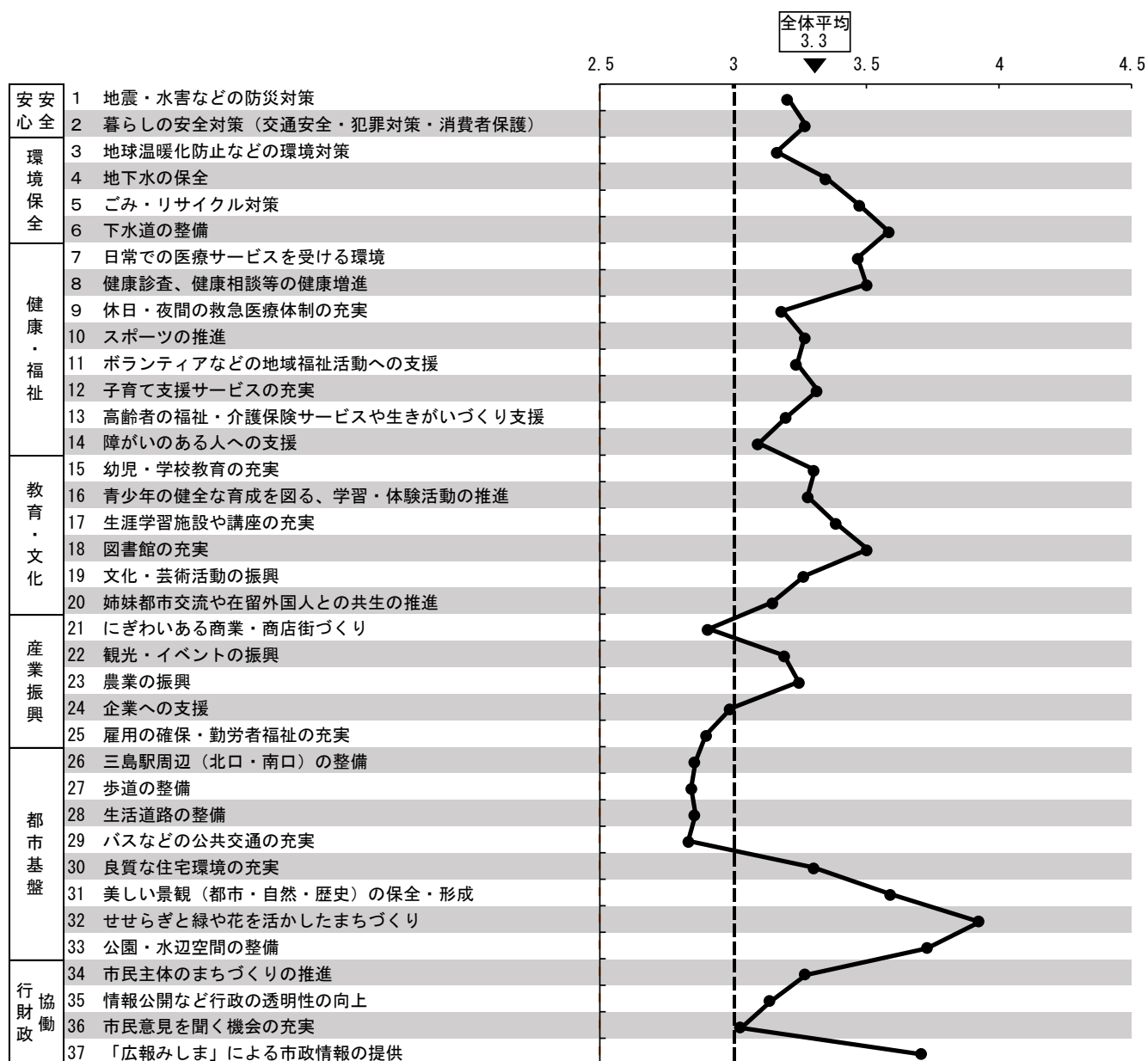
## 【ウェイトづけによる満足度比較】

37項目の質問項目について、「満足度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

満足度	得点	得点の算出式
満足(充実)	5点	$  \begin{aligned}  & (5 \text{点} \times \text{「満足」の回答数} \\  & + 4 \text{点} \times \text{「やや満足」の回答数} \\  & + 3 \text{点} \times \text{「どちらともいえない」の回答数} \\  & + 2 \text{点} \times \text{「やや不満」の回答数} \\  & + 1 \text{点} \times \text{「不満」の回答数}) \\  & \div \text{「無回答」「わからない」を除く回答数}  \end{aligned}  $
やや満足(やや充実)	4点	
どちらともいえない	3点	
やや不満(やや不足)	2点	
不満(不足)	1点	
わからない・無回答	計算対象外	

「32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」と「33 公園・水辺空間の整備」が高くなっています。

一方、「27 歩道の整備」と「29 バスなどの公共交通の充実」が低くなっており、都市基盤の充実が求められています。

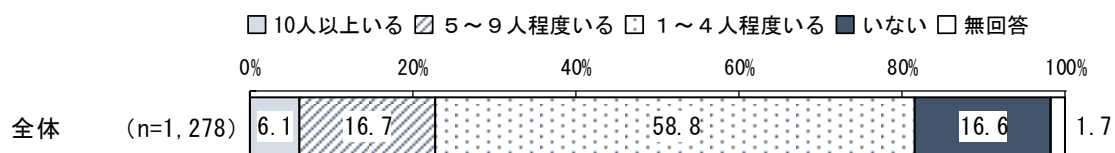


#### (4) 総合計画の指標に関する項目について

問5 困ったときに助け合うことができる人が近所にいますか。(○は一つ)

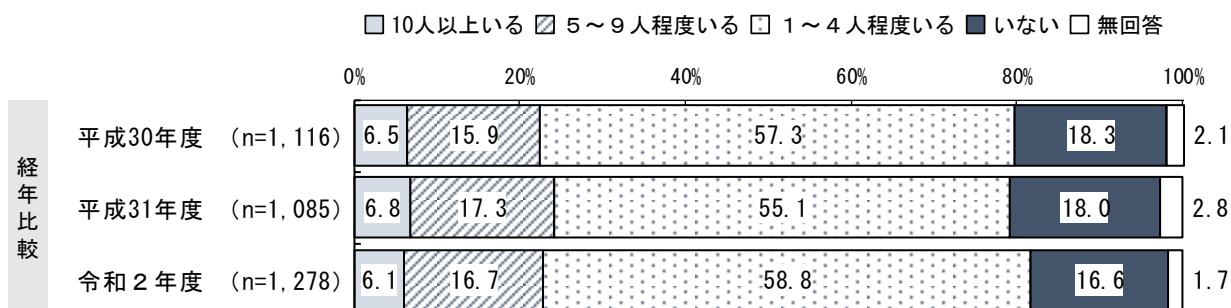
—困ったときに助け合える人が「1～4人程度いる」人は58.8%—

「1～4人程度いる」(58.8%)が最も多く、続いて「5～9人程度いる」(16.7%)、「いない」(16.6%)となっています。



#### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

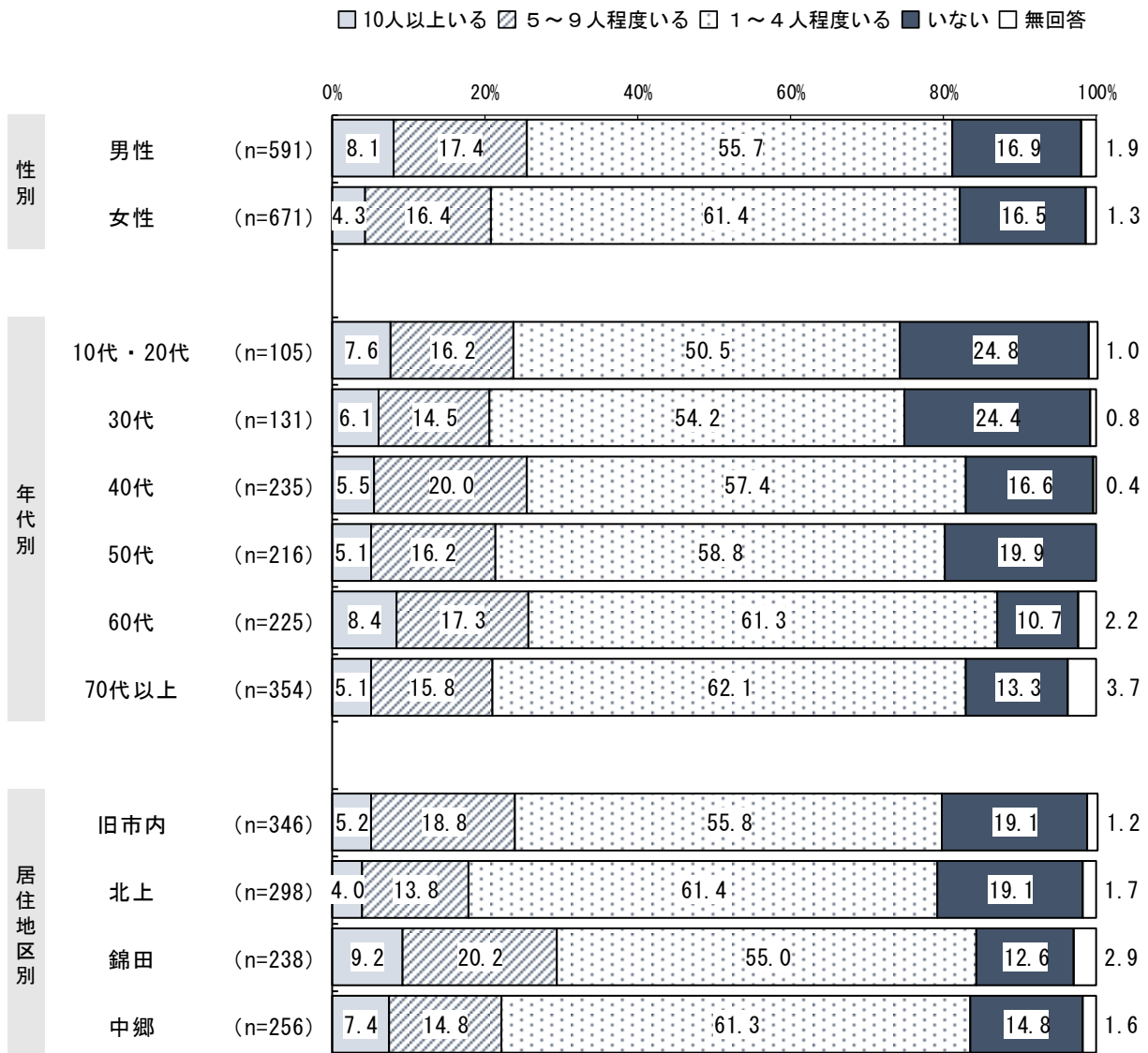


## 【属性別比較】

性別でみると、「1～4人程度いる」（男性55.7%、女性61.4%）は、最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「1～4人程度いる」が5割を超えています。

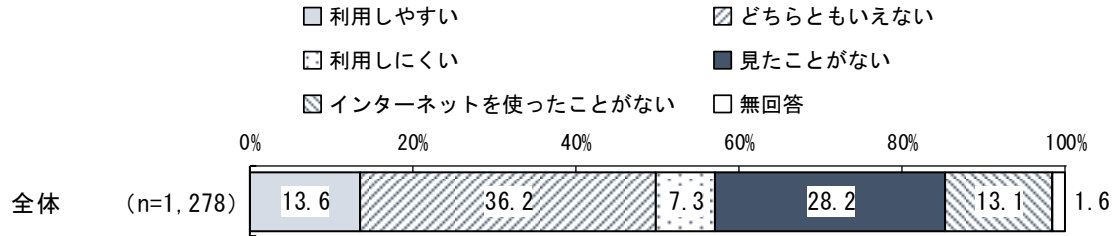
居住地区別でみると、すべての居住地区で「1～4人程度いる」が5割を超えています。



問6 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(〇は一つ)

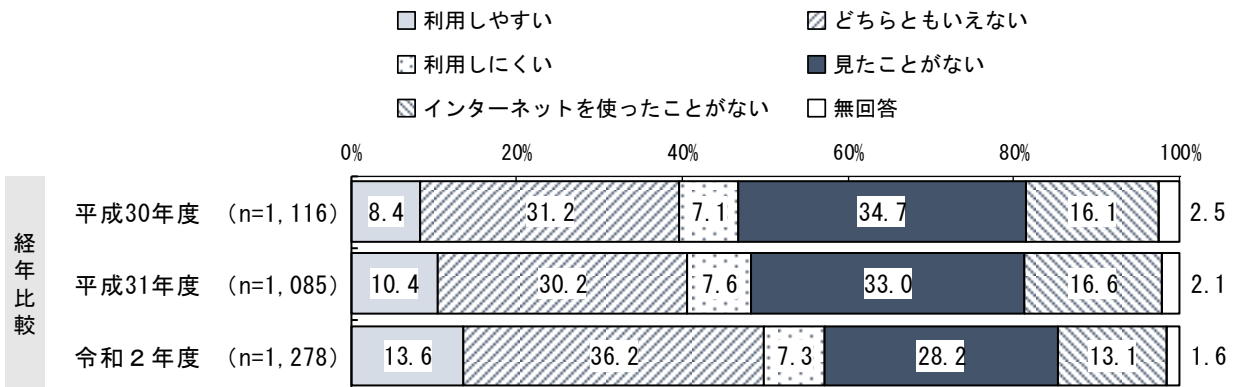
－三島市公式ホームページを「利用しやすい」は13.6%－

「どちらともいえない」(36.2%)が最も多く、続いて「見たことがない」(28.2%)、「利用しやすい」(13.6%)となっています。



【経年比較】

時系列でみると、令和元年度と比べて「どちらともいえない」が多くなっています。

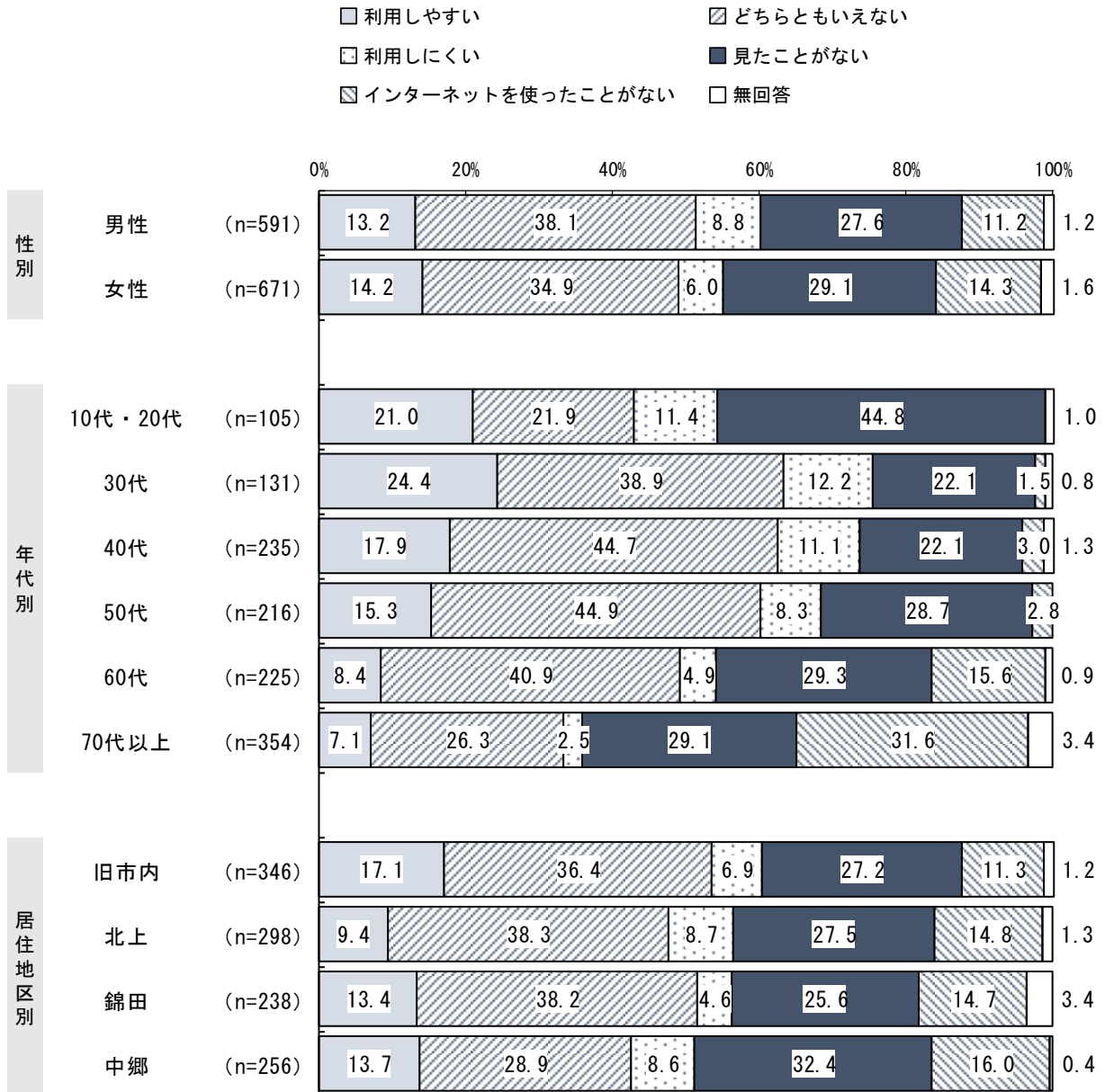


## 【属性別比較】

性別でみると、「利用しやすい」（男性13.2%、女性14.2%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、10代・20代では「見たことがない」（44.8%）が最も多くなっています。

居住地区別でみると、中郷では「見たことがない」（32.4%）が最も多くなっています。

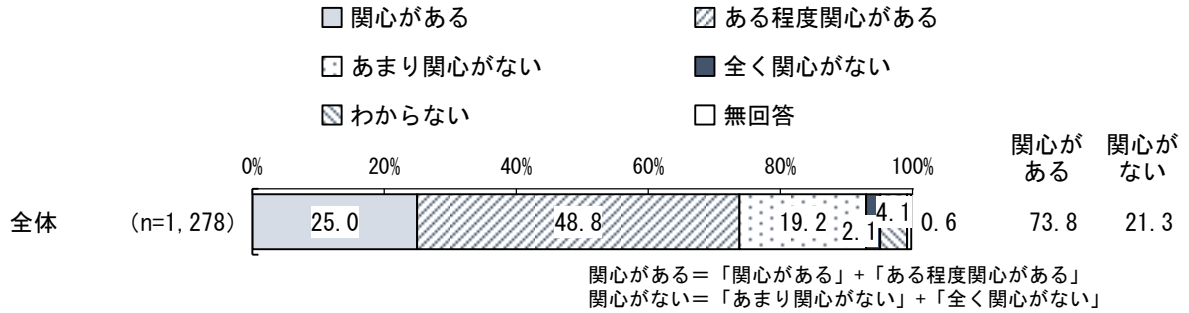


問7 食育（食に関する知識や食を選択する力を身に付けること）に関心がありますか。  
 (〇は一つ)

—食育に“関心がある”人は73.8%—

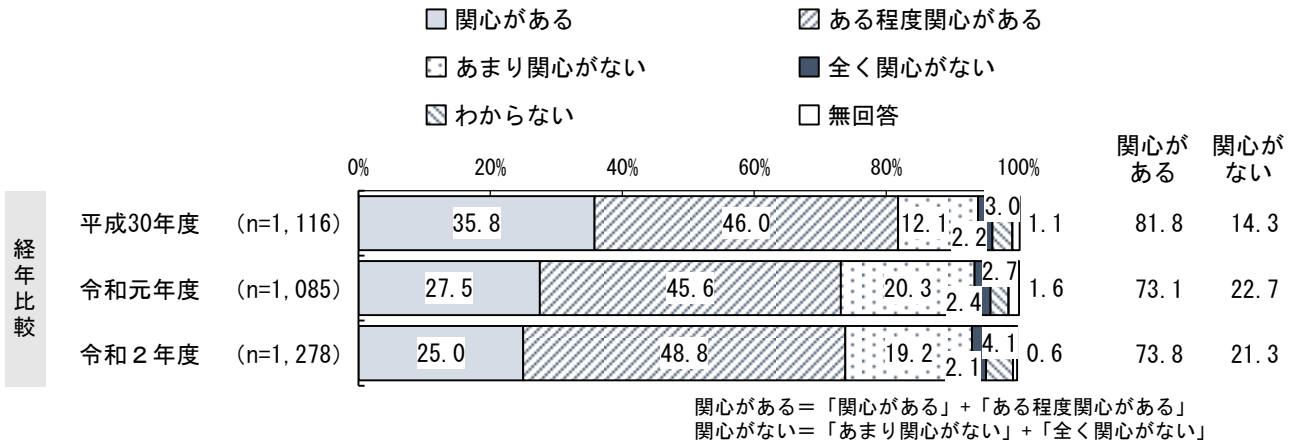
「関心がある」(25.0%)と「ある程度関心がある」(48.8%)を合わせた“関心がある”は73.8%となっています。

「あまり関心がない」(19.2%)と「全く関心がない」(2.1%)を合わせた“関心がない”は21.3%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、令和元年度と比べて大きな変化は見られません。

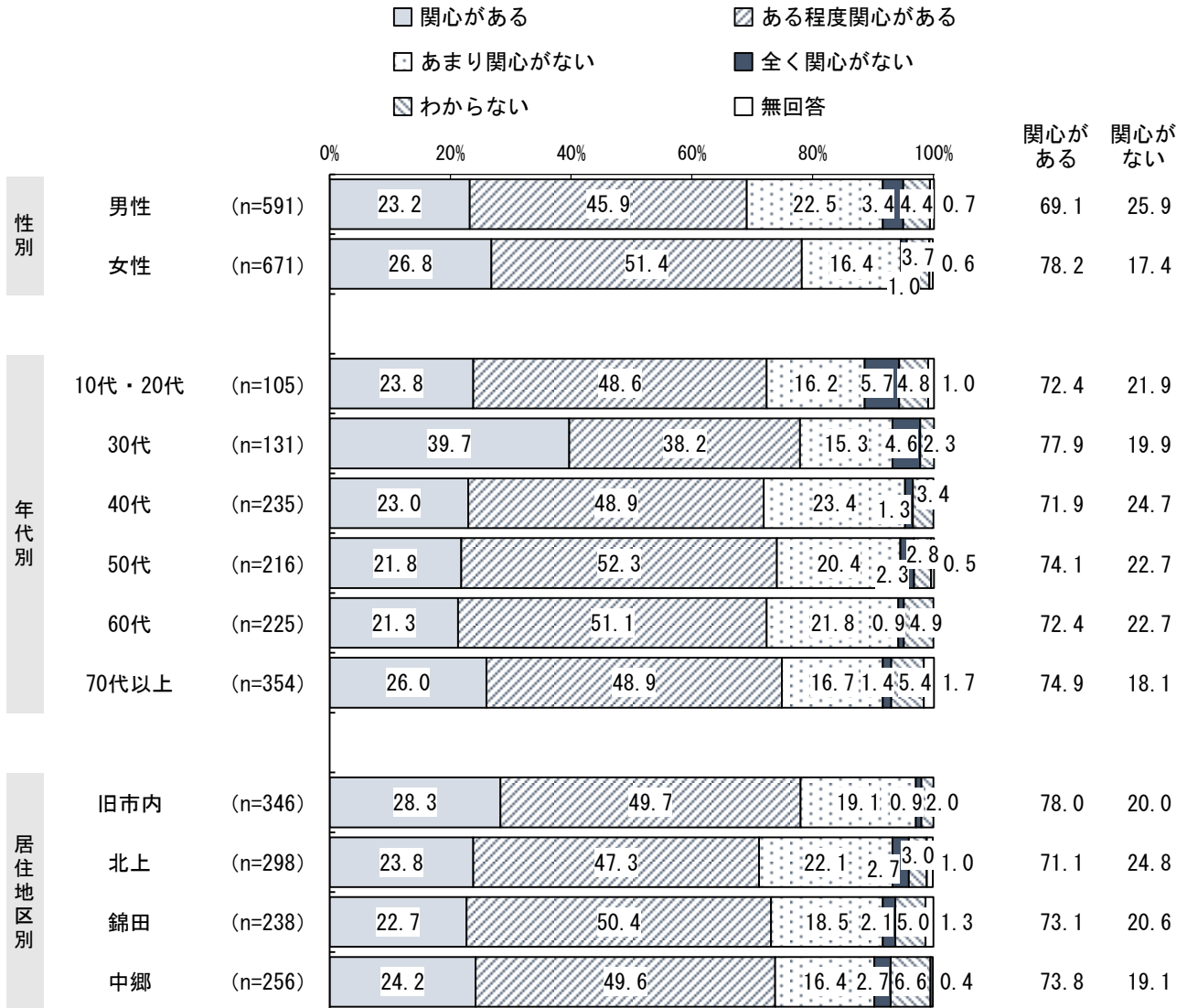


## 【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”は男性（69.1%）より女性（78.2%）の割合が多くなっています。

年代別でみると、30代（77.9%）で“関心がある”が最も多くなっています。

居住地区別でみると、旧市内（78.0%）で“関心がある”が最も多くなっています。

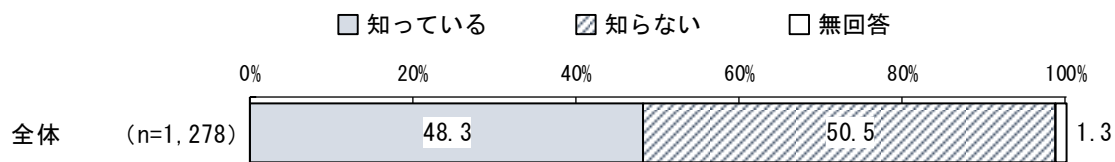


関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」  
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

問8 三島市役所に消費生活相談窓口があることを知っていますか。(〇は一つ)

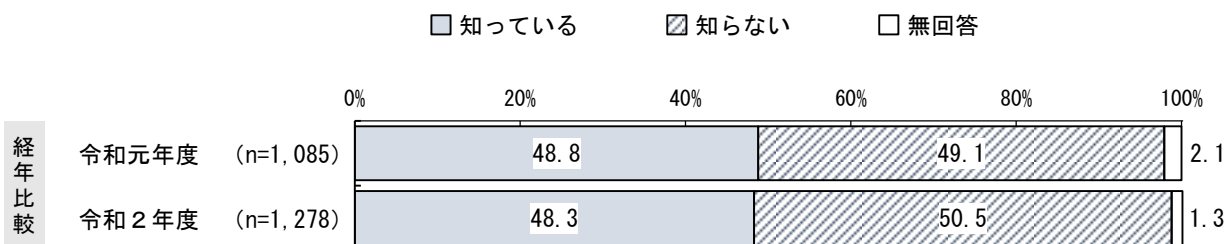
—消費者生活相談窓口の認知状況は「知っている」が48.3%—

「知っている」の割合が48.3%、「知らない」の割合が50.5%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。



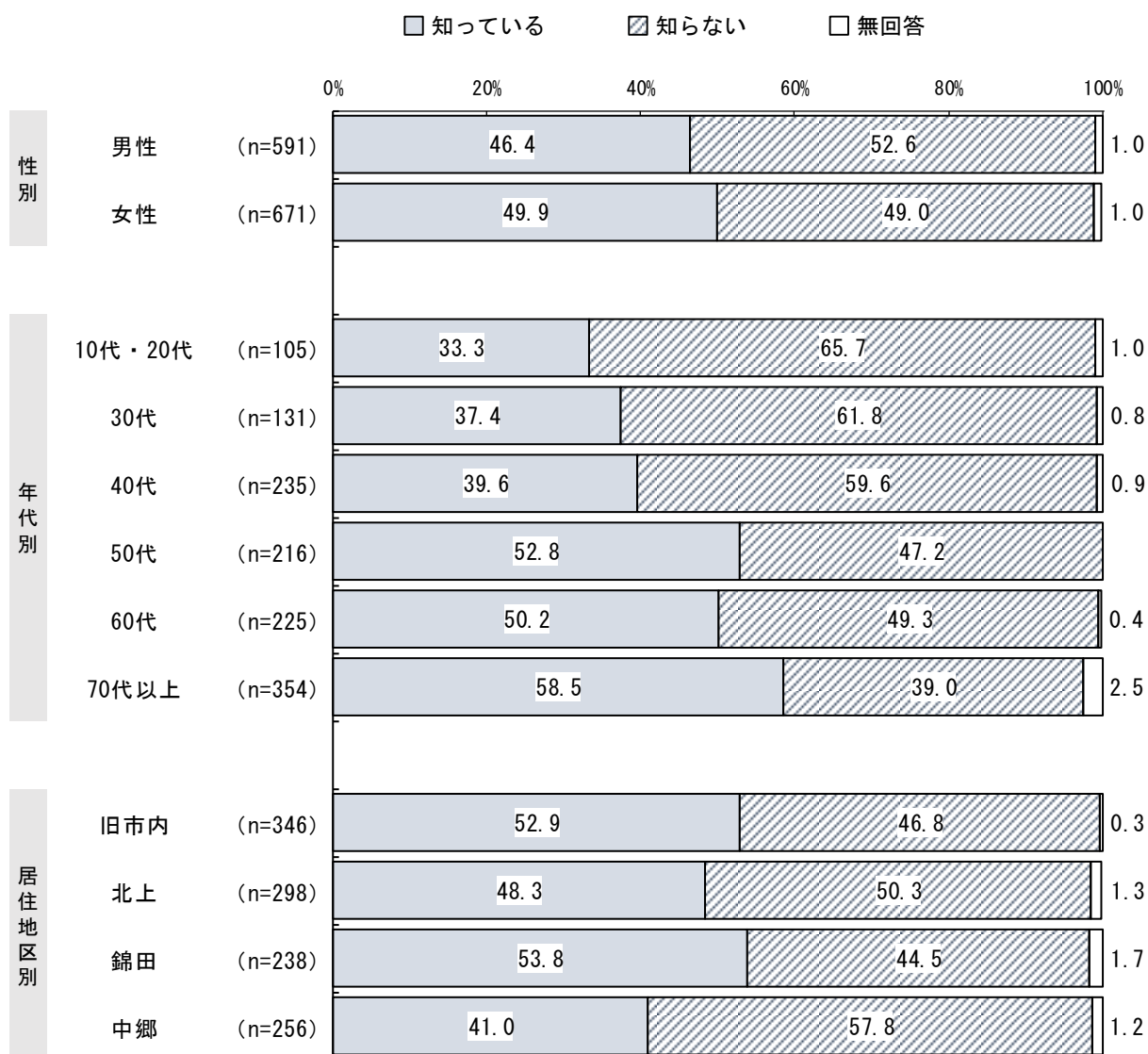


## 【属性別比較】

性別でみると、「知っている」（男性46.4%、女性49.9%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は年代が高くなるにつれ割合が低くなり、70代以上で4割を下回っています。

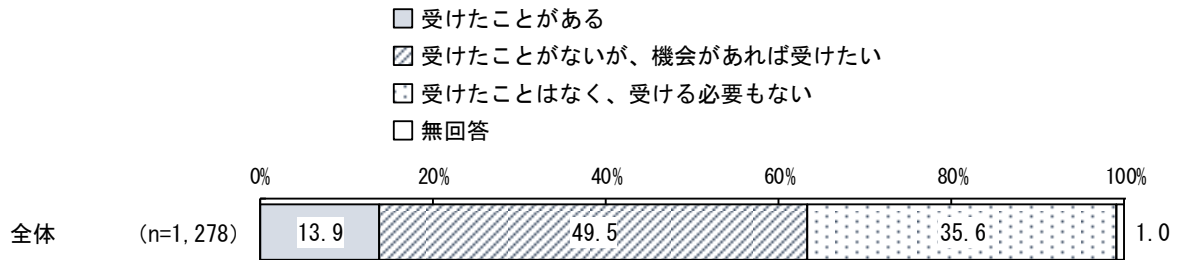
居住地区別でみると、旧市内と錦田では「知っている」が多く、北上と中郷では「知らない」が多くなっています。



問9 学校の授業や地域や職場などにおいて、消費者教育（悪質商法被害防止、食の安全、インターネットの安全な利用など）を受けたことがありますか。（〇は一つ）

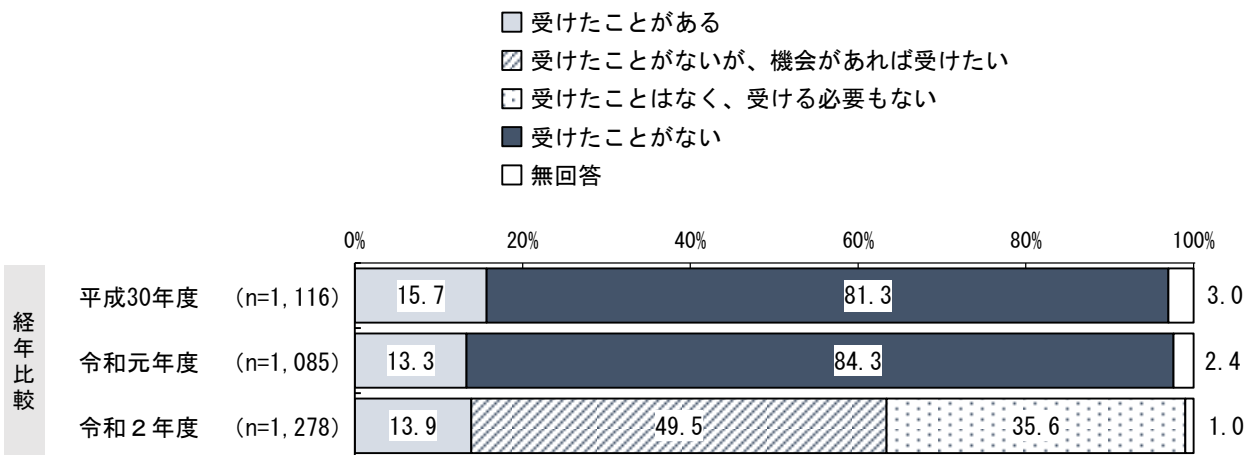
－消費者教育を「受けたことがないが、機会があれば受けたい」人は49.5%－

「受けたことがある」の割合が13.9%、「受けたことがないが機会があれば受けたい」の割合が49.5%、「受けたことはなく、受ける必要もない」の割合が35.6%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「受けたことがある」は大きな変化はみられません。



※ 「受けたことがないが、機会があれば受けたい」、「受けたことはなく、受ける必要もない」は令和2年度に新設

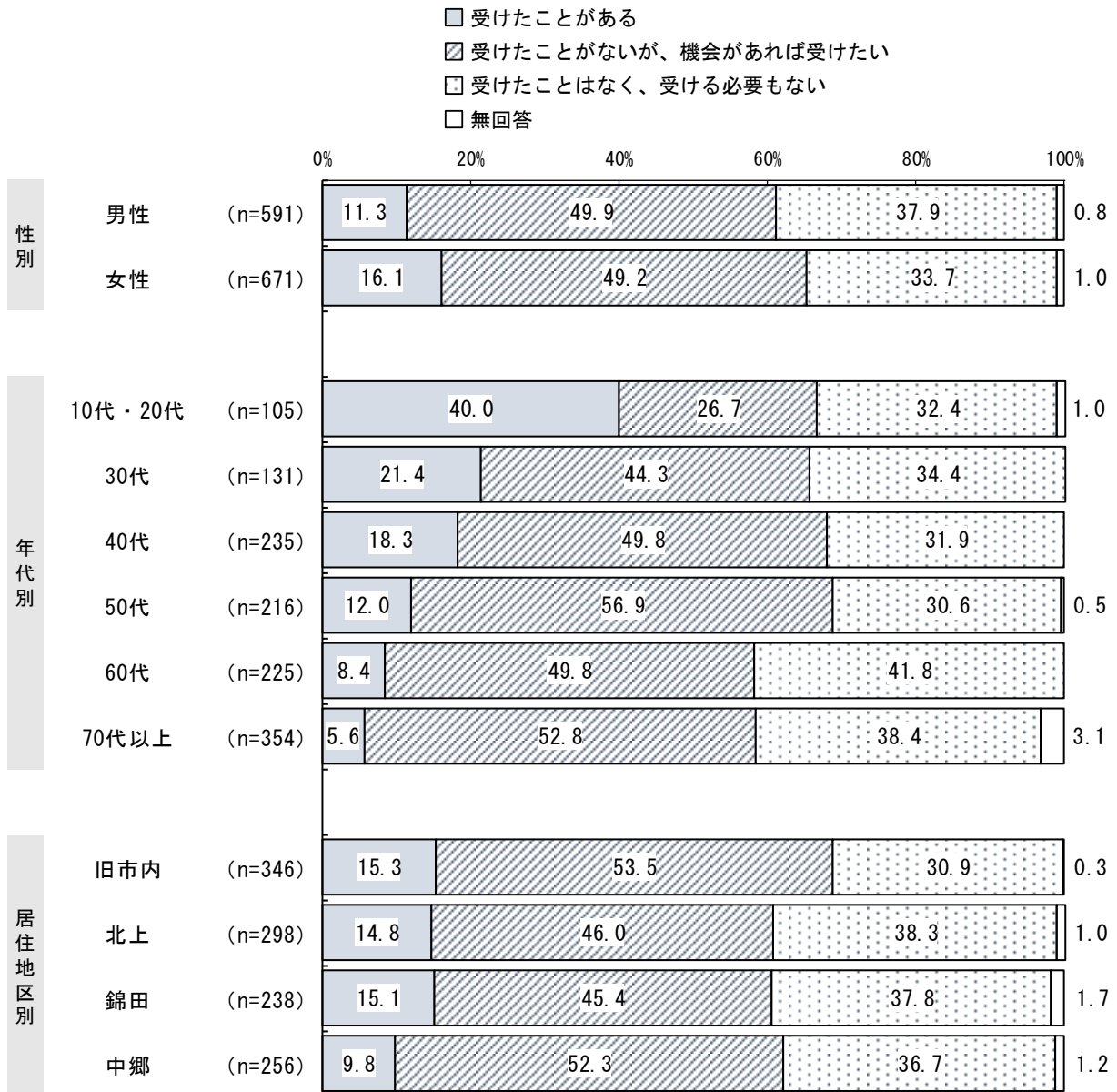
※ 「受けたことがない」は令和元年度までの選択肢

## 【属性別比較】

性別でみると、「受けたことがある」は、男性（11.3%）と女性（16.1%）で、大きな差はみられません。

年代別でみると、10代・20代で「受けたことがある」（40.0%）が最も多く、年代が高くなるにつれ割合が低くなっています

居住地区別でみると、すべての居住地区で「受けたことがある」は約1割となっています。



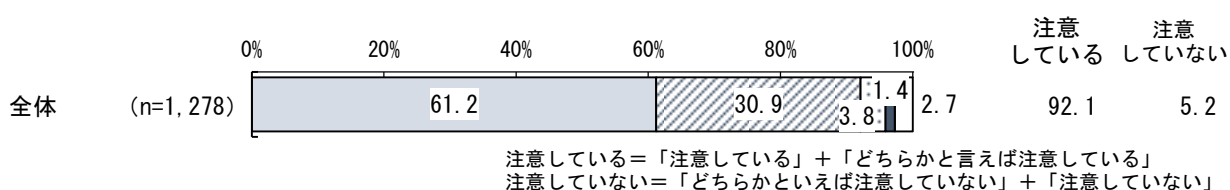
問10 消費者被害やトラブルに遭わないように注意していますか？（○は一つ）

—消費者被害やトラブルに遭わないよう“注意している”人は92.1%—

「注意している」（61.2%）と「どちらかといえば注意している」（30.9%）を合わせた“注意している”は92.1%となっています。

「どちらかといえば注意していない」（3.8%）と「注意していない」（1.4%）を合わせた“注意していない”は5.2%となっています。

- 注意している
- どちらかといえば注意している
- どちらかといえば注意していない
- 注意していない
- 無回答

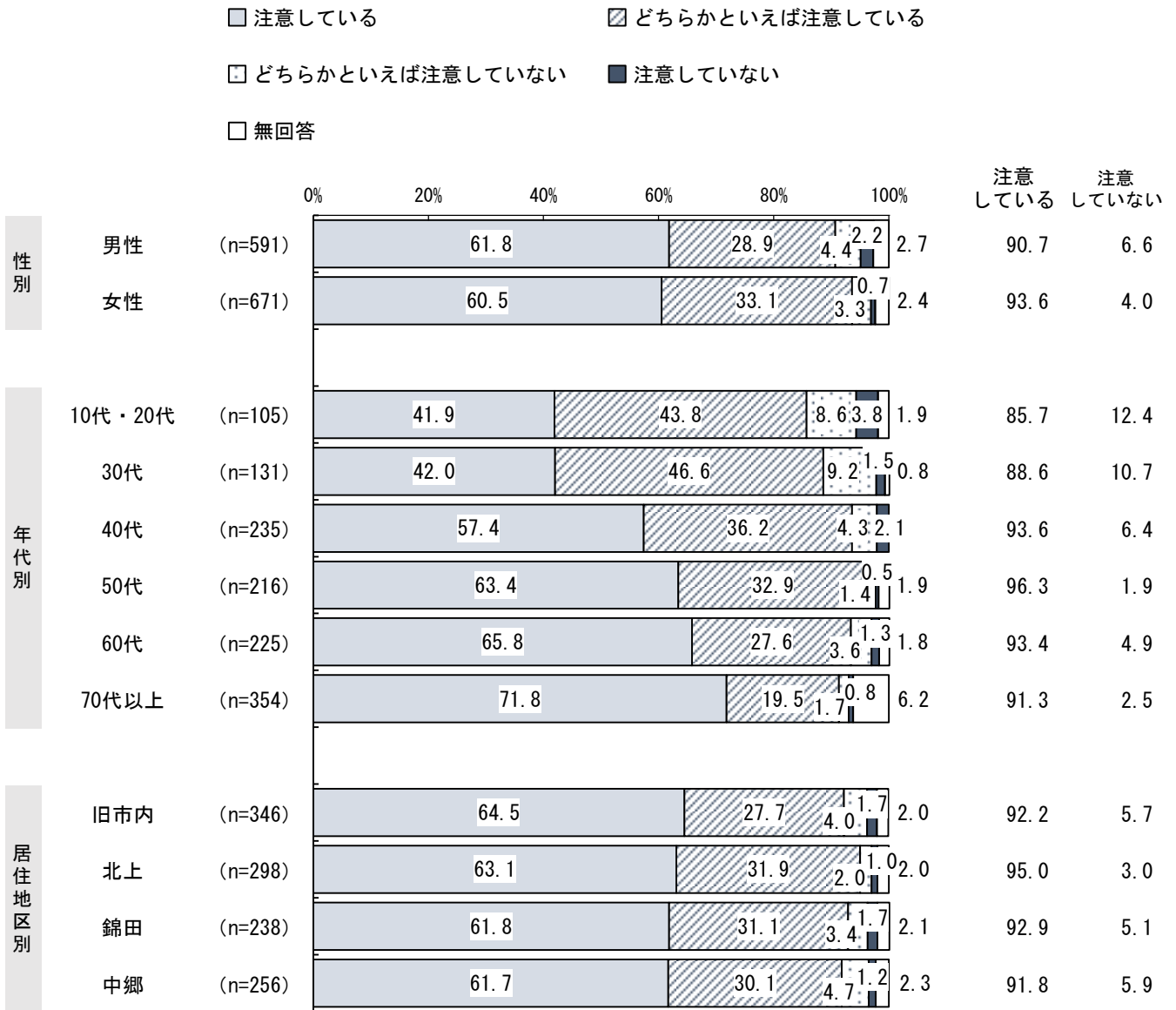


## 【属性別比較】

性別でみると、「注意している」は男性（90.7%）と女性（93.6%）で大きな差はみられません。

年代別でみると、「注意している」は年代が高くなるにつれ割合が高くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「注意している」が9割を超えています。



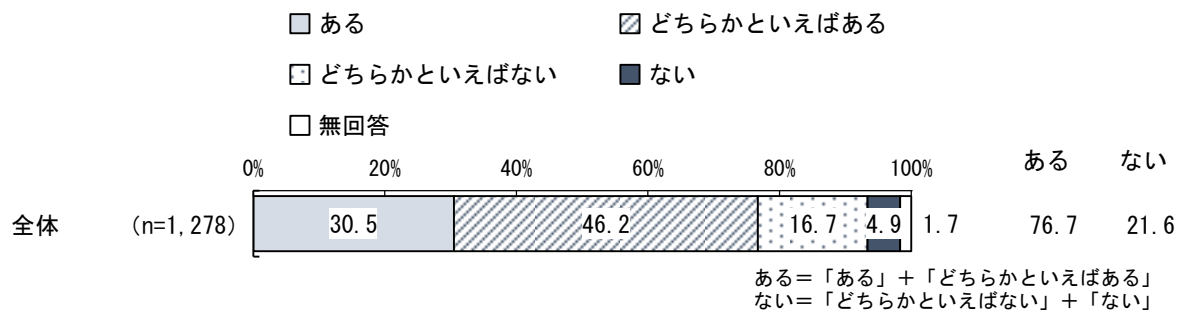
注意している = 「注意している」 + 「どちらかといえば注意している」  
 注意していない = 「どちらかといえば注意していない」 + 「注意していない」

問11 商品やサービスを選択する際に、社会貢献につながるもの（環境・被災地支援・地産地消など）を意識することがありますか？（○は一つ）

—商品やサービスを選択する際に、社会貢献につながるものを意識することが  
“ある”人は76.7%—

「ある」（30.5%）と「どちらかといえばある」（46.2%）を合わせた“ある”は76.7%となっています。

「どちらかといえばない」（16.7%）と「ない」（4.9%）を合わせた“ない”は21.6%となっています。

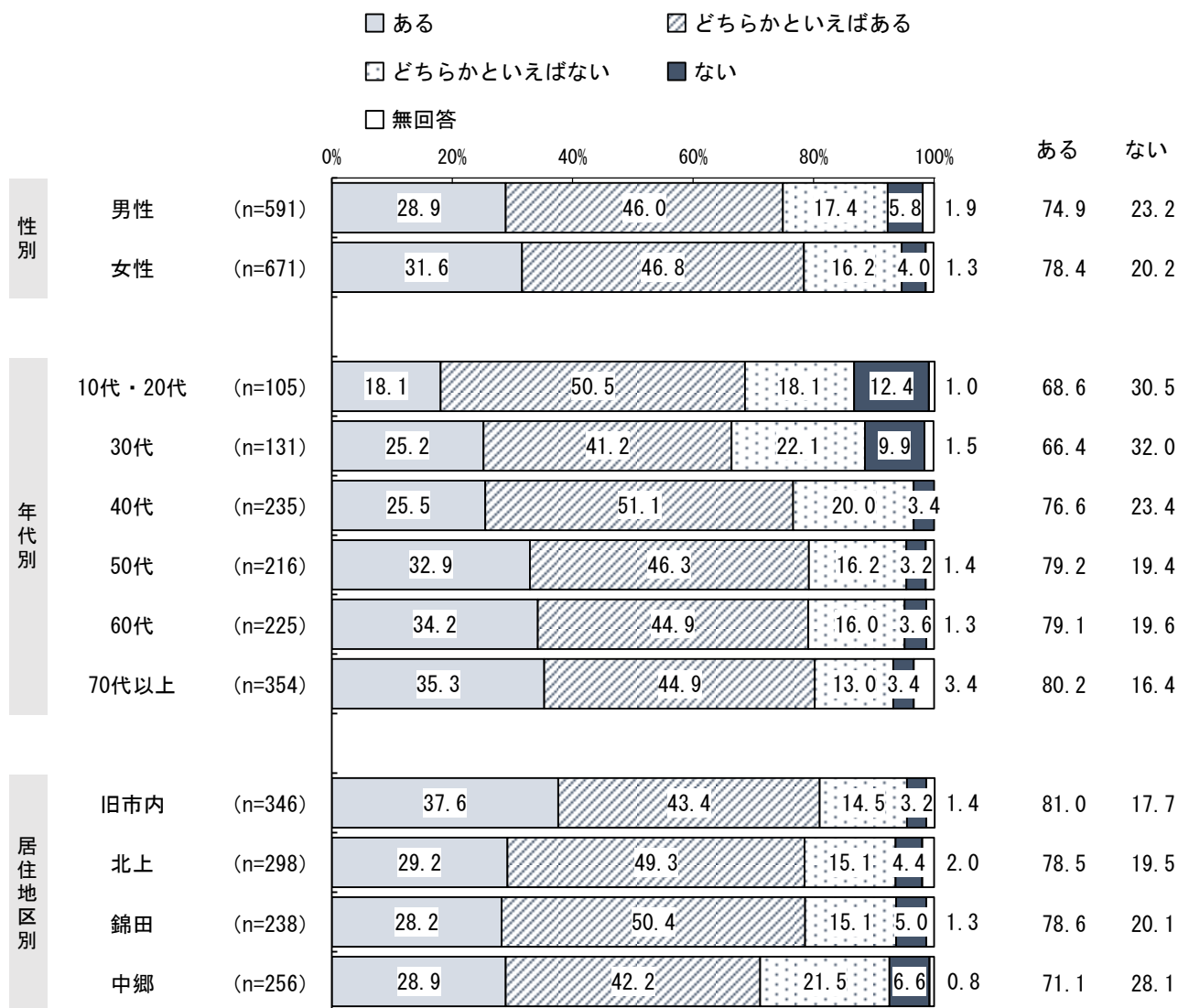


## 【属性別比較】

性別でみると、“ある”は男性（74.9%）と女性（78.4%）で大きな差はみられません。

年代別でみると、「ある」は年代が高くなるにつれ割合が高くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で“ある”が7割を超えています。



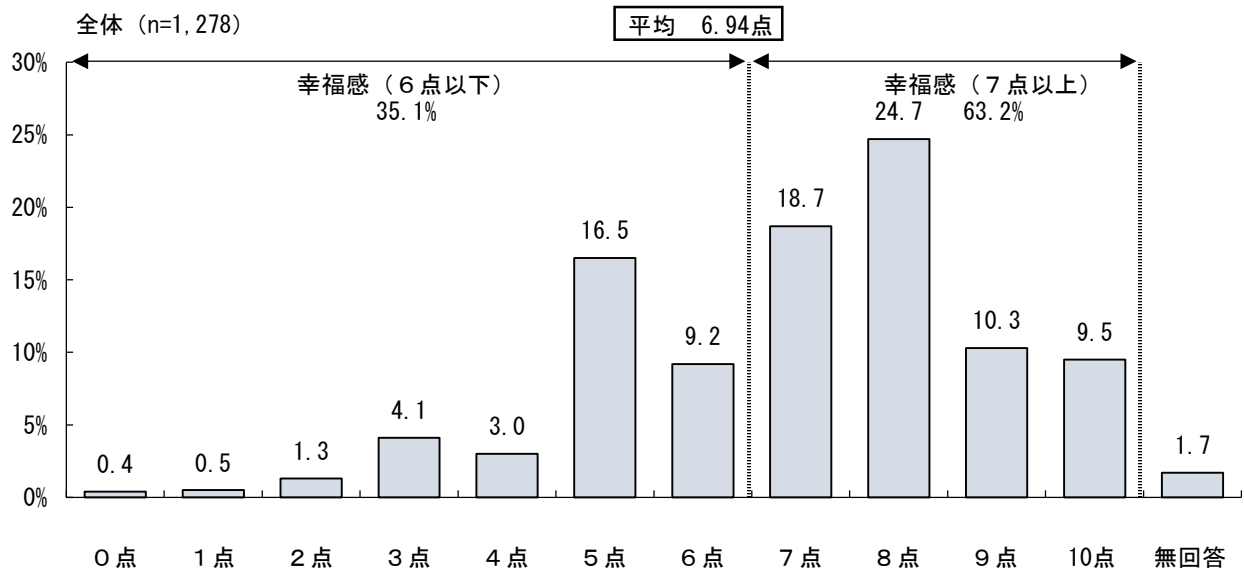
ある = 「ある」 + 「どちらかといえばある」  
 ない = 「どちらかといえばない」 + 「ない」

## (5) 幸福感について

問12 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの点数を1つだけ○で囲んでください。

### —現在の幸福感の平均は6.94点—

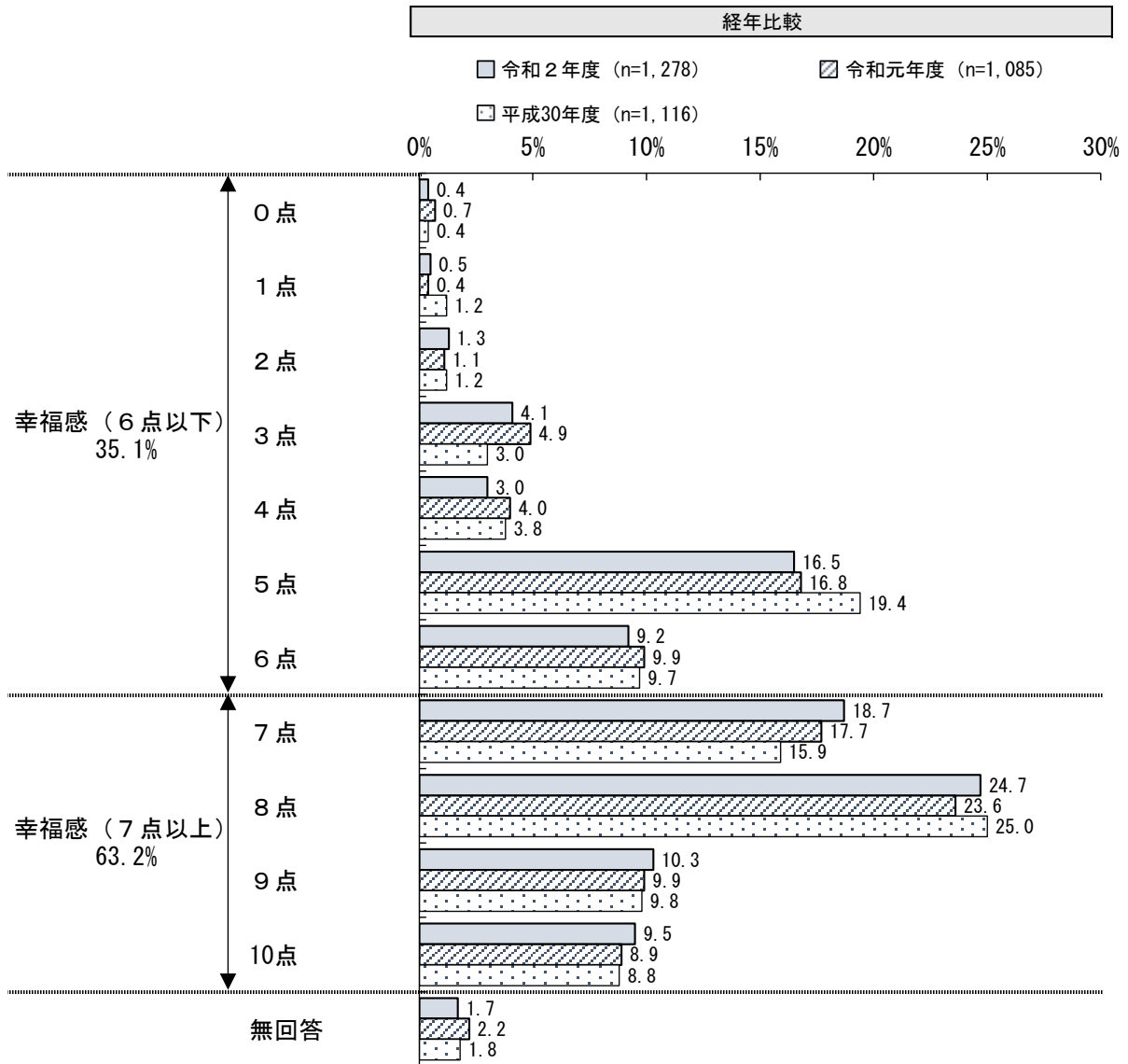
「8点」が24.7%と最も多く、続いて「7点」が18.7%、「5点」が16.5%となっています。平均点は6.94点で、平均以上の“幸福感（7点以上）”（63.2%）は6割を超えています。





## 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。



区分	調査数	幸福感 (%)		無回答 (%)	平均 (点)
		6点以下	7点以上		
平成30年度調査	1,116	38.7	59.5	1.8	6.83
令和元年度調査	1,085	37.8	60.1	2.2	6.82
令和2年度調査	1,278	35.1	63.2	1.7	6.94

## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「8点」（男性24.9%、女性25.0%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「8点」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「8点」が最も多くなっています。

単位(%)

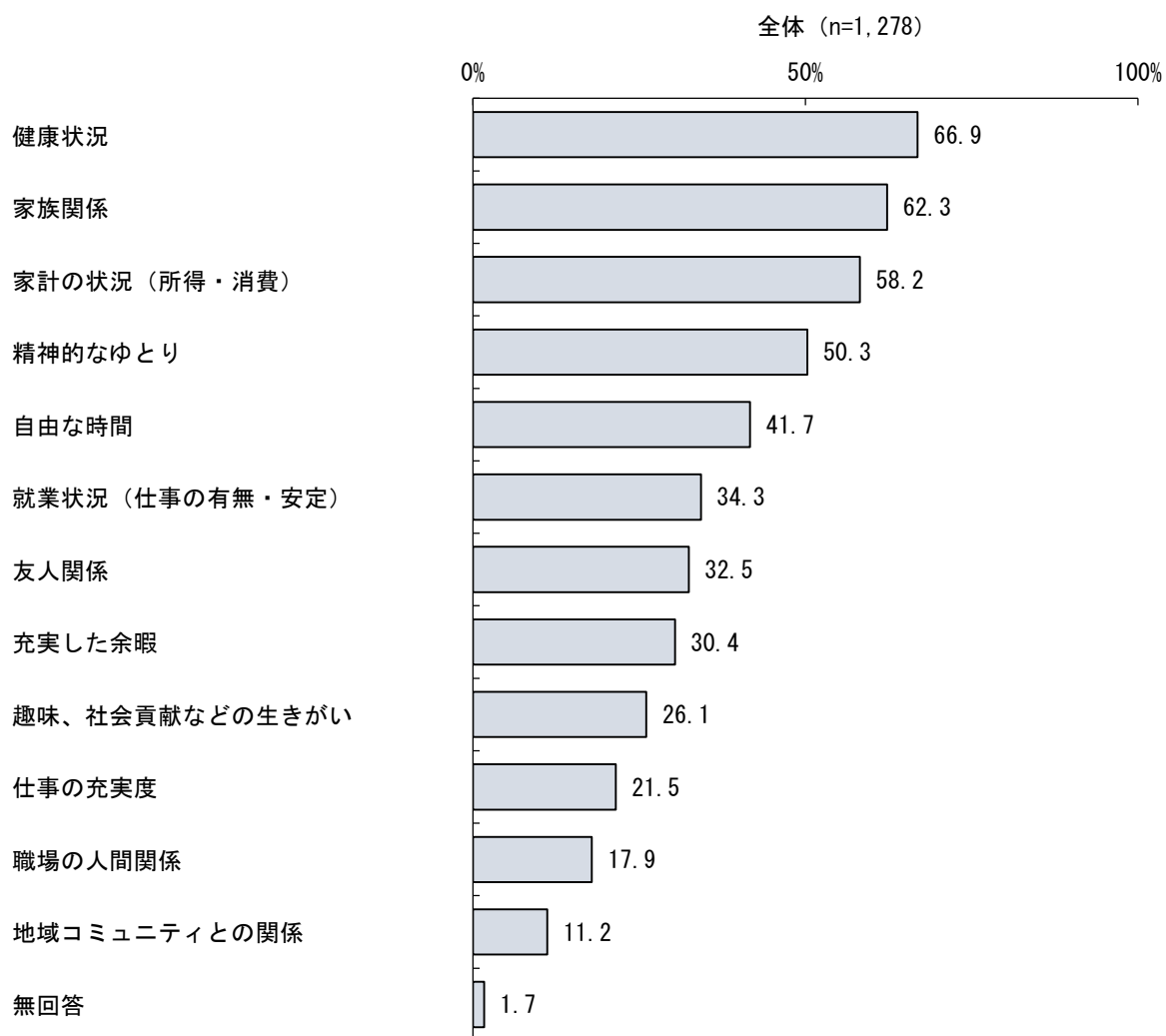
		調査数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,278	0.4	0.5	1.3	4.1	3.0	16.5	9.2	18.7	24.7	10.3	9.5	1.7
性別	男性	591	0.3	0.7	1.5	4.2	3.6	17.9	8.8	21.7	24.9	5.9	9.0	1.5
	女性	671	0.3	0.4	0.9	3.9	2.5	15.5	9.7	15.9	25.0	14.3	9.8	1.6
年代別	10代・20代	105	-	1.0	1.9	2.9	6.7	15.2	11.4	19.0	21.9	5.7	14.3	-
	30代	131	0.8	0.8	1.5	6.1	0.8	10.7	13.7	14.5	30.5	9.2	9.9	1.5
	40代	235	-	0.4	1.7	4.3	3.4	16.6	9.4	22.6	22.6	10.6	8.5	-
	50代	216	0.5	0.5	1.4	4.2	2.3	19.0	8.3	17.6	25.5	9.7	8.3	2.8
	60代	225	0.4	0.4	0.9	3.6	3.6	12.4	9.8	23.1	24.9	12.4	8.4	-
	70代以上	354	0.3	0.6	0.8	3.7	2.5	20.3	7.1	15.5	24.9	11.0	9.6	3.7
居住地区別	旧市内	346	0.6	1.2	0.3	5.5	3.8	13.3	6.9	20.2	22.8	11.3	12.1	2.0
	北上	298	-	-	1.7	4.4	2.3	17.1	10.7	17.4	26.2	10.7	8.4	1.0
	錦田	238	0.4	0.4	1.7	3.8	0.8	20.6	8.0	18.5	25.6	9.2	8.8	2.1
	中郷	256	-	-	0.8	3.1	4.3	14.5	11.3	18.4	25.0	12.1	8.6	2.0

1位 :  2位 :  3位 : 

問13 問12で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(〇はいくつでも)

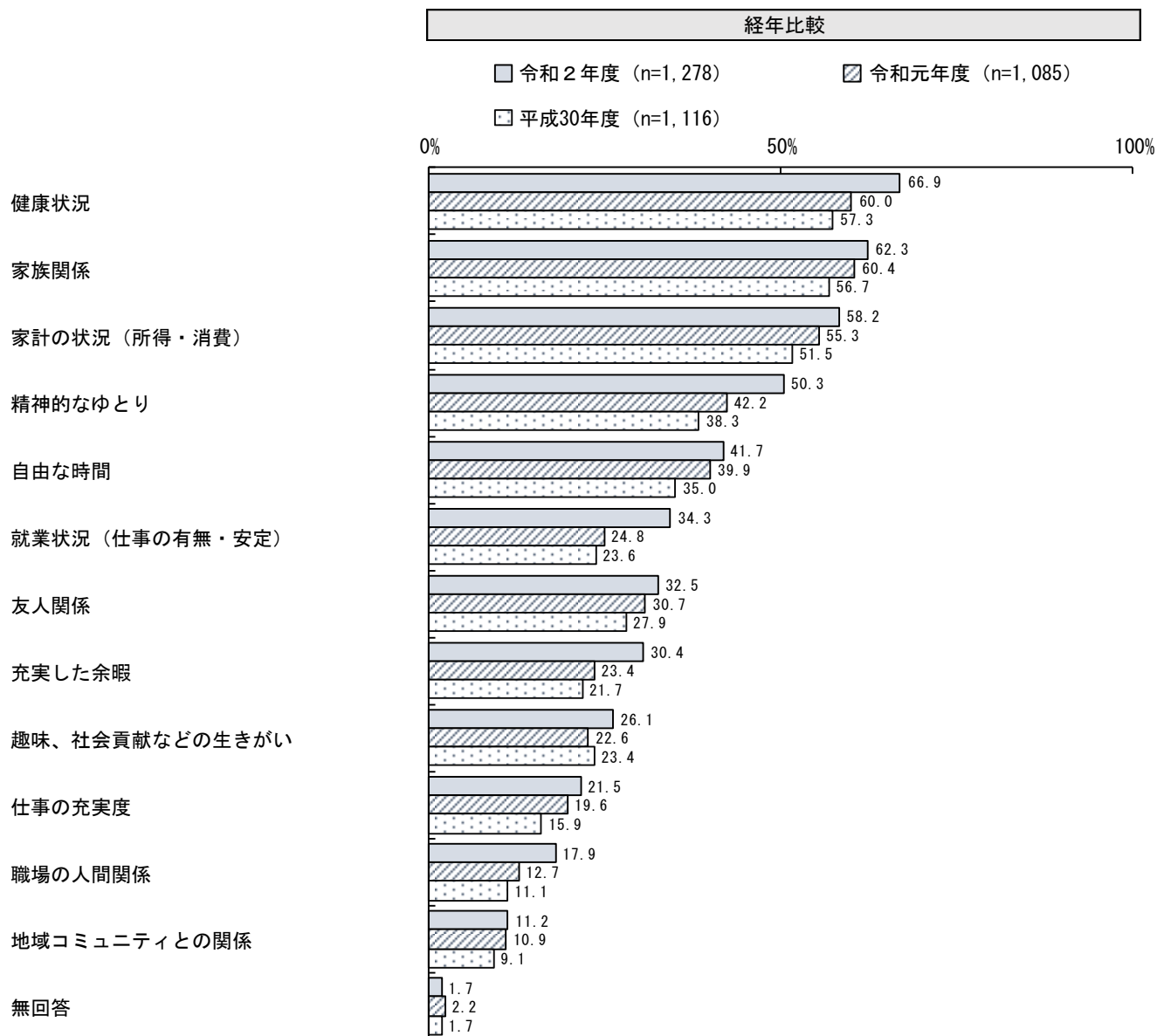
－幸福感を判断する際に重視するのは「健康状況」で66.9%－

「健康状況」(66.9%)が最も多く、続いて「家族関係」(62.3%)、「家計の状況(所得・消費)」(58.2%)となっています。



## 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度から令和2年度にかけて「健康状況」、「精神的なゆとり」、「就業状況（仕事の有無・安定）」、「充実した余暇」が大きく増加しています。



## 【属性別比較】

性別でみると、「健康状況」が男性（67.2%）、女性（66.5%）と最も多くなっています。

年代別でみると、50代以上では「健康状況」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「健康状況」が最も多くなっています。

単位 (%)

	調査数	家計の状況（所得・消費）	就業状況（仕事の有無・安定）	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの関係	無回答	
全体	1,278	58.2	34.3	66.9	41.7	30.4	21.5	50.3	26.1	62.3	32.5	17.9	11.2	1.7	
性別	男性	591	57.4	35.0	67.2	39.3	32.5	23.9	45.2	27.9	59.1	25.7	17.3	14.0	1.7
	女性	671	59.5	33.7	66.5	44.0	28.5	19.4	55.0	24.4	65.0	38.2	18.5	8.6	1.5
年代別	10代・20代	105	55.2	38.1	51.4	54.3	41.9	24.8	57.1	30.5	55.2	54.3	31.4	7.6	1.9
	30代	131	65.6	56.5	66.4	40.5	29.8	30.5	55.7	22.9	68.7	35.9	30.5	10.7	1.5
	40代	235	68.5	50.6	62.6	41.7	31.5	29.8	52.8	23.8	66.4	26.8	23.0	9.4	1.3
	50代	216	64.8	49.5	67.6	39.4	28.2	30.6	56.9	26.4	65.3	28.7	29.2	10.2	0.9
	60代	225	67.1	29.3	76.0	36.4	33.3	20.9	53.3	29.8	60.4	28.9	11.6	12.9	-
	70代以上	354	40.7	8.2	68.1	43.5	26.0	6.8	39.0	25.4	58.5	32.8	3.4	13.3	3.4
居住地区別	旧市内	346	63.0	39.9	68.8	44.8	31.2	24.6	57.5	28.6	64.2	35.3	22.3	12.1	1.4
	北上	298	58.7	29.2	67.8	38.9	31.5	16.8	50.3	28.5	58.4	31.2	14.8	10.4	1.0
	錦田	238	60.9	34.5	69.3	41.2	28.6	24.8	48.3	27.7	63.0	29.8	15.5	12.2	0.8
	中郷	256	56.3	35.2	66.4	41.4	28.5	19.1	44.1	22.7	66.4	32.8	18.8	11.3	2.7

1位：  2位：  3位：

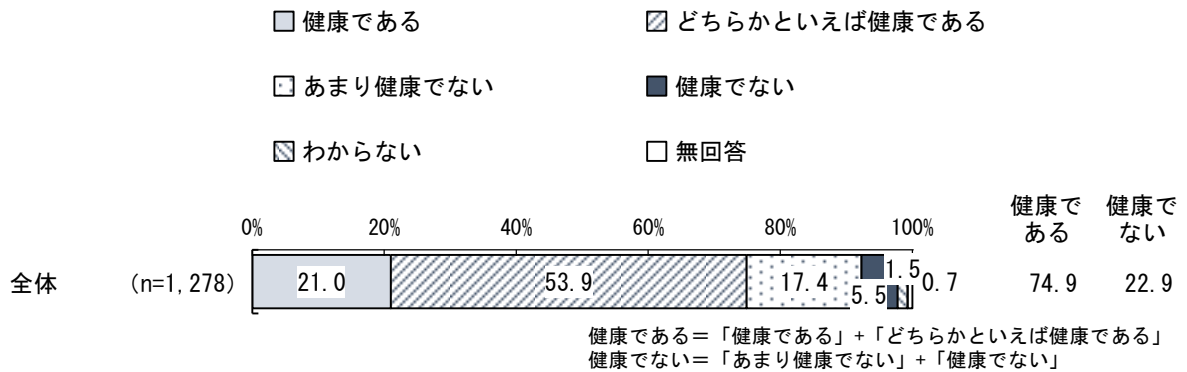
## (6) 健康について

問14 あなたは現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(〇は一つ)

### －現在“健康である”と感じている人は74.9%－

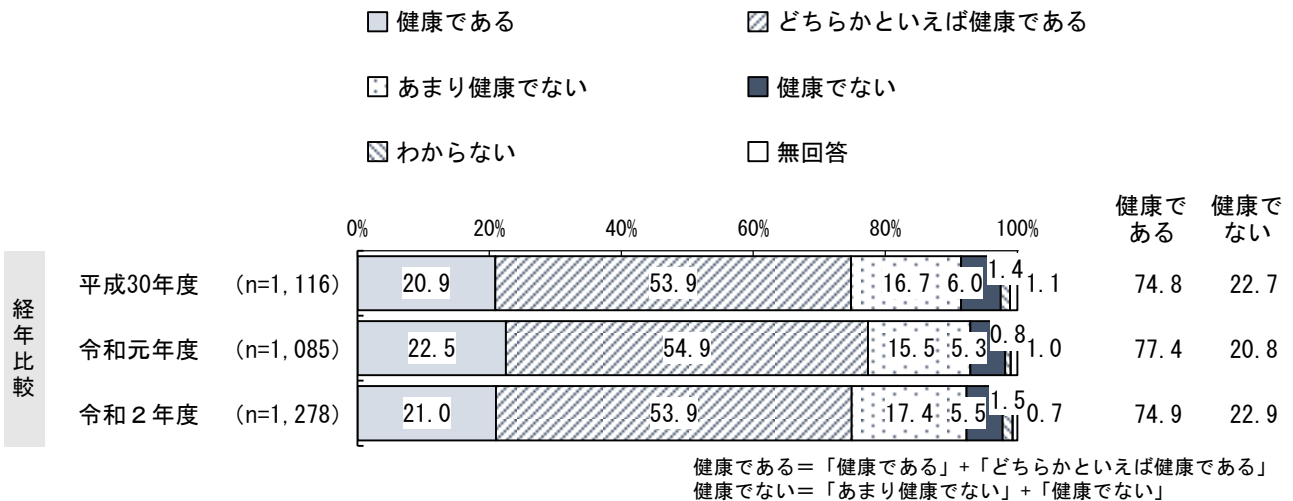
「健康である」(21.0%)と「どちらかといえば健康である」(53.9%)を合わせた“健康である”は74.9%となっています。

「あまり健康でない」(17.4%)と「健康でない」(5.5%)を合わせた“健康でない”は22.9%となっています。



### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

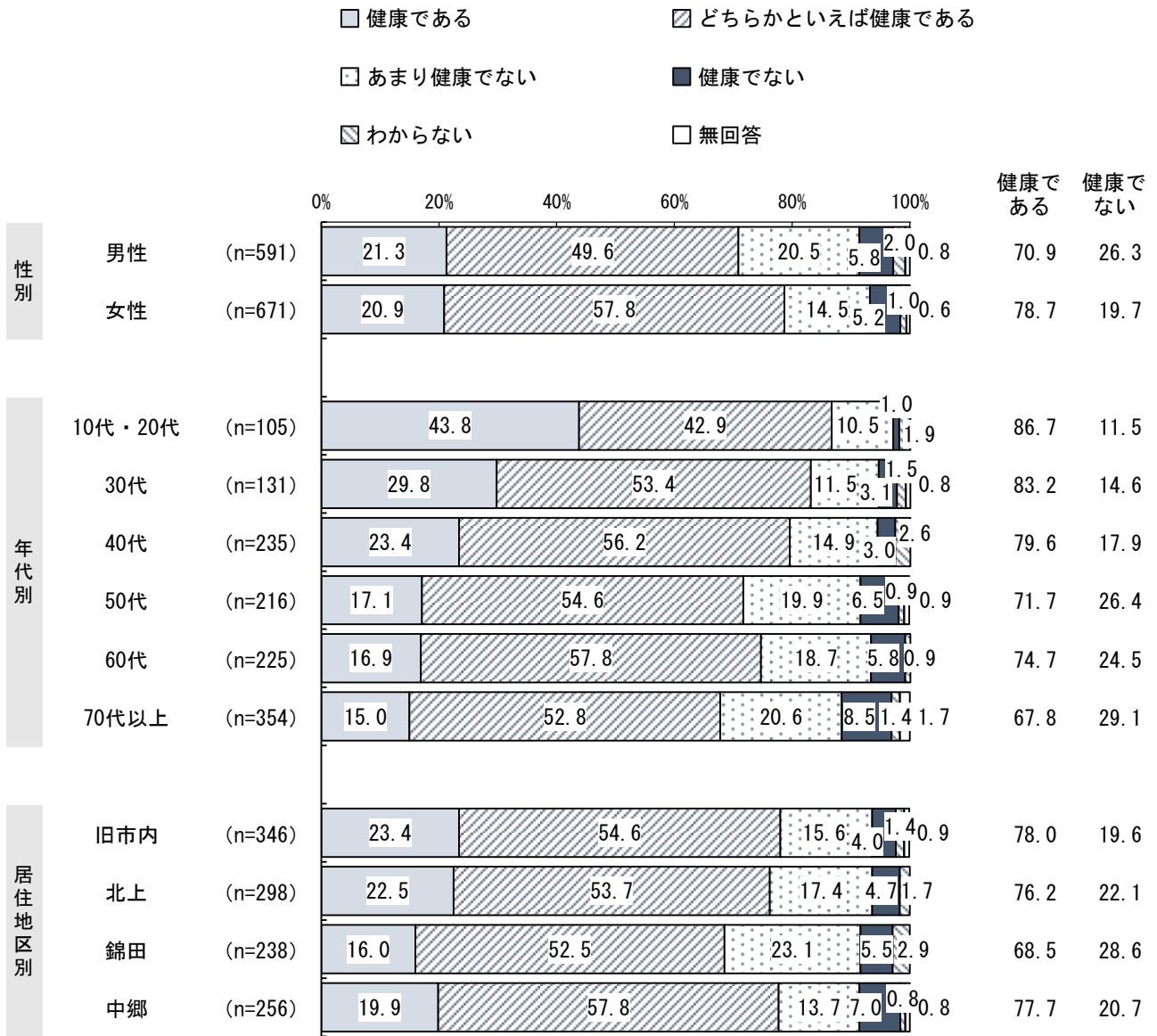


## 【属性別比較】

性別でみると、「健康である」は男性（70.9%）より女性（78.7%）の割合が多くなっています。

年代別でみると、「健康である」は年代が高くなるにつれ割合が低くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「健康である」が6割を超えています。



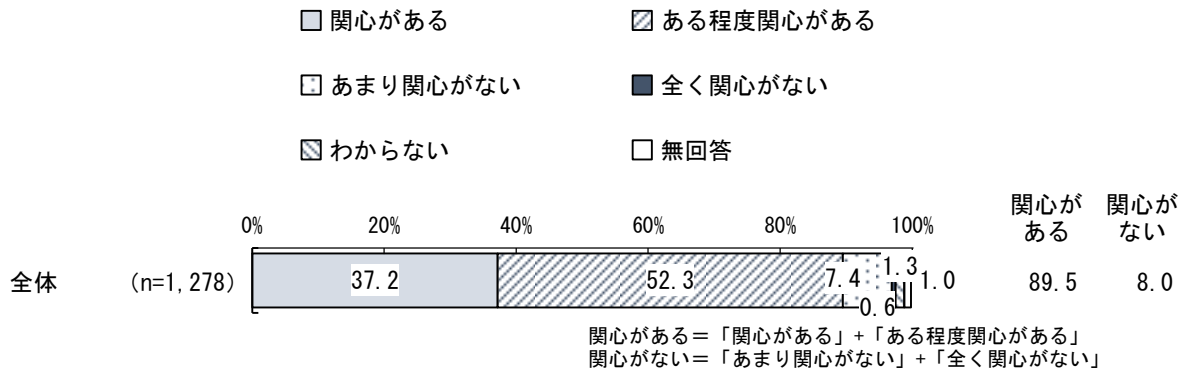
健康である = 「健康である」 + 「どちらかといえば健康である」  
 健康でない = 「あまり健康でない」 + 「健康でない」

問15 あなたは健康づくりに関心がありますか。(〇は一つ)

—健康づくりに“関心がある”人は89.5%—

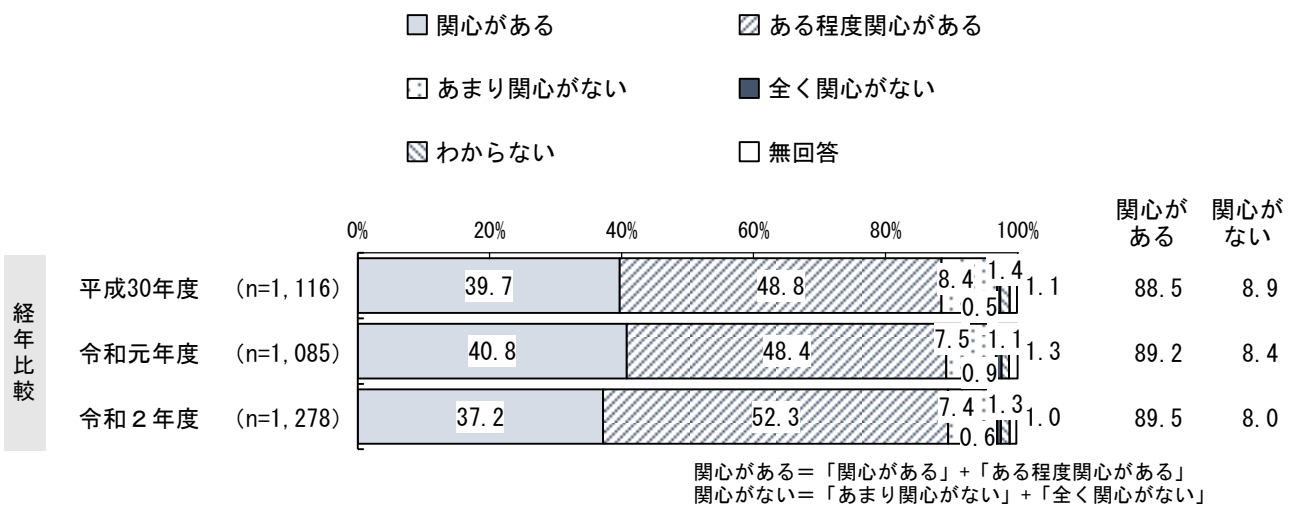
「関心がある」(37.2%)と「ある程度関心がある」(52.3%)を合わせた“関心がある”は89.5%となっています。

「あまり関心がない」(7.4%)と「全く関心がない」(0.6%)を合わせた“関心がない”は8.0%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。



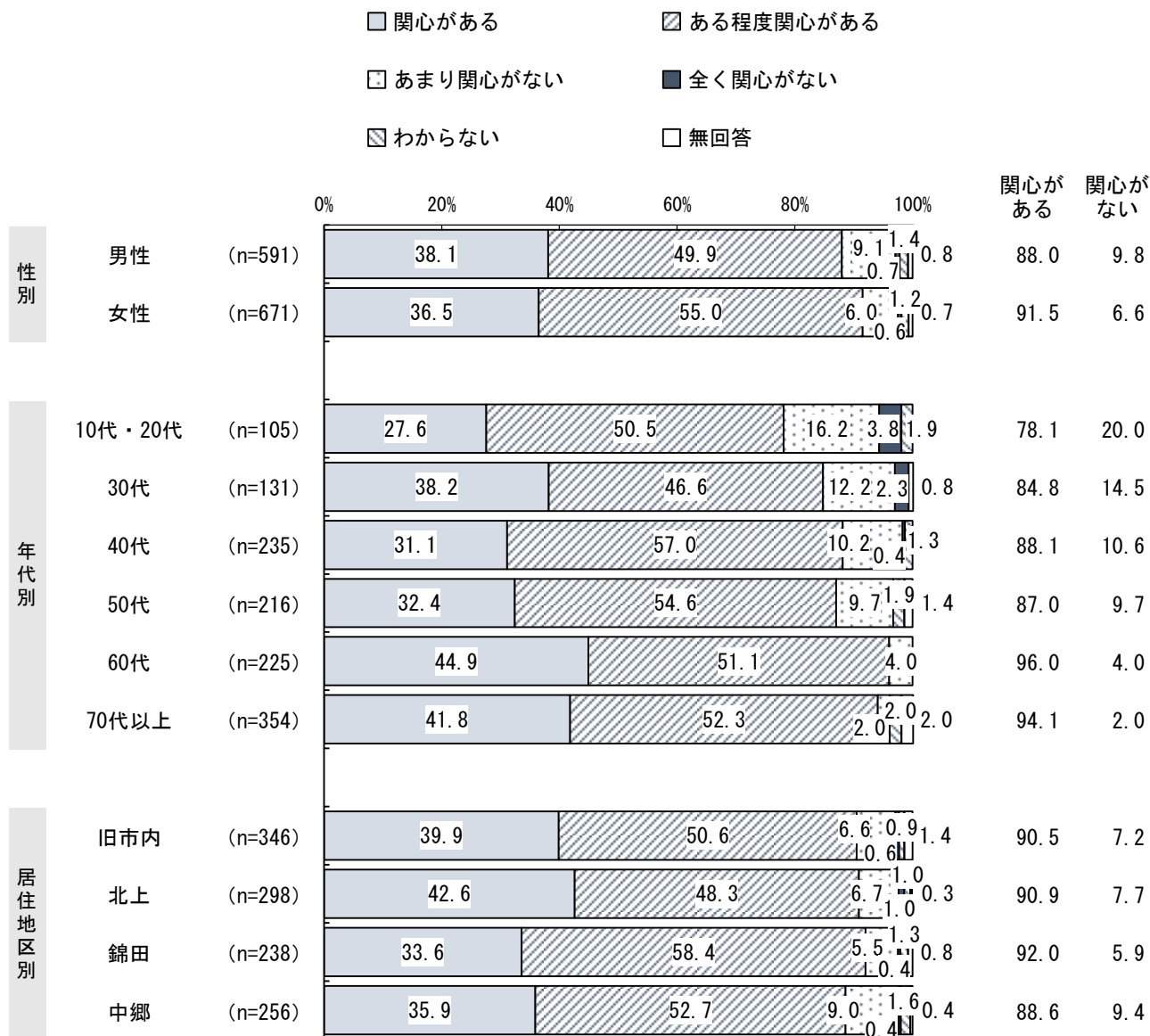


## 【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”（男性88.0%、女性91.5%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、“関心がない”は年齢が高くなるにつれ割合が低くなり、50代以上で1割を下回っています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で“関心がある”が8割を超えています。

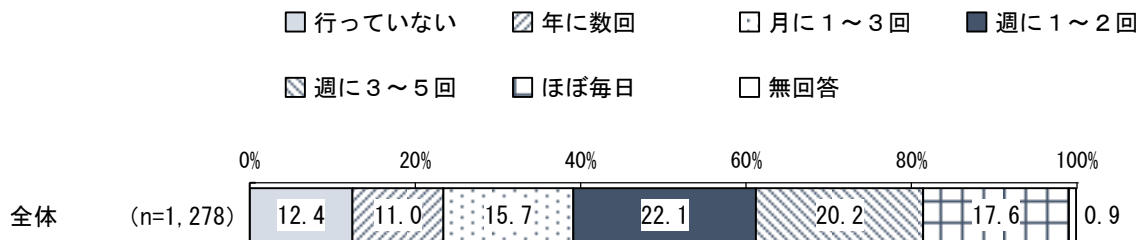


関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」  
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

問16 あなたは、この1年のあいだに運動を行いましたか。(運動には、ウォーキング[通勤・散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等]を含みます。)(○は一つ)

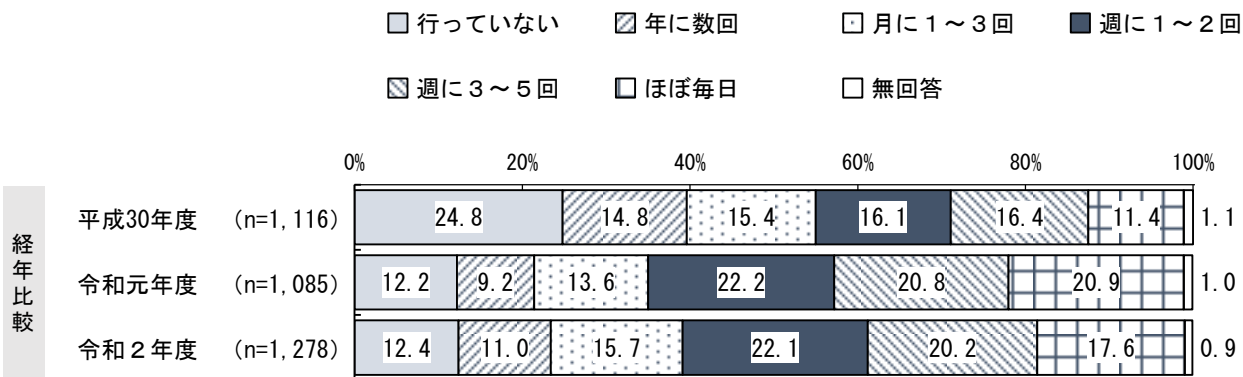
—直近1年間で運動を行った人の頻度は「週に1～2回」が22.1%—

「週に1～2回」(22.1%)が最も多く、続いて「週に3～5回」(20.2%)、「ほぼ毎日」(17.6%)となっています。



【経年比較】

経年比較は、質問文が異なるため参考とします。

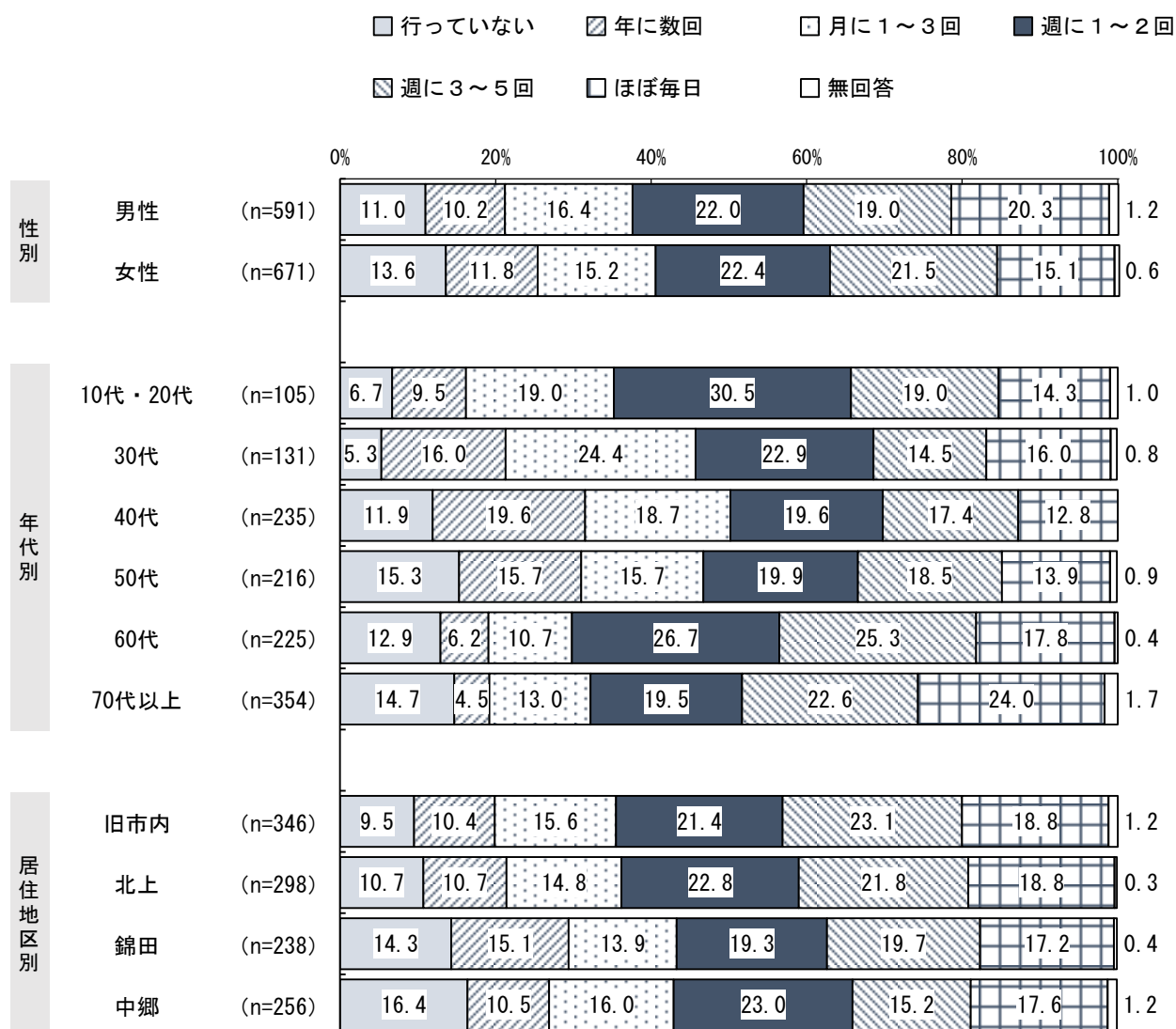


## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「週に1～2回」（男性22.0%、女性22.4%）が最も多くなっています。

年代別でみると、60代以下では「週に1～2回」が最も多くなっています。

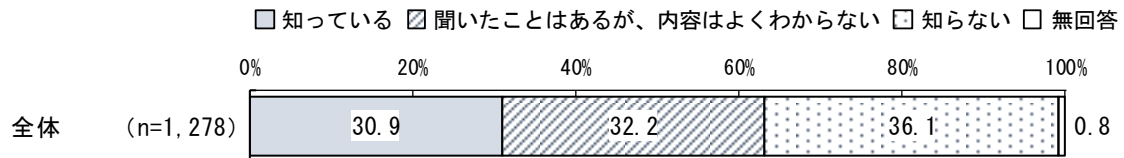
居住地区別でみると、旧市内・錦田では「週に3～5回」が最も多く、北上・中郷では「週に1～2回」が最も多くなっています。



問17 三島市が健幸都市（スマートウエルネスみしま）の取り組みを行っていることを知っていますか。（○は一つ）

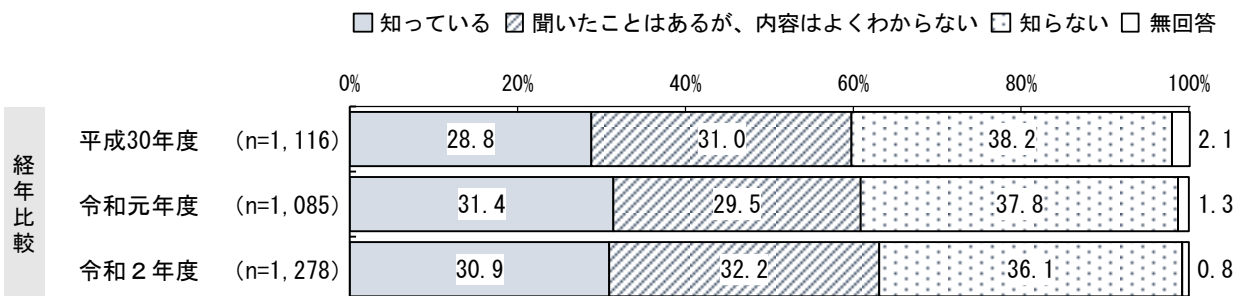
－健幸都市の取り組みの認知状況を「知っている」が30.9％－

「知らない」(36.1%) が最も多く、続いて「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」(32.2%)、「知っている」(30.9%)、となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

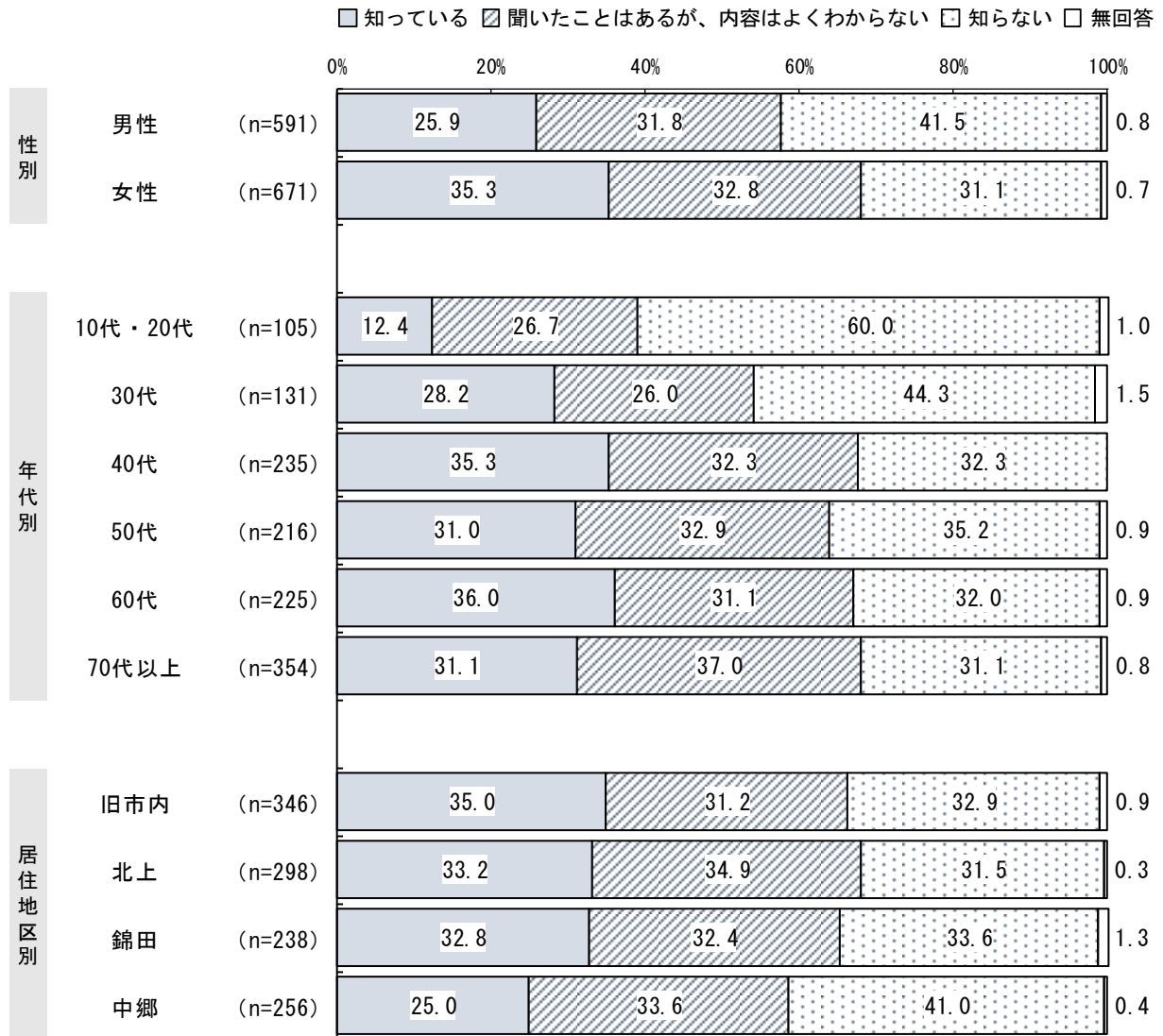


## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「知らない」(41.5%)が最も多く、女性では「知っている」(35.3%)が最も多くなっています。

年代別でみると、10代・20代では「知らない」(60.0%)が最も多く、6割となっています。

居住地区別でみると、中郷では「知らない」が4割を超えています。



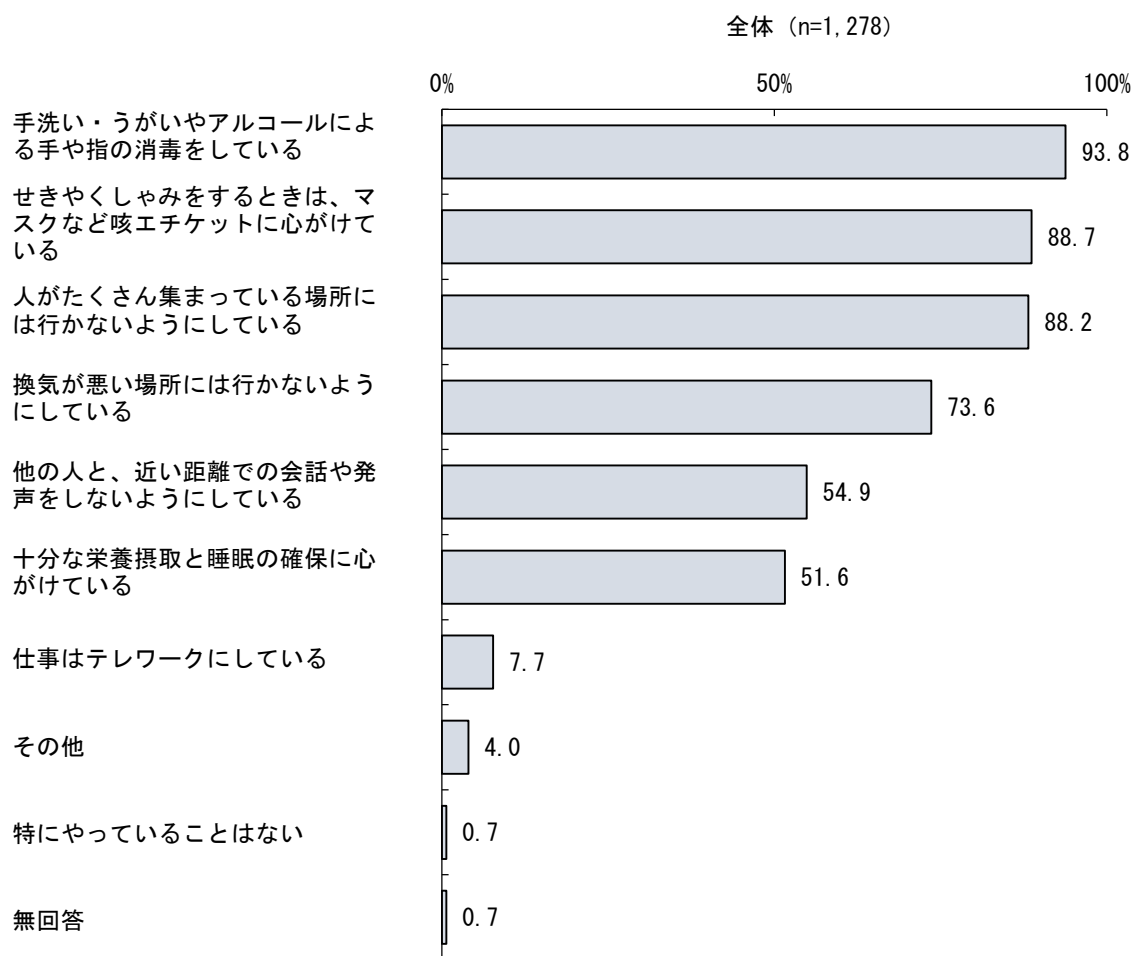
## (7) 新型コロナウイルス感染症対策について

問18 新型コロナウイルス感染症予防のためにしていることは何ですか。(〇はいくつでも)

### —予防のためにしていることは

#### 「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をしている」が93.8%—

「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をしている」(93.8%)が最も多く、続いて「せきやくしゃみをするときは、マスクなど咳エチケットに心がけている」(88.7%)、「人がたくさん集まっている場所には行かないようにしている」(88.2%)となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をしている」（男性92.6%、女性95.4%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をしている」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をしている」が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	手洗い・うがいやアルコールによる消毒をしている	せきやくしゃみや咳エチケットを心がけている	人がたくさん集まっている場所には換気が悪い場所には行かないようにしている	他の人と、近い距離での会話や発声をしないようにしている	仕事はテレワークにしている	十分な栄養摂取と睡眠の確保に心がけている	その他	特にやっていることはない	無回答
全体		1,278	93.8	88.7	88.2	73.6	54.9	7.7	51.6	4.0	0.7
性別	男性	591	92.6	84.9	87.1	69.9	53.3	10.8	47.2	2.5	1.0
	女性	671	95.4	92.5	89.0	77.2	56.3	5.1	55.9	4.9	0.4
年代別	10代・20代	105	94.3	91.4	93.3	72.4	41.9	12.4	41.0	1.9	-
	30代	131	96.2	92.4	90.1	77.1	45.8	12.2	44.3	4.6	0.8
	40代	235	95.3	92.3	87.7	72.8	49.8	13.6	43.8	2.6	0.4
	50代	216	98.1	94.9	88.4	79.2	61.6	8.3	49.5	5.6	0.5
	60代	225	94.7	90.2	87.6	77.3	62.7	5.8	58.7	3.6	0.9
	70代以上	354	89.5	80.2	86.4	67.8	56.8	1.7	59.6	4.5	1.4
居住地区別	旧市内	346	93.9	91.0	87.9	76.6	57.2	9.5	54.6	4.3	0.6
	北上	298	95.3	88.9	87.6	74.2	57.7	6.0	56.7	4.0	0.7
	錦田	238	93.3	88.7	91.6	73.9	56.3	6.7	43.7	5.0	0.4
	中郷	256	93.4	85.9	88.3	72.3	48.8	6.3	52.0	3.5	1.2

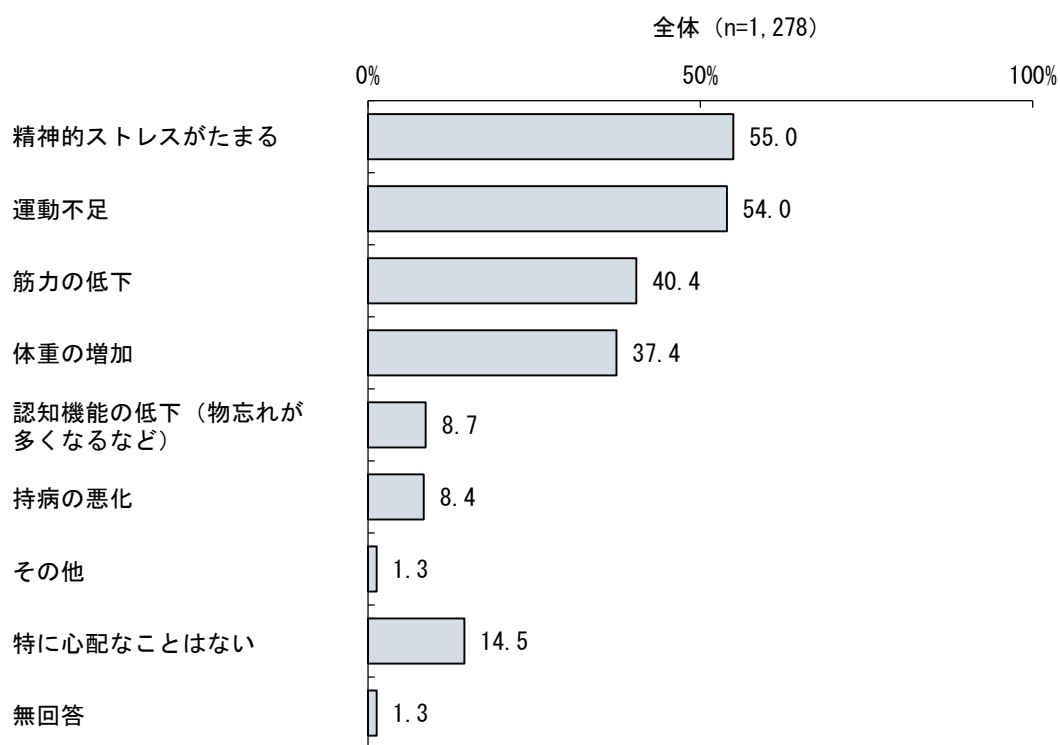
1位 :  2位 :  3位 :

問19 新型コロナウイルス感染症予防のために不要不急の外出を控えることで健康面で心配なことは何ですか。(〇はいくつでも)

—不要不急の外出を控えることで健康面で心配なことは

「精神的ストレスがたまる」が55.0%—

「精神的ストレスがたまる」(55.0%)が最も多く、続いて「運動不足」(54.0%)、「筋力の低下」(40.4%)となっています。





## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「運動不足」(53.0%)が最も多く、女性では「精神的ストレスがたまる」(58.3%)が最も多くなっています。

年代別でみると、60代以下では「精神的ストレスがたまる」が最も多く、70代以上では「運動不足」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、旧市内・錦田では「運動不足」が最も多く、北上・中郷では「精神的ストレスがたまる」が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	運動不足	精神的ストレスがたまる	持病の悪化	認知機能の低下(物忘れが多くなるなど)	筋力の低下	体重の増加	その他	特に心配なことはない	無回答
全体		1,278	54.0	55.0	8.4	8.7	40.4	37.4	1.3	14.5	1.3
性別	男性	591	53.0	51.1	9.5	8.3	38.2	36.0	1.2	16.6	1.4
	女性	671	54.8	58.3	7.2	8.8	42.2	39.2	1.5	12.7	1.0
年代別	10代・20代	105	60.0	70.5	-	-	41.0	43.8	1.9	7.6	1.0
	30代	131	65.6	74.0	5.3	6.9	45.0	51.9	2.3	6.9	0.8
	40代	235	61.3	63.8	4.3	6.0	35.7	49.8	2.1	7.7	0.4
	50代	216	56.9	56.9	7.9	6.5	44.4	50.9	1.4	12.5	0.9
	60代	225	49.3	52.4	8.9	6.7	35.1	30.7	0.9	17.3	0.9
	70代以上	354	44.4	37.9	14.1	16.1	42.4	18.6	0.6	23.2	2.3
居住地区別	旧市内	346	60.7	56.9	9.0	10.1	43.9	41.0	1.2	10.1	1.7
	北上	298	49.7	55.4	10.7	8.4	42.3	33.6	2.0	17.1	0.7
	錦田	238	54.2	53.8	7.6	10.1	40.3	39.1	1.3	17.2	0.4
	中郷	256	49.6	52.7	6.6	7.0	34.8	35.5	1.6	16.4	1.2

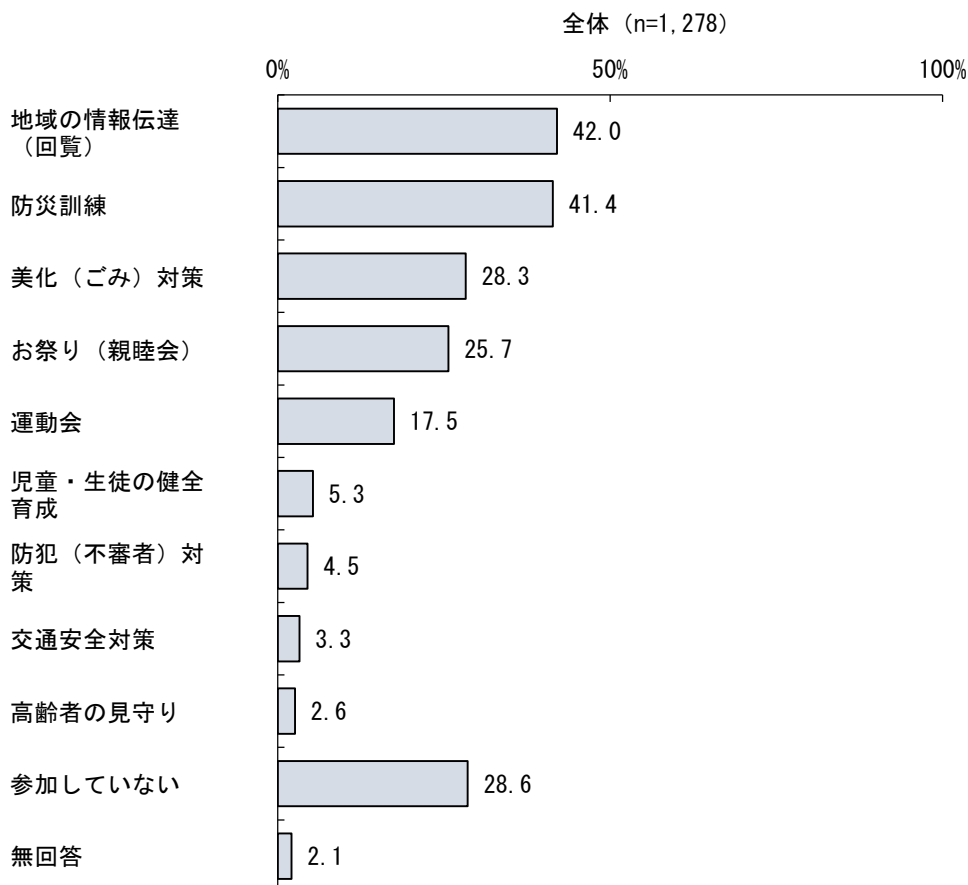
1位:  2位:  3位:

## (8) 自治会・町内会での活動について

問20 あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか。(〇はいくつでも)

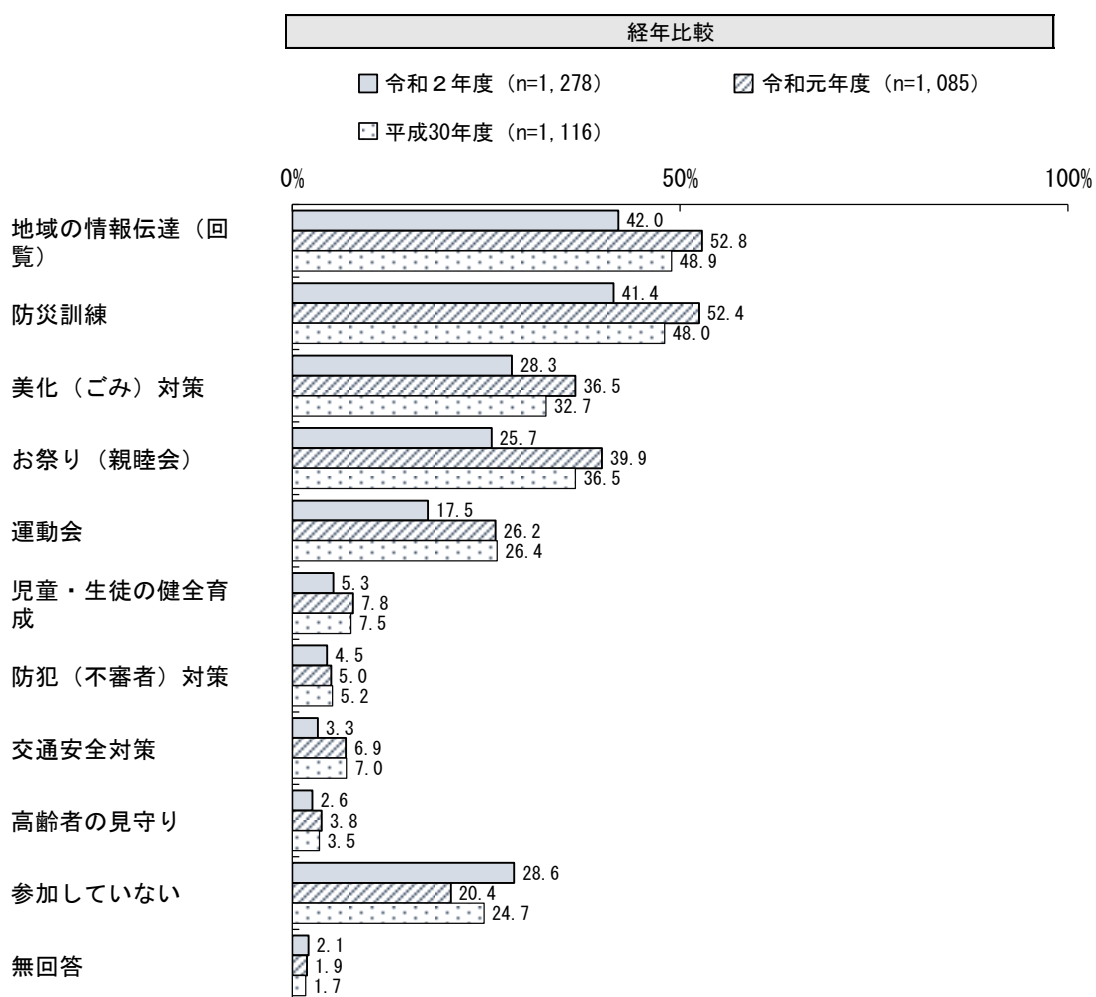
### —自治会・町内会の活動に“参加している”人は69.3%—

「地域の情報伝達（回覧）」(42.0%)が最も多く、続いて「防災訓練」(41.4%)、「美化（ごみ）対策」(28.3%)となっています。また、「参加していない」の割合が28.6%、「参加していない」と「無回答」を除いた“参加している”の割合が69.3%となっています。



## 【経年比較】

時系列で見ると、令和元年度と比べて、「参加していない」(28.6%)と「無回答」(2.1%)を除いた「参加している」(69.3%)が減少しており、すべての活動で参加の割合が減少しています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「防災訓練」(43.3%)が最も多く、女性では「地域の情報伝達(回覧)」(45.8%)が最も多くなっています。

年代別でみると、10代・20代では「参加していない」(61.0%)が最も多くなっています。

居住地区別でみると、錦田では「防災訓練」(54.6%)が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	防災訓練	高齢者の見守り	防犯(不審者)対策	児童・生徒の健全育成	お祭り(親睦会)	運動会	美化(ごみ)対策	交通安全対策	地域の情報伝達(回覧)	参加していない	無回答
全体		1,278	41.4	2.6	4.5	5.3	25.7	17.5	28.3	3.3	42.0	28.6	2.1
性別	男性	591	43.3	3.7	6.3	5.8	28.6	19.3	28.8	3.6	38.4	29.9	1.9
	女性	671	39.6	1.5	2.8	5.1	23.1	16.2	27.9	2.8	45.8	27.9	2.2
年代別	10代・20代	105	18.1	1.0	2.9	2.9	13.3	8.6	11.4	2.9	19.0	61.0	1.0
	30代	131	24.4	1.5	1.5	5.3	26.0	17.6	19.8	0.8	39.7	38.9	1.5
	40代	235	42.6	0.4	1.7	11.5	31.5	28.9	24.7	1.3	41.3	26.8	0.9
	50代	216	43.5	2.3	6.0	2.8	22.7	14.8	33.3	2.8	46.8	25.9	1.4
	60代	225	50.2	3.1	5.3	4.9	29.8	16.9	37.3	4.0	53.8	20.4	1.3
	70代以上	354	47.2	4.8	6.5	4.0	24.9	15.3	29.9	5.4	40.4	23.7	4.2
居住地区別	旧市内	346	38.7	3.5	5.5	4.6	23.4	15.6	24.9	2.3	38.7	32.9	1.7
	北上	298	34.9	2.0	3.7	4.7	25.5	14.1	32.6	3.4	44.6	27.2	2.0
	錦田	238	54.6	1.7	5.5	6.3	23.5	12.6	30.7	3.8	45.0	23.9	0.8
	中郷	256	44.5	3.5	4.3	5.9	33.6	30.1	30.1	4.3	46.9	23.4	2.7

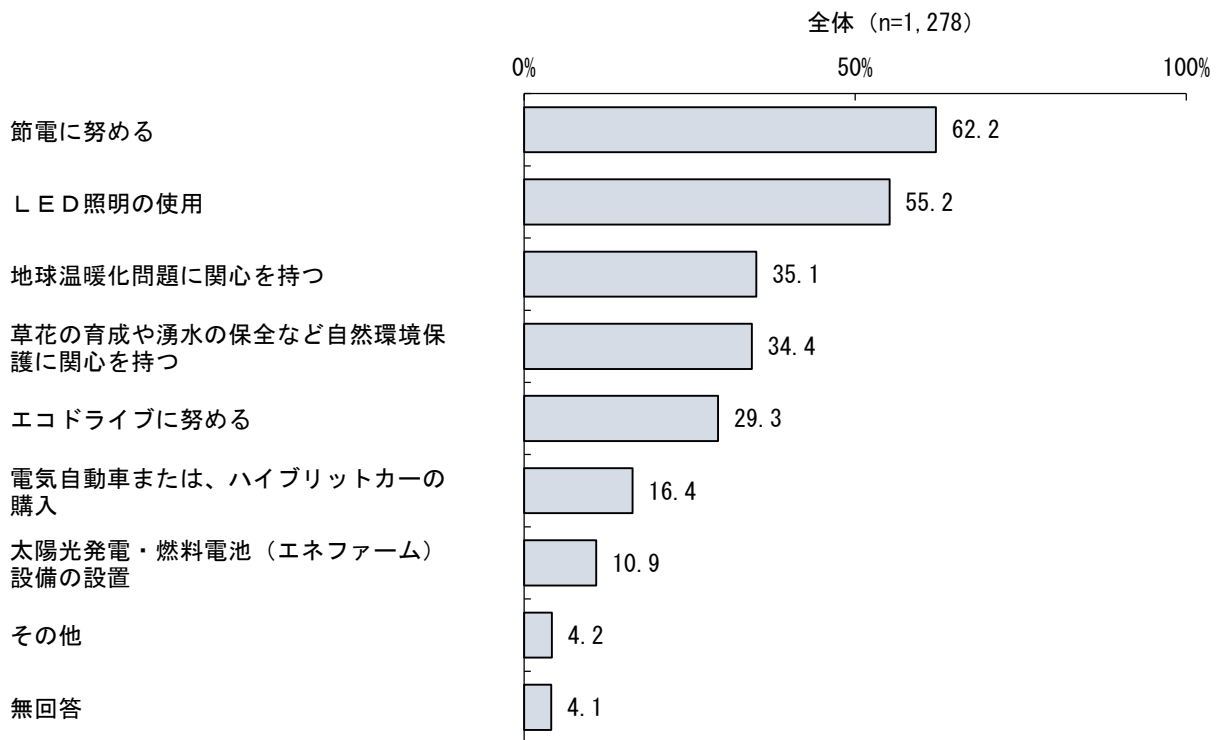
1位:  2位:  3位: 

## (9) 環境への取り組みについて

問21 あなたは環境に配慮するためどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

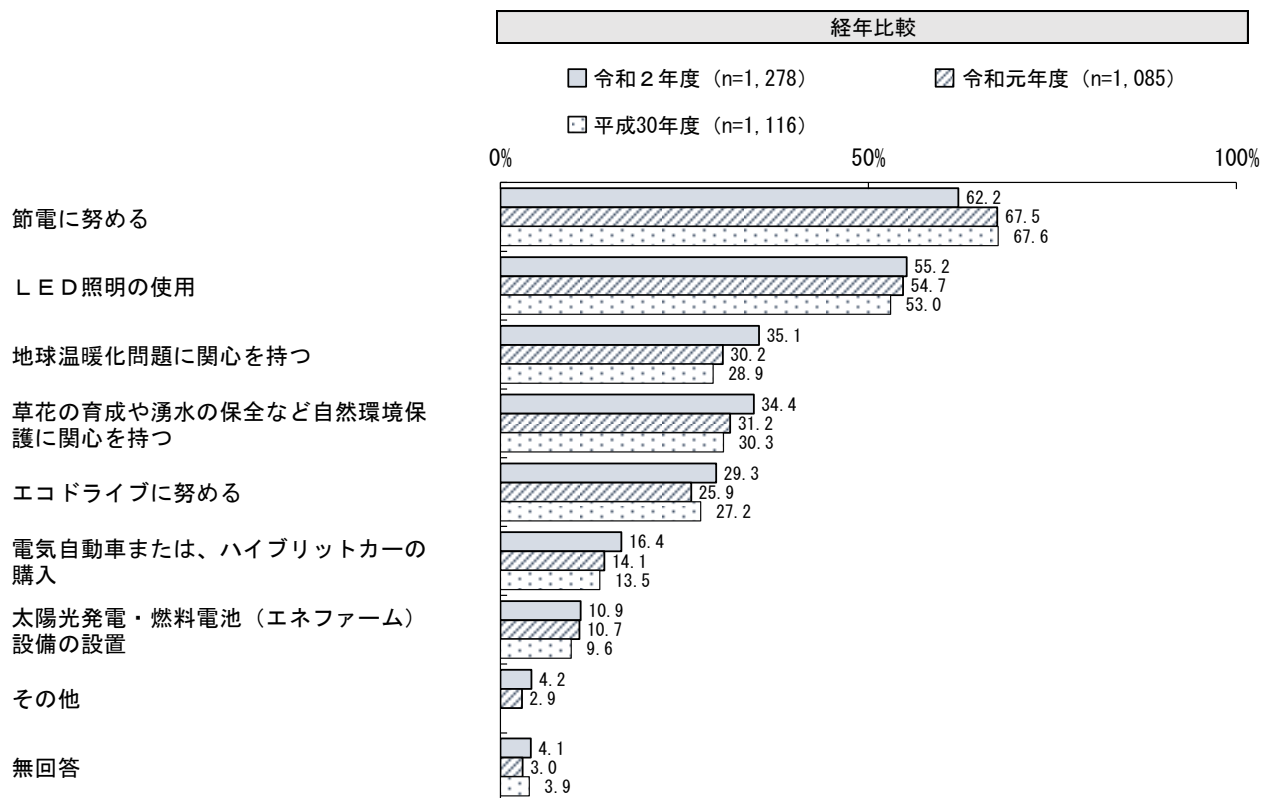
### －実行している環境への取り組みは「節電に努める」が62.2%－

「節電に努める」(62.2%)が最も多く、続いて「LED照明の使用」(55.2%)、「地球温暖化問題に関心を持つ」(35.1%)となっています。



## 【経年比較】

時系列で見ると、「節電に努める」を除くすべての取り組みの割合が増加しています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「節電に努める」（男性58.7%、女性65.1%）が最も多くなっています。

年代別でみると、30代では「LED照明の使用」が最も多く、その他の年代では「節電に努める」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「節電に努める」が最も多くなっています。

単位(%)

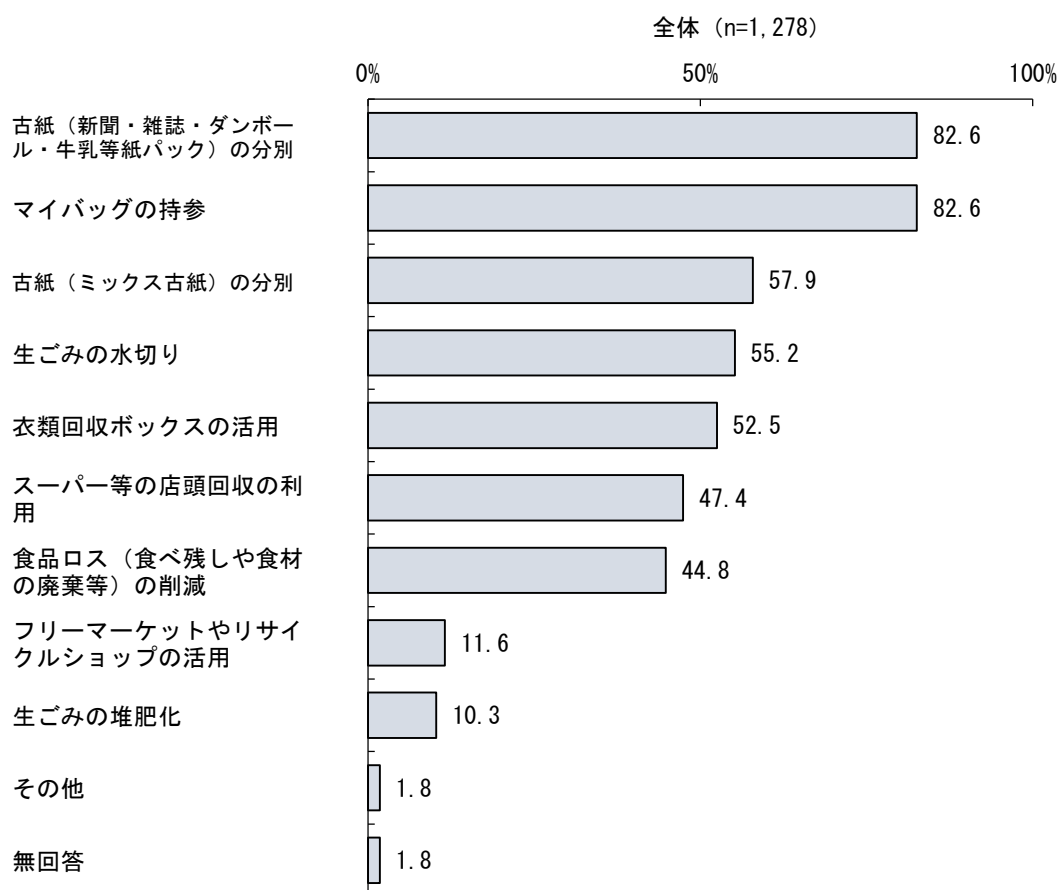
		調査数	LED照明の使用	電気自動車または、ハイブリットカーの購入	節電に努める	太陽光発電・燃料電池（エネファーム）設備の設置	エコドライブに努める	地球温暖化問題に関心を持つ	草花の育成や湧水の保全など自然環境保護に関心を持つ	その他	無回答
全体		1,278	55.2	16.4	62.2	10.9	29.3	35.1	34.4	4.2	4.1
性別	男性	591	54.1	19.3	58.7	9.5	36.0	36.5	32.7	4.2	4.6
	女性	671	56.2	13.9	65.1	12.2	23.7	34.0	36.1	4.0	3.6
年代別	10代・20代	105	46.7	10.5	49.5	5.7	23.8	29.5	21.0	2.9	6.7
	30代	131	55.7	13.0	47.3	14.5	32.1	23.7	18.3	3.1	5.3
	40代	235	53.2	19.1	56.2	17.4	32.3	26.8	22.1	5.1	3.4
	50代	216	62.0	18.5	64.4	11.6	34.7	34.7	33.3	6.5	1.9
	60代	225	62.7	22.2	68.4	12.4	35.1	43.1	41.8	4.9	1.8
	70代以上	354	50.3	12.7	70.1	5.4	21.5	41.8	48.6	2.5	5.9
居住地区別	旧市内	346	54.3	15.6	63.9	8.1	28.0	39.0	40.2	4.3	3.5
	北上	298	58.1	21.5	60.1	10.7	32.6	37.6	33.2	3.4	5.7
	錦田	238	54.6	13.0	64.7	10.1	32.4	37.8	35.3	5.0	2.5
	中郷	256	55.1	16.0	64.8	15.2	27.3	30.9	32.0	5.5	2.3

1位： 2位： 3位：

問22 ゴミの減量やリサイクルについて、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

ー実行しているゴミの減量・リサイクルへの取り組みは「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」「マイバッグの持参」が82.6%ー

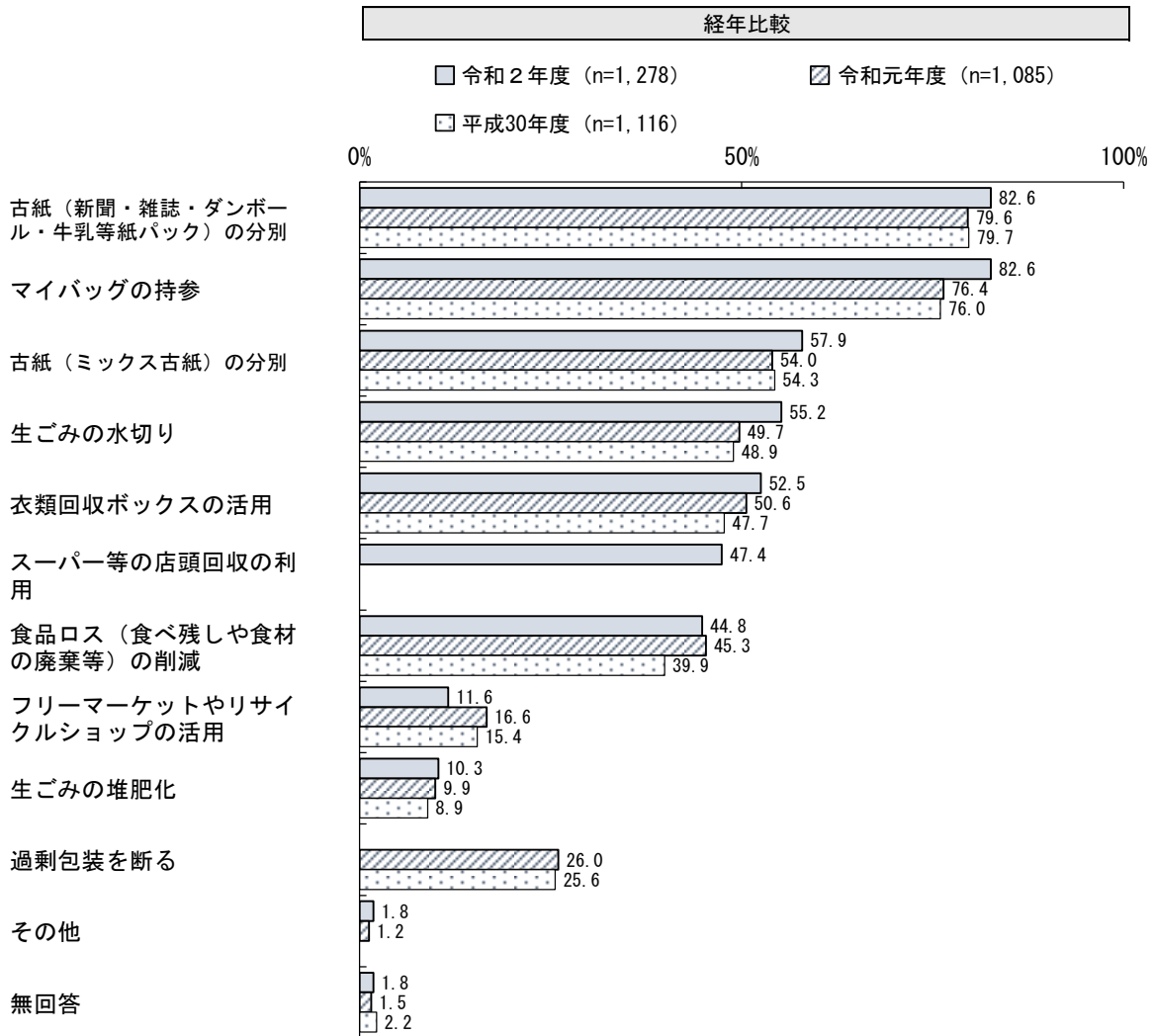
「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」「マイバッグの持参」（82.6%）が最も多く、続いて「古紙（ミックス古紙）の分別」（57.9%）、「生ごみの水切り」（55.2%）となっています。





## 【経年比較】

時系列でみると、他の取り組みに比べ、「マイバッグの持参」の割合が増加しています。



※「スーパー等の店頭回収の利用」は令和2年度に新設

※「過剰包装を断る」は令和元年度までの選択肢

## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」（78.7%）が最も多く、女性では「マイバッグの持参」（91.2%）が最も多くなっています。

年代別でみると、40代・50代・70代以上では「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」が最も多く、8割を超えています。

居住地区別でみると、錦田では「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」が最も多く、旧市内・北上・中郷では「マイバッグの持参」が最も多くなっています。

単位 (%)

		調査数	生ごみの堆肥化	生ごみの水切り	古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別	古紙（ミックス古紙）の分別	スーパー等の店頭回収の利用	フリーマーケットやリサイクルショップの活用	食品ロス（食べ残しや食材の廃棄等）の削減	マイバッグの持参	衣類回収ボックスの活用	その他	無回答
全体		1,278	10.3	55.2	82.6	57.9	47.4	11.6	44.8	82.6	52.5	1.8	1.8
性別	男性	591	10.7	44.7	78.7	53.8	43.7	9.0	42.6	73.3	42.8	2.4	2.4
	女性	671	9.8	64.2	85.7	61.7	51.1	13.3	46.6	91.2	61.3	1.3	1.2
年代別	10代・20代	105	5.7	31.4	66.7	40.0	34.3	14.3	32.4	79.0	29.5	-	2.9
	30代	131	6.1	38.9	64.1	38.9	53.4	19.1	38.9	80.2	47.3	0.8	3.1
	40代	235	3.0	50.2	84.3	60.0	54.9	15.3	38.7	78.3	56.6	1.3	1.7
	50代	216	4.2	61.6	87.0	62.5	56.5	10.2	48.1	87.0	57.4	2.8	0.9
	60代	225	16.9	59.1	86.7	64.0	55.1	9.8	50.7	89.8	56.9	1.8	1.3
	70代以上	354	17.5	65.0	87.3	62.4	34.5	6.8	48.6	80.5	53.1	2.5	1.7
居住地区別	旧市内	346	7.2	51.7	82.4	60.7	45.7	11.0	48.6	82.7	51.4	1.2	1.7
	北上	298	11.4	55.0	83.2	57.4	51.3	11.1	48.3	84.6	53.0	1.7	1.3
	錦田	238	12.6	58.8	87.4	61.8	50.0	10.5	44.1	81.9	52.1	2.5	1.7
	中郷	256	10.9	60.2	80.5	56.6	43.8	15.2	39.8	80.9	53.5	2.3	1.6

1位： 2位： 3位：

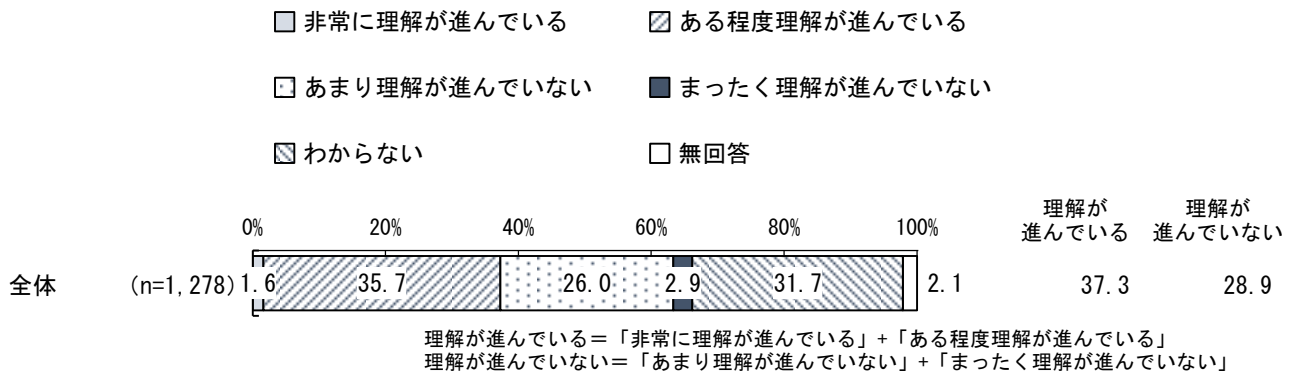
## (10) 障がいのある人への理解について

問23 市民の間に障がいのある人に対する理解が進んでいると感じますか。(○は一つ)

### —障がいのある人に対する“理解が進んでいる”と感じる人は37.3%—

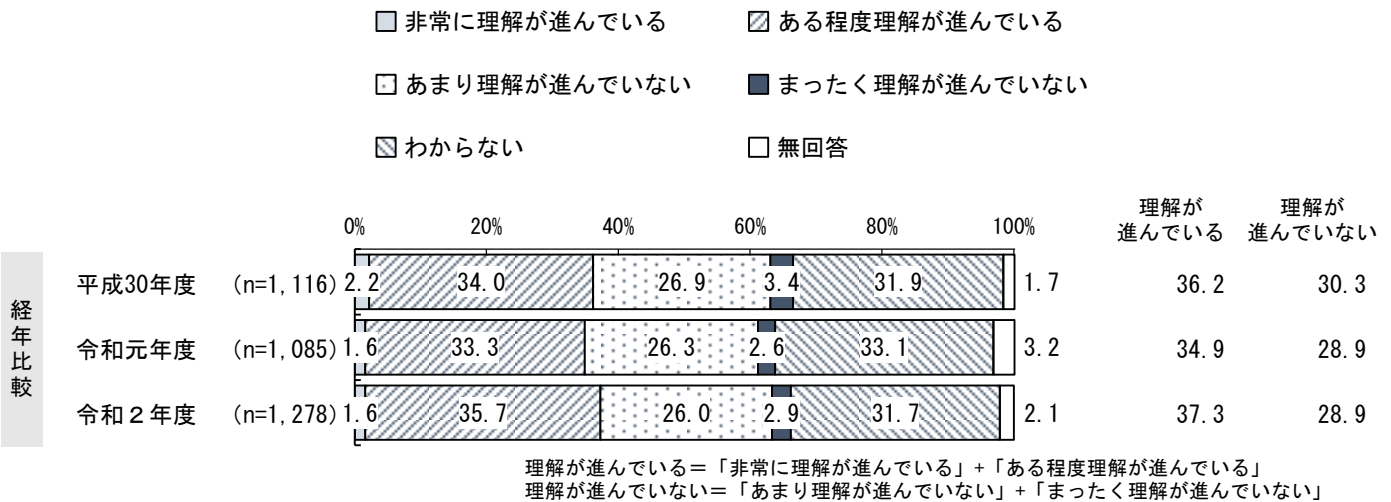
「非常に理解が進んでいる」(1.6%)と「ある程度理解が進んでいる」(35.7%)を合わせた“理解が進んでいる”は37.3%となっています。

「あまり理解が進んでいない」(26.0%)と「まったく理解が進んでいない」(2.9%)を合わせた“理解が進んでいない”は28.9%となっています。



### 【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。

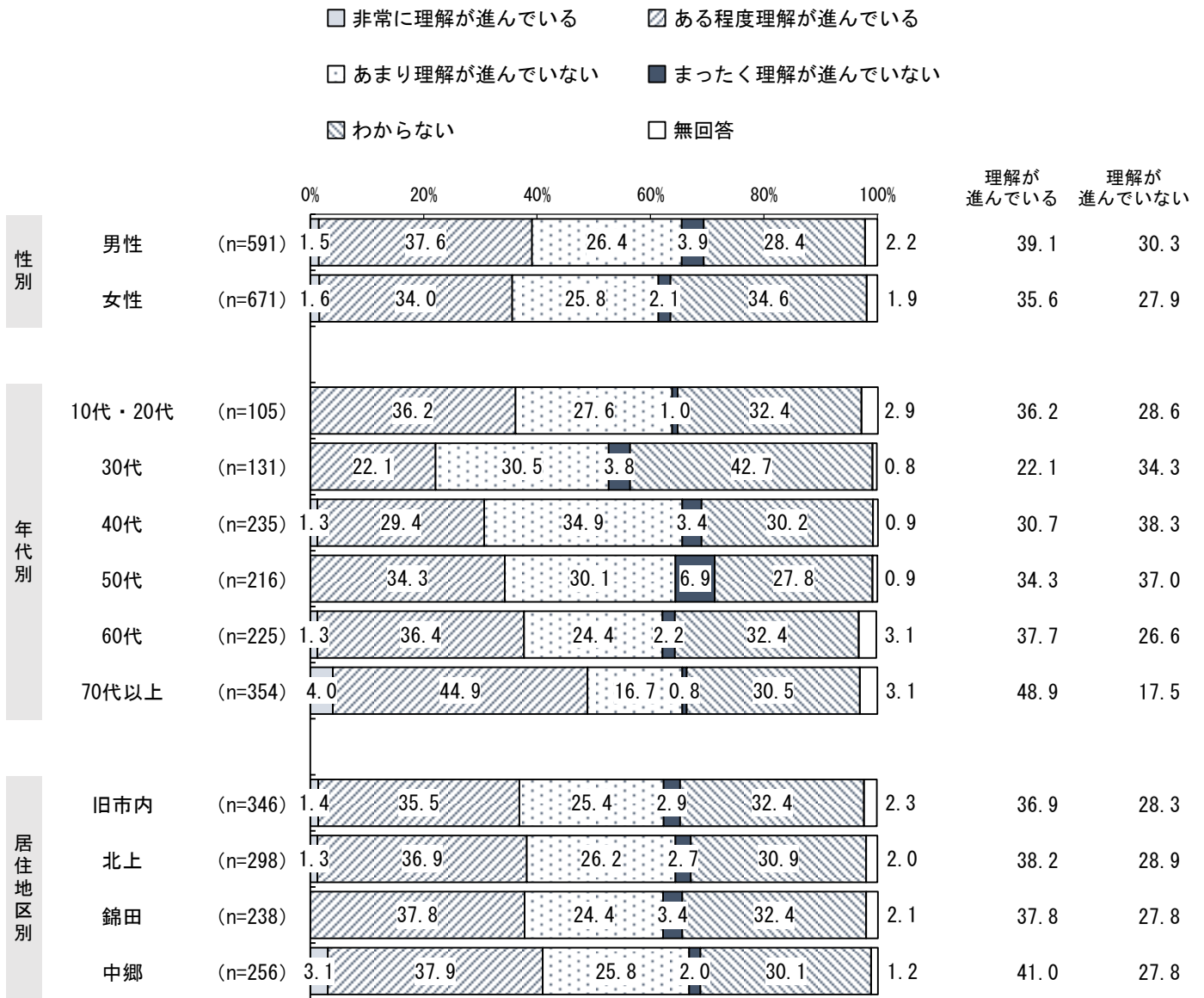


## 【属性別比較】

性別でみると、“理解が進んでいる”（男性39.1%、女性35.6%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、“理解が進んでいる”は70代以上（48.9%）で割合が多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「ある程度理解が進んでいる」が最も多くなっています。



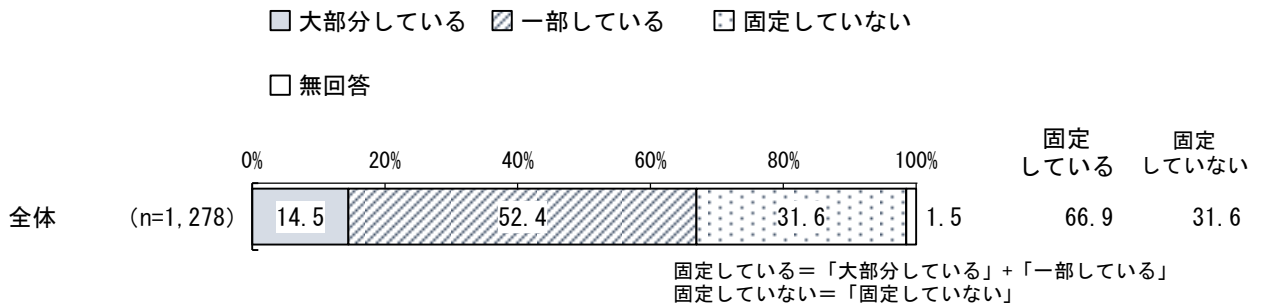
理解が進んでいる = 「非常に理解が進んでいる」 + 「ある程度理解が進んでいる」  
 理解が進んでいない = 「あまり理解が進んでいない」 + 「まったく理解が進んでいない」

## (11) 災害対策について

問24 あなたは地震に備えて家具類の固定をしていますか。(○は一つ)

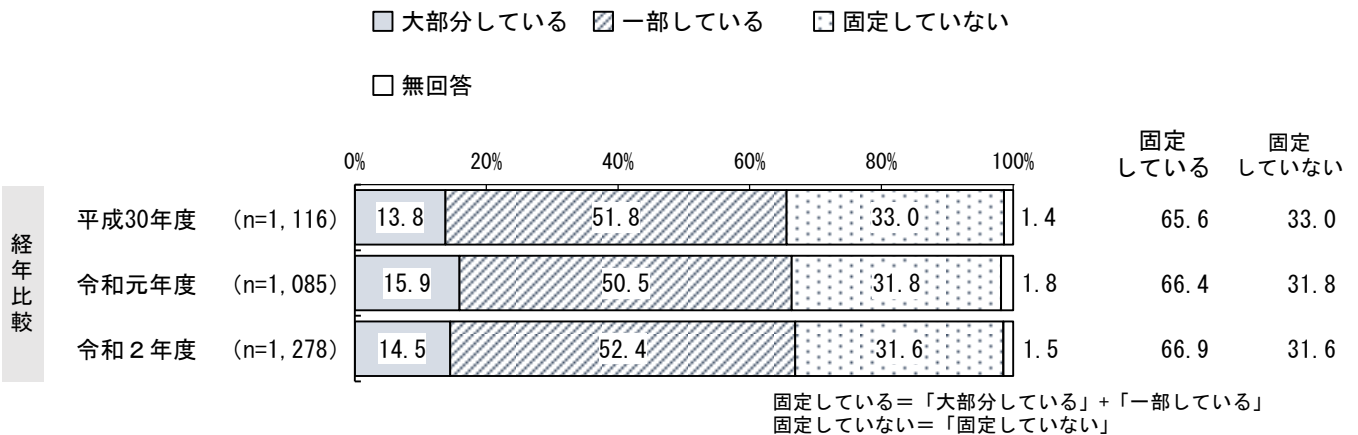
### —地震に備えて家具類を“固定している”人は66.9%—

「一部している」(52.4%)が最も多く、続いて「固定していない」(31.6%)、「大部分している」(14.5%)となっています。また、「大部分している」(14.5%)と「一部している」(52.4%)を合わせた“固定している”は66.9%となっています。



### 【経年比較】

時系列で見ると、大きな変化はみられません。

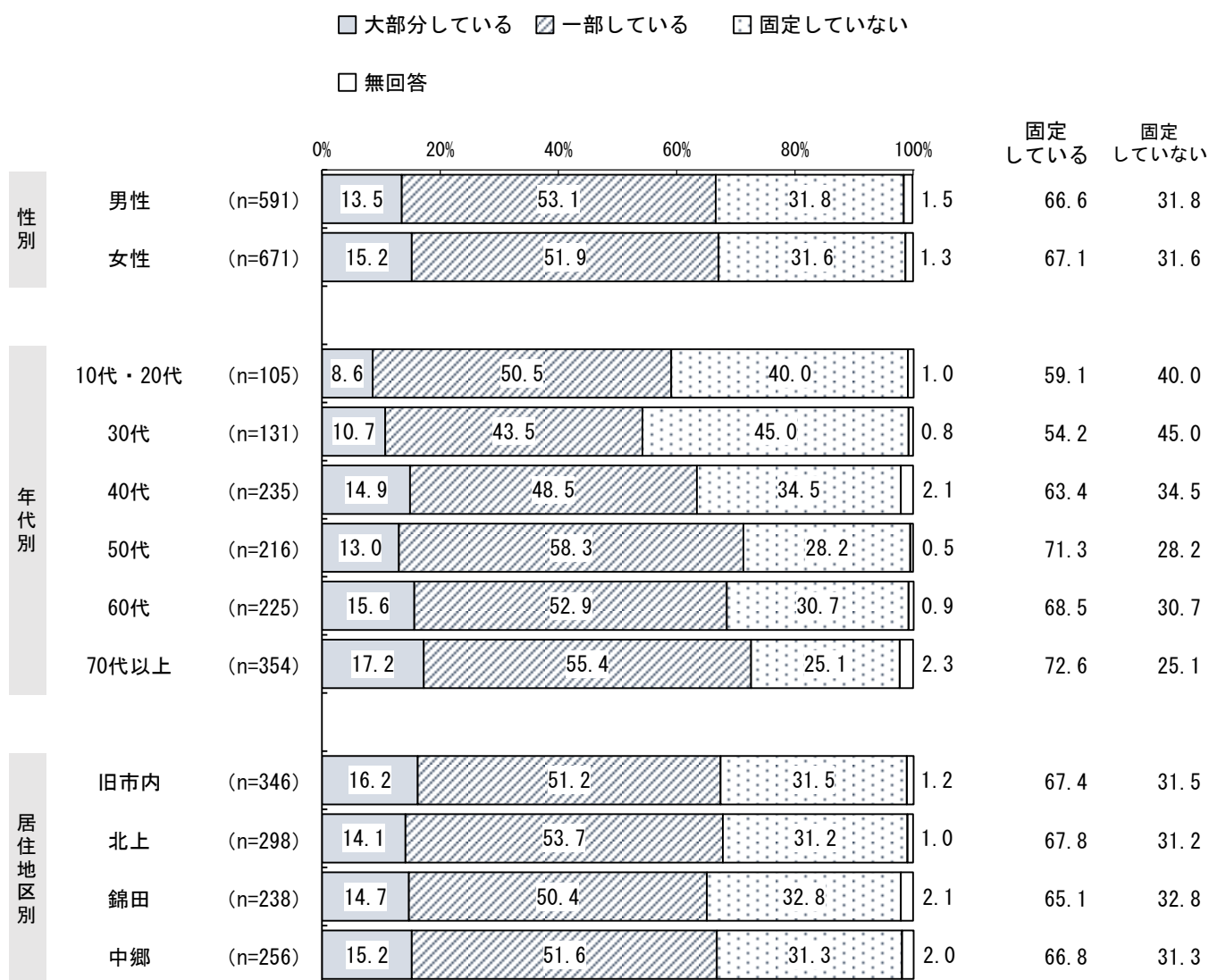


## 【属性別比較】

性別でみると、「固定している」（男性66.6%、女性67.1%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、30代では「固定していない」（45.0%）が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「固定している」が6割を超えています。

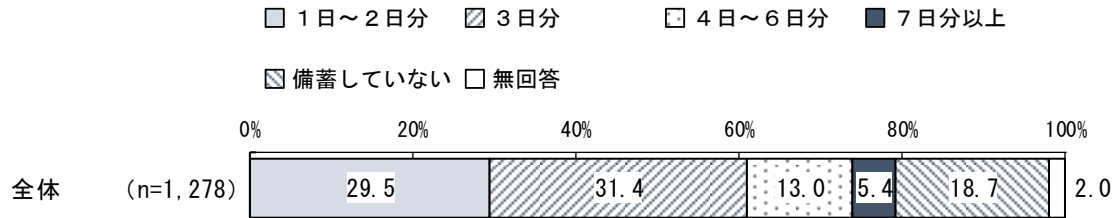


固定している = 「大部分している」 + 「一部している」  
 固定していない = 「固定していない」

問25 あなたは災害時に何日分の食料（レトルト食品、ラーメン、缶詰などを含む）や飲料水の備蓄（ひとり1日あたり3リットルで計算）をしていますか。（〇は一つ）

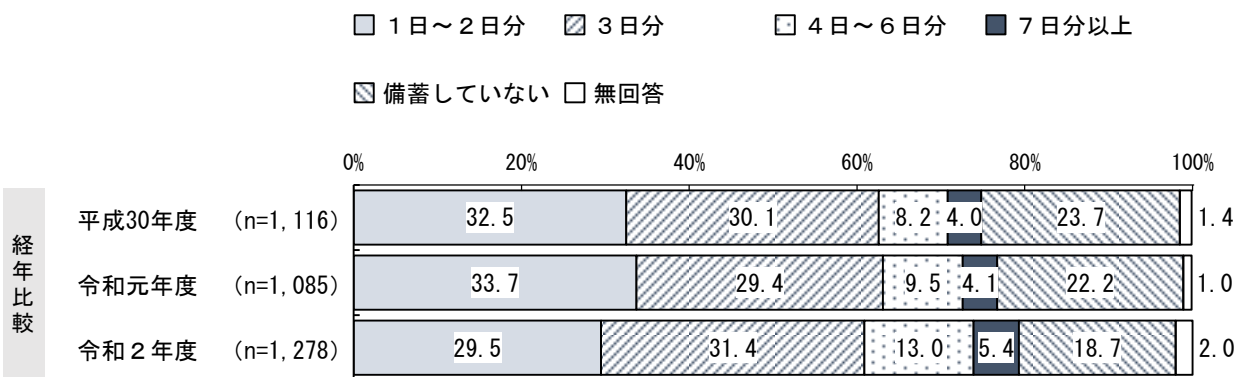
—災害時のために備蓄されている食料・飲料水の量は「3日分」が31.4%—

「3日分」（31.4%）が最も多く、続いて「1日～2日分」（29.5%）、「備蓄していない」（18.7%）となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「備蓄していない」は徐々に減少しています。

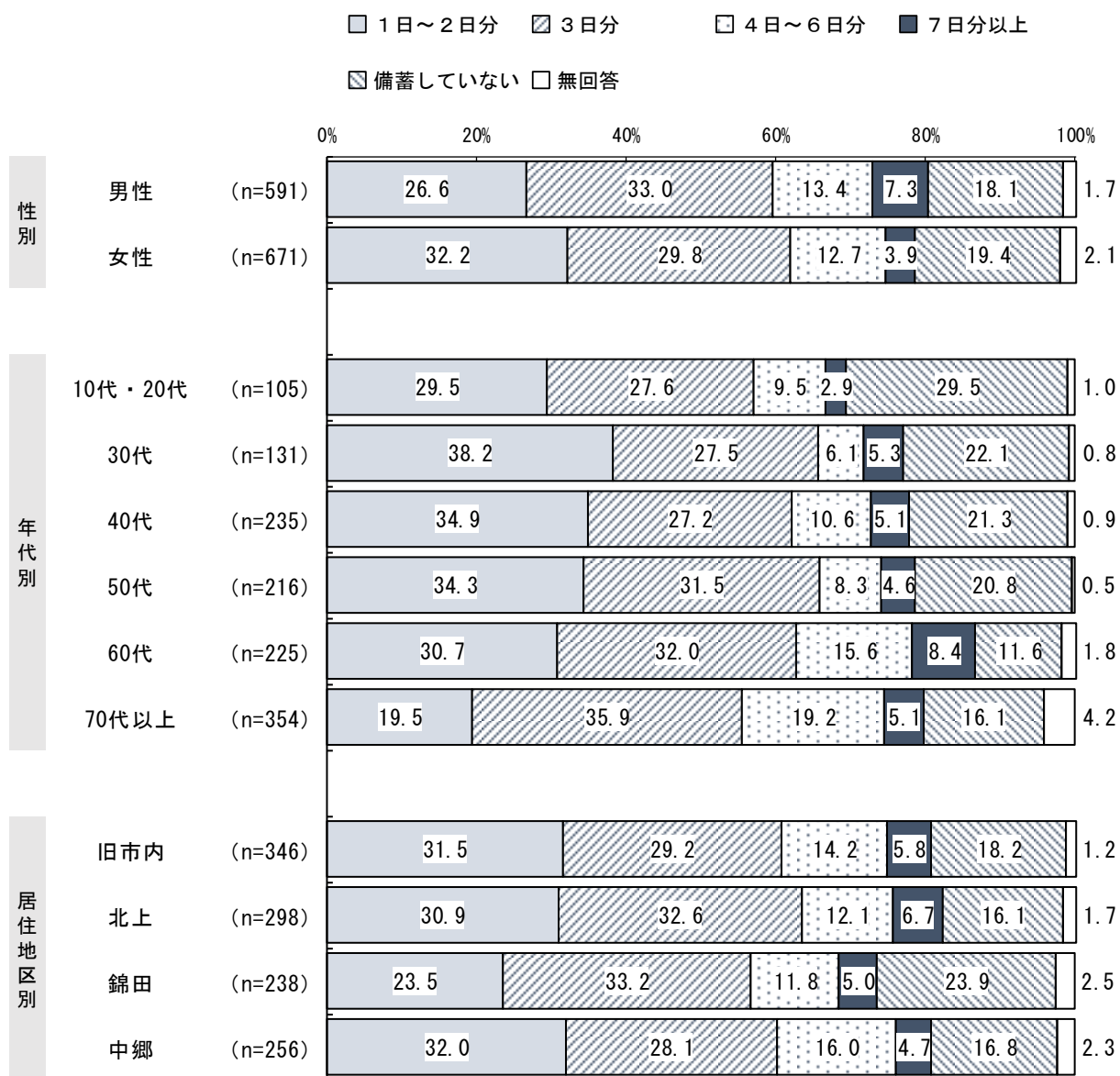


## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「3日分」(33.0%)が最も多く、女性では「1日～2日分」(32.2%)が最も多くなっています。

年代別でみると、10代・20代では「備蓄していない」(29.5%)が多くなっています。

居住地区別でみると、錦田では「備蓄していない」(23.9%)が多くなっています。



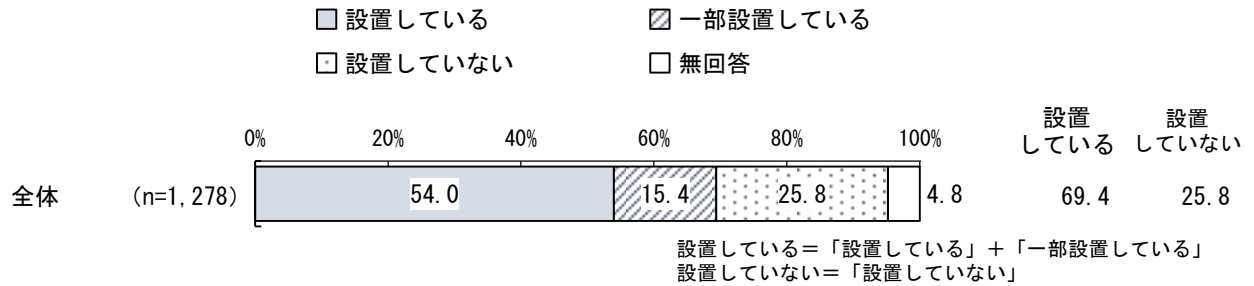


問26 住宅用火災警報器を、条例により設置が義務付けられている部分（寝室、階段（寝室が2階以上の階にある場合））に設置していますか。（〇は一つ）

—住宅用火災警報器を“設置している”が69.4%—

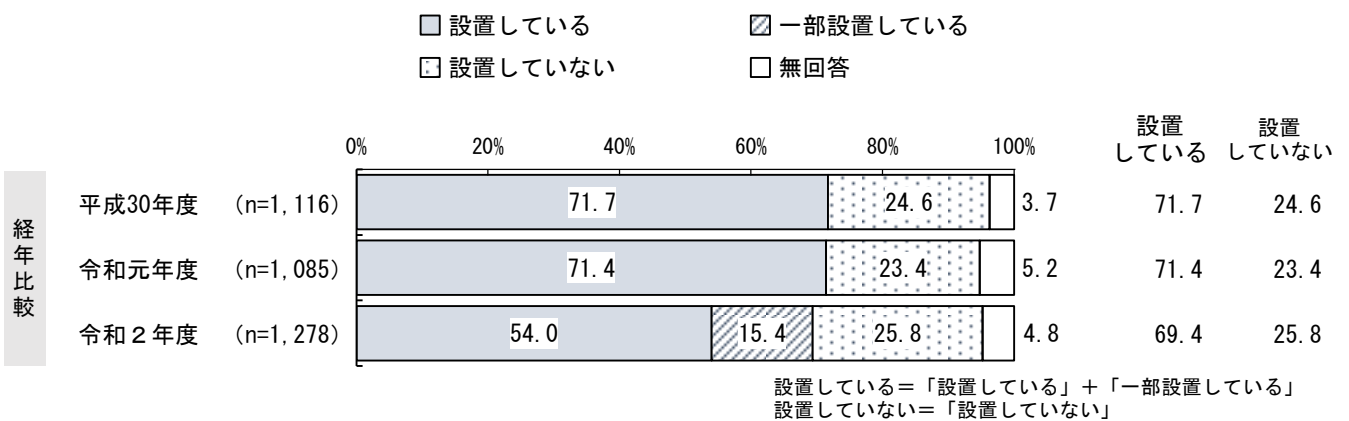
「設置している」（54.0%）と「一部設置している」（15.4%）を合わせた“設置している”は69.4%となっています。

“設置していない”は25.8%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな変化はみられません。



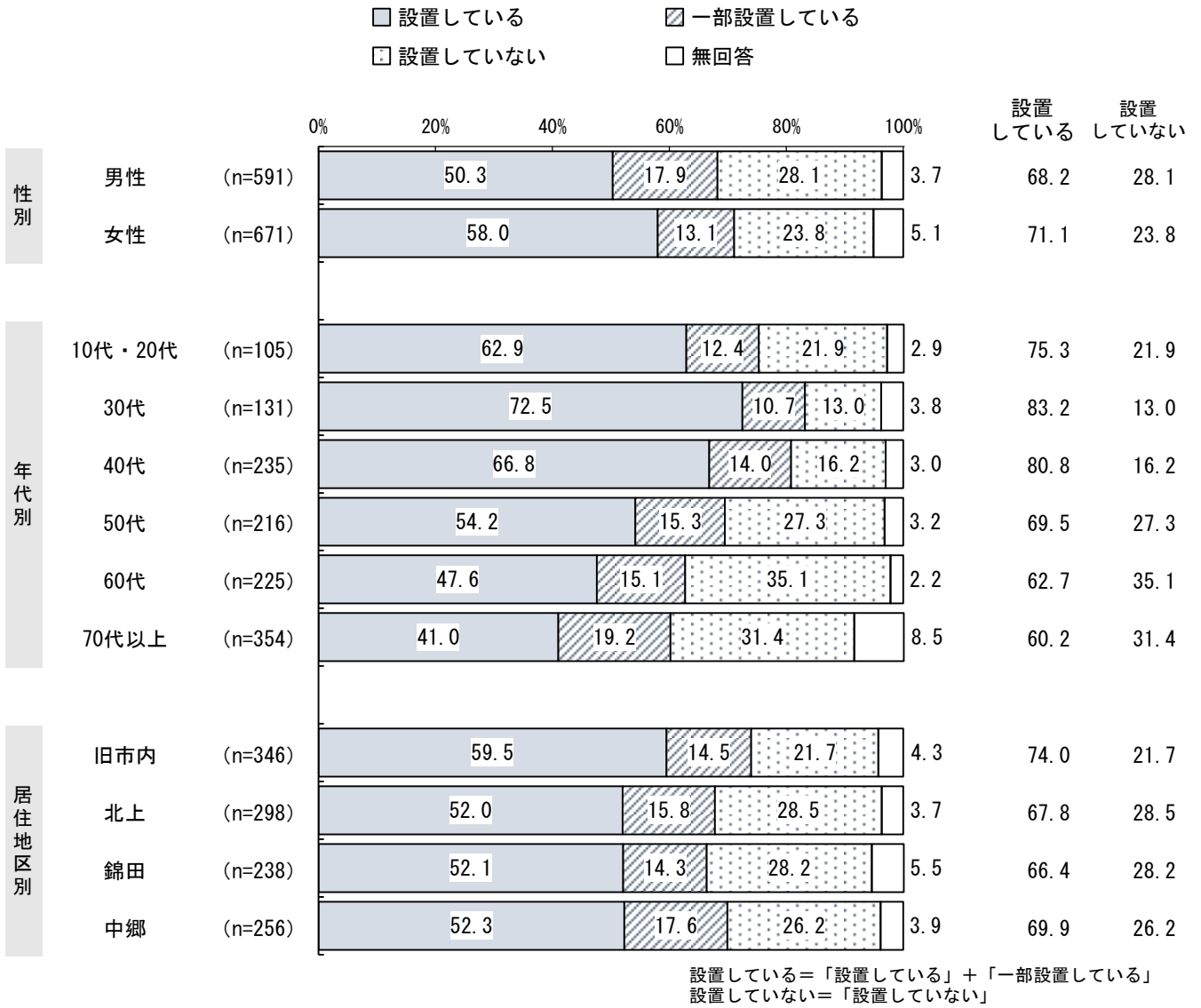
※ 「一部設置している」は令和2年度に新設

## 【属性別比較】

性別でみると、“設置している”（男性68.2%、女性71.1%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、30代で「設置している」（72.5%）が、最も多くなっています。

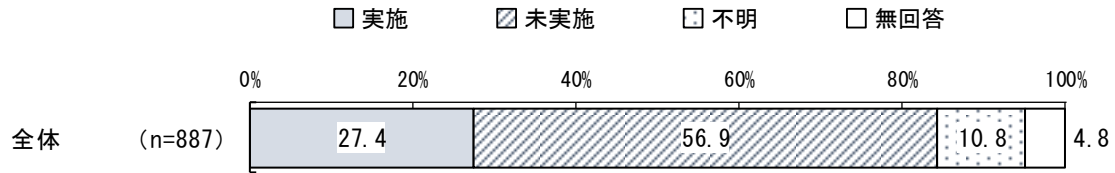
居住地区別でみると、すべての居住地区で“設置している”が6割を超えています。



問27 最近半年以内に住宅用火災警報器の作動を確認しましたか。(〇は一つ)

—住宅用火災警報器の作動確認の「実施」は27.4%—

「実施」の割合が27.4%、「未実施」の割合が56.9%となっています。

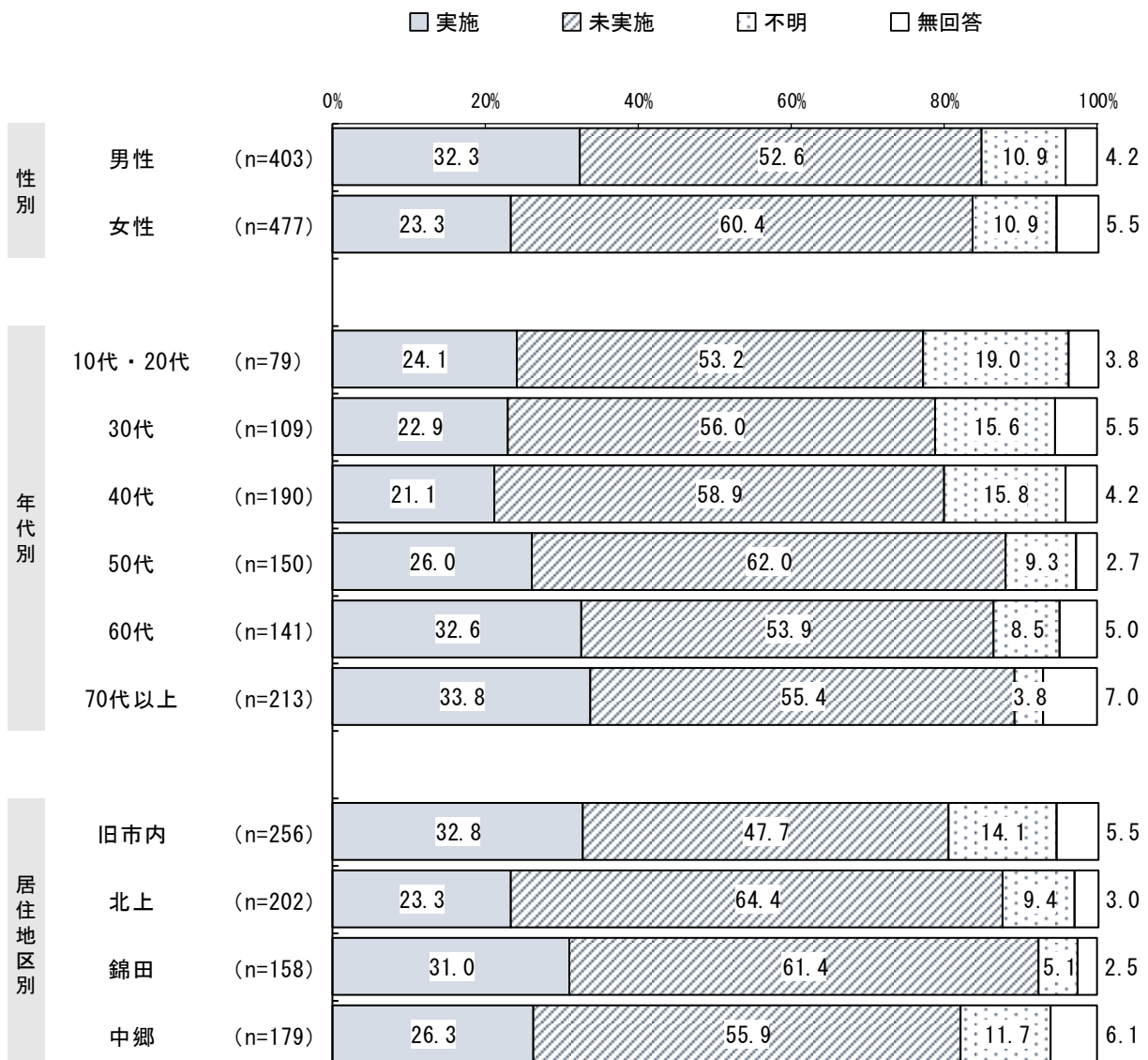


【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「未実施」(男性52.6%、女性60.4%)が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「未実施」が最も多くなっています。

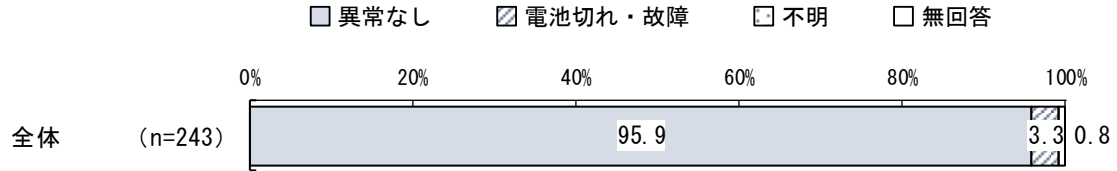
居住地区別でみると、すべての居住地区で「未実施」が最も多くなっています。



問28 作動確認した結果はどうか。(○は一つ)

—作動確認の結果は「異常なし」が95.9%—

「異常なし」の割合が95.9%、「電池切れ・故障」の割合が3.3%となっています。

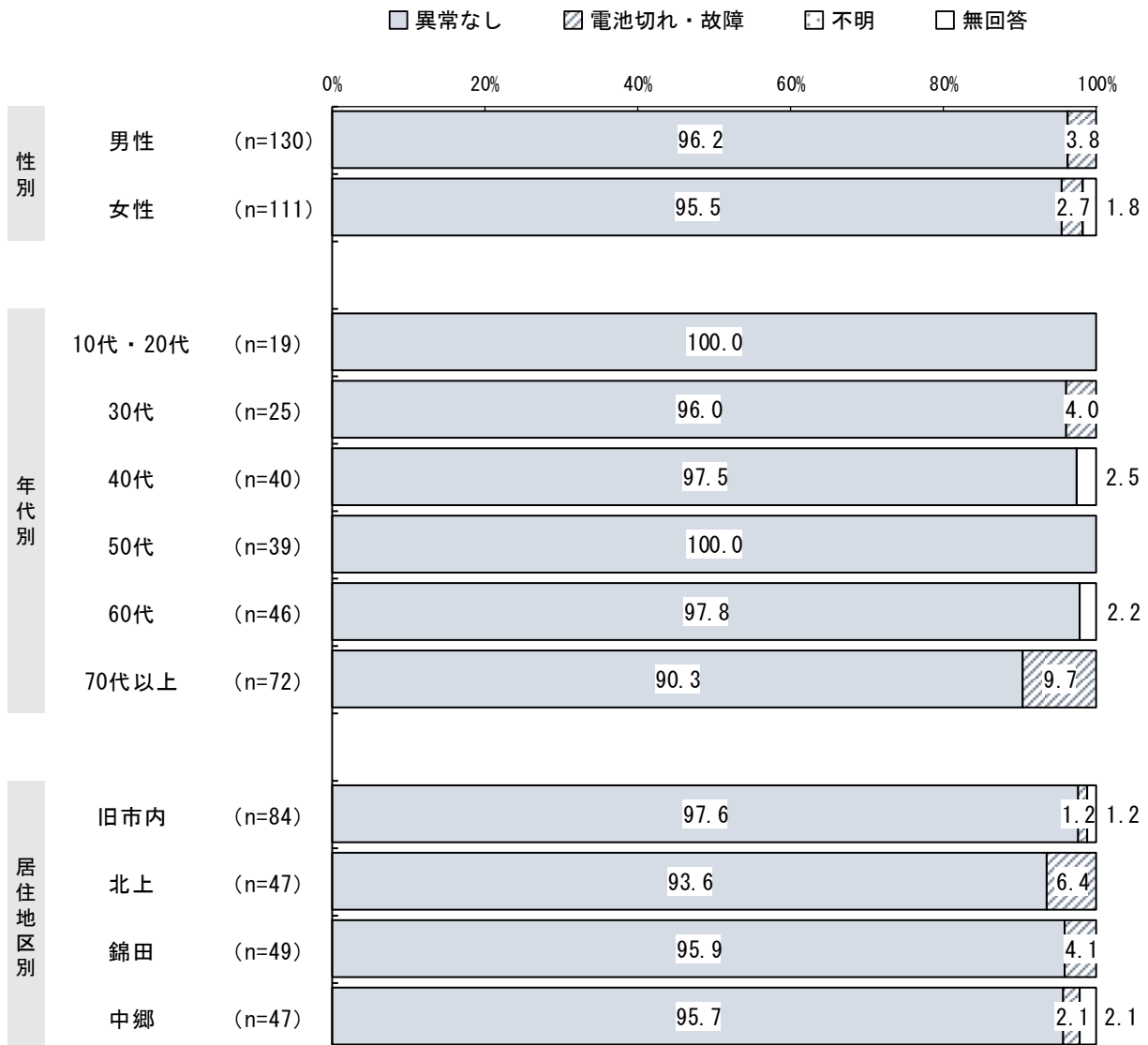


【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「異常なし」(男性96.2%、女性95.5%)が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「異常なし」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「異常なし」が最も多くなっています。



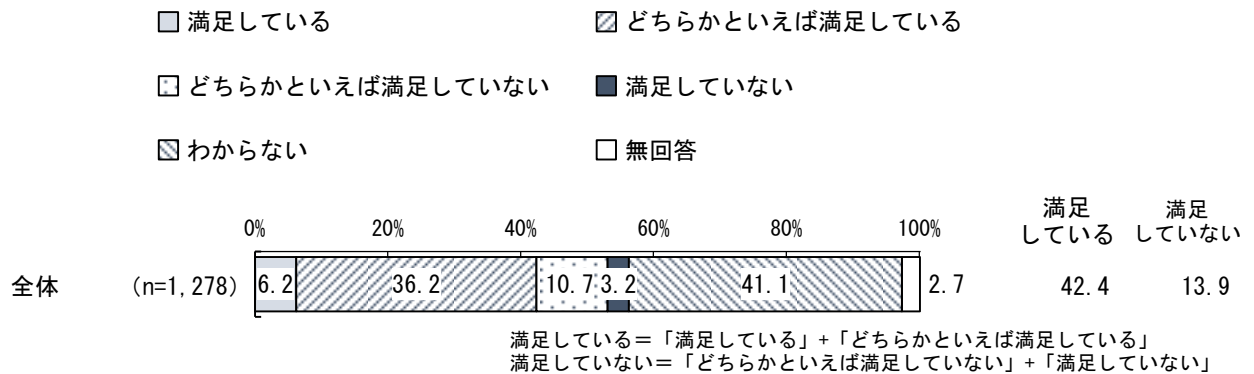
## (12) 文化的環境について

問29 あなたは、三島市の文化的環境（鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的街並みの保存・整備など）に満足していますか。（○は一つ）

### －文化的環境に“満足”している人は42.4%－

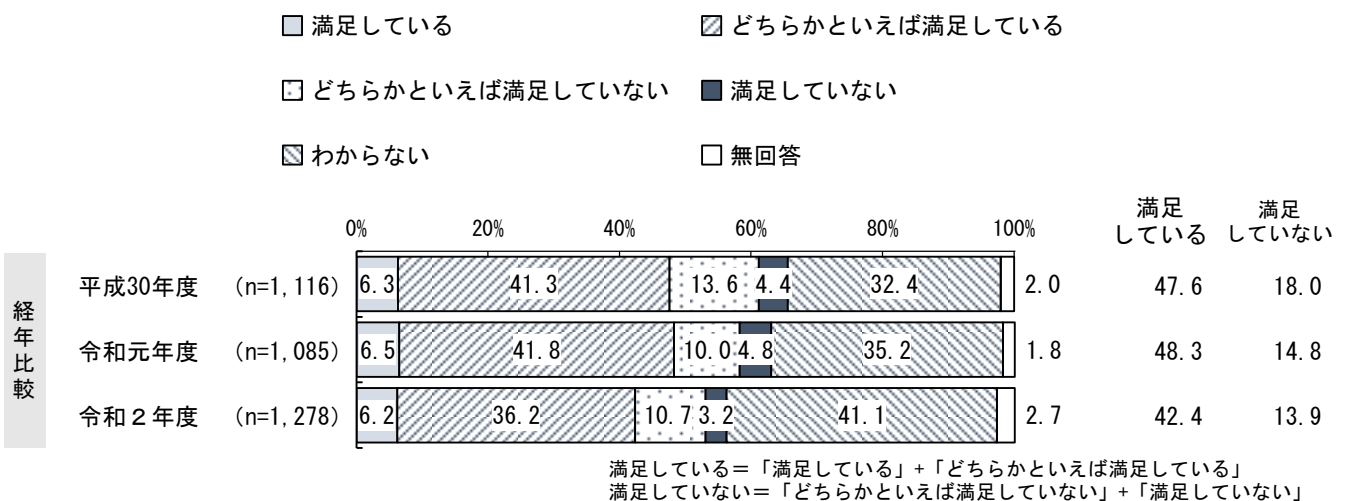
「満足している」（6.2%）と「どちらかといえば満足している」（36.2%）を合わせた“満足している”は42.4%となっています。

「どちらかといえば満足していない」（10.7%）と「満足していない」（3.2%）を合わせた“満足していない”は13.9%となっています。



### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度から令和2年度にかけて、“満足している”の割合が減少しています。

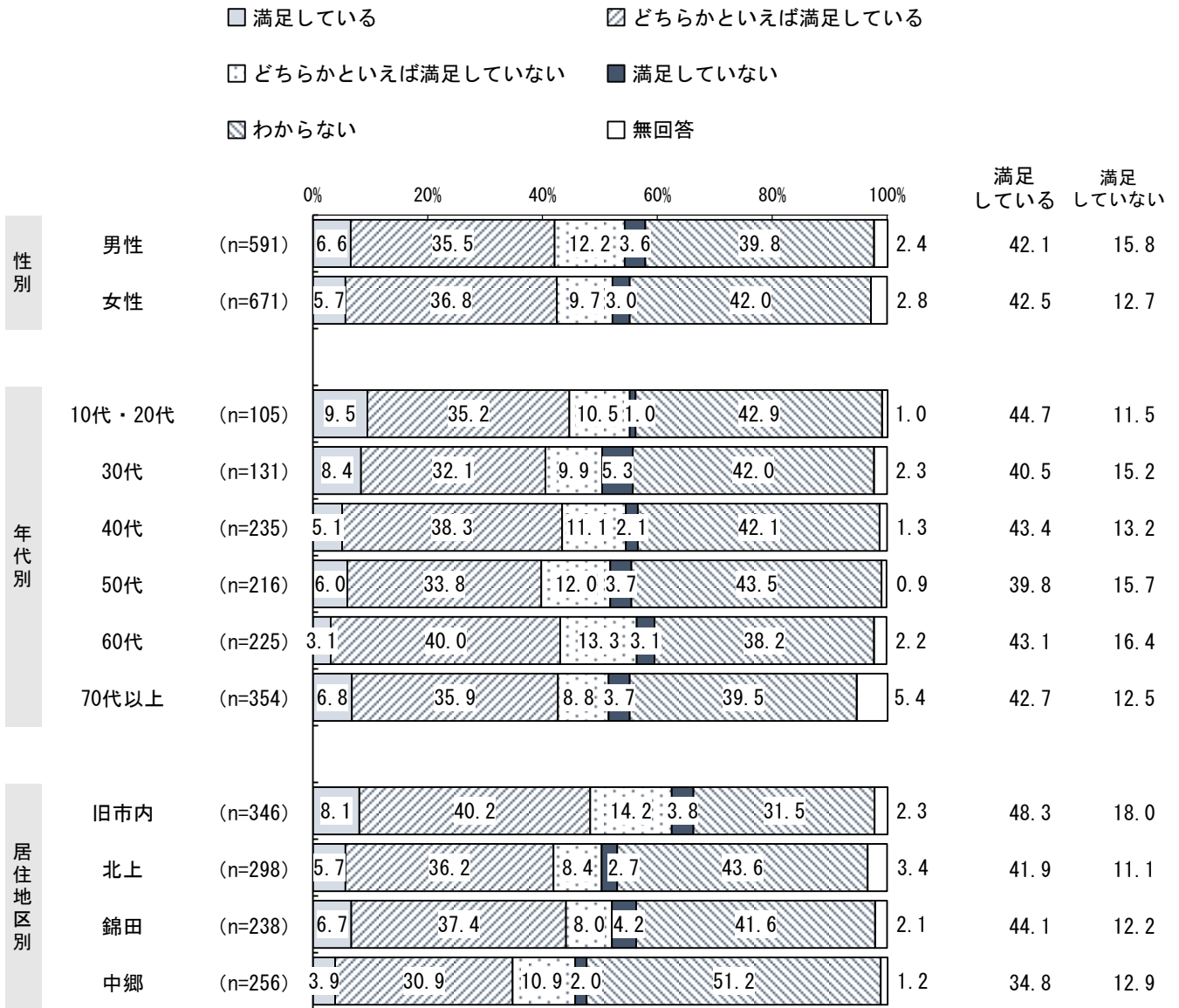


## 【属性別比較】

性別でみると、“満足している”（男性42.1%、女性42.5%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、すべての年代で“満足している”は約4割となっています。

居住地区別でみると、中郷で“満足している”（34.8%）の割合が低くなっています。



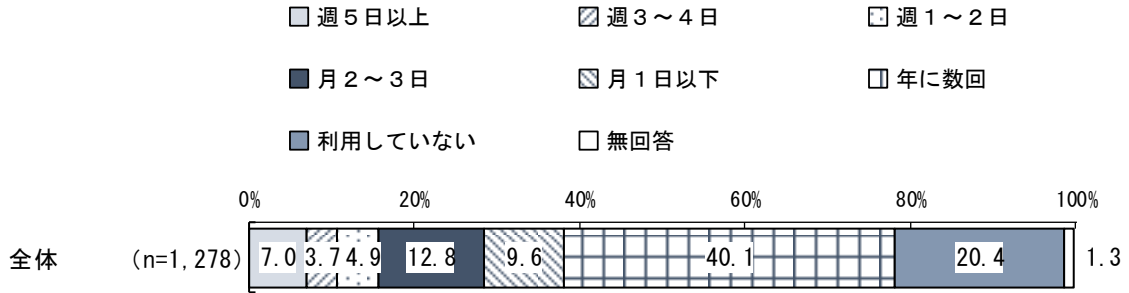
満足している = 「満足している」 + 「どちらかといえば満足している」  
 満足していない = 「どちらかといえば満足していない」 + 「満足していない」

### (13) 公共交通について

問30 過去1年間に公共交通（電車、バス、タクシー）をどの程度利用しましたか。（○は一つ）

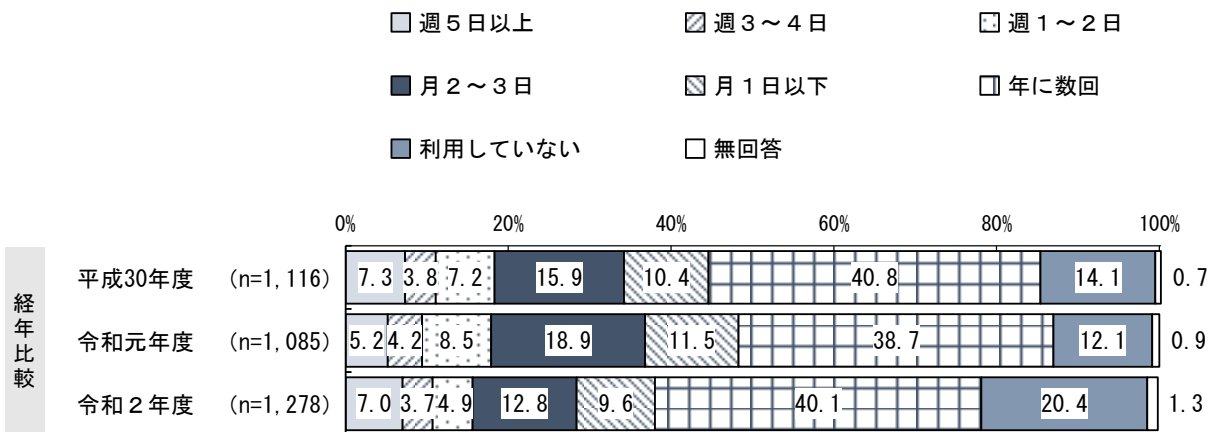
#### —過去1年間に公共交通を利用したのは「年に数回」が40.1%—

「年に数回」（40.1%）が最も多く、続いて「利用していない」（20.4%）、「月2～3日」（12.8%）となっています。



#### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度と比べて「利用していない」が増加しています。

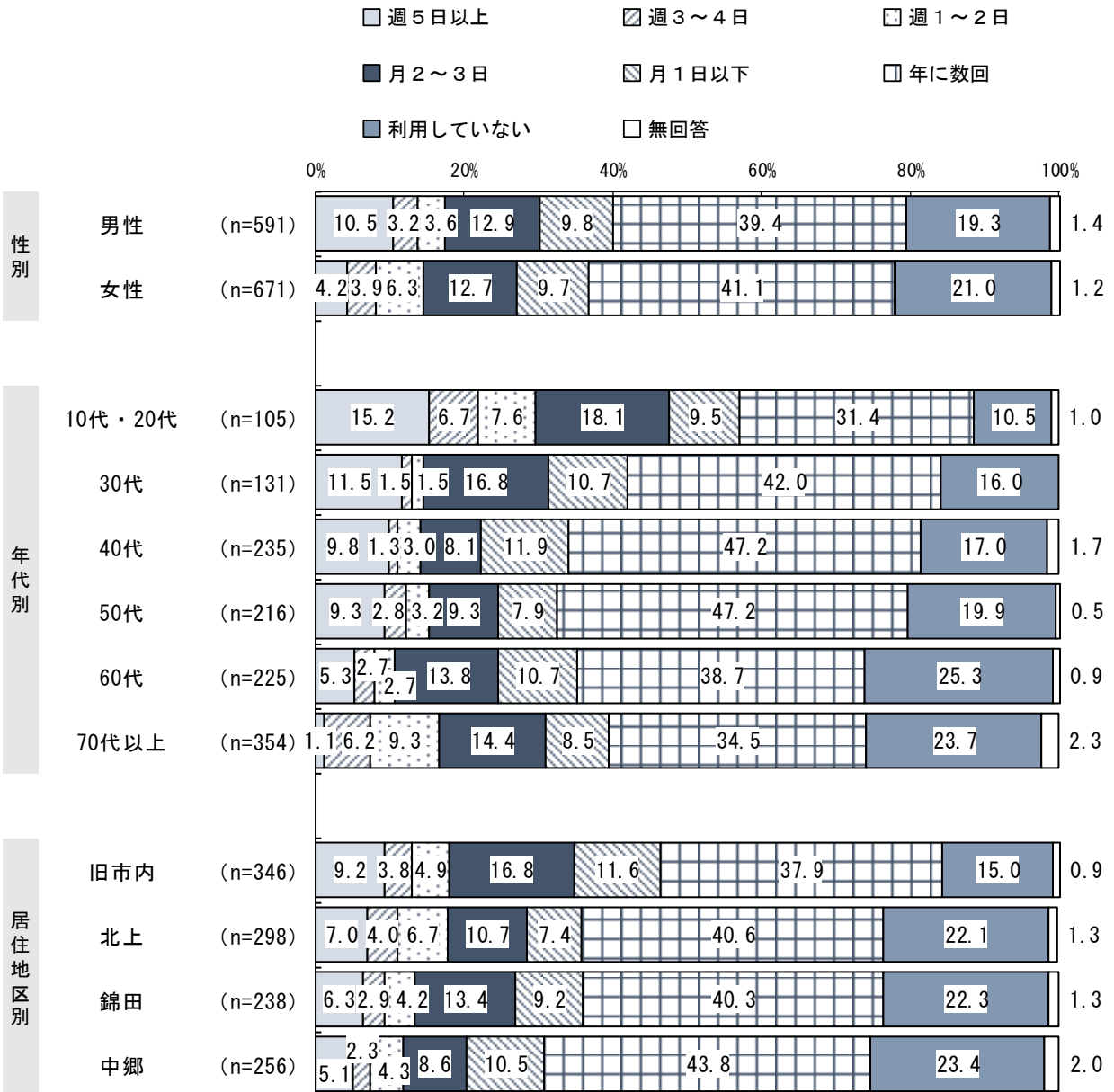


## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「年に数回」（男性39.4%、女性41.1%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「年に数回」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「年に数回」が最も多く、約4割となっています。

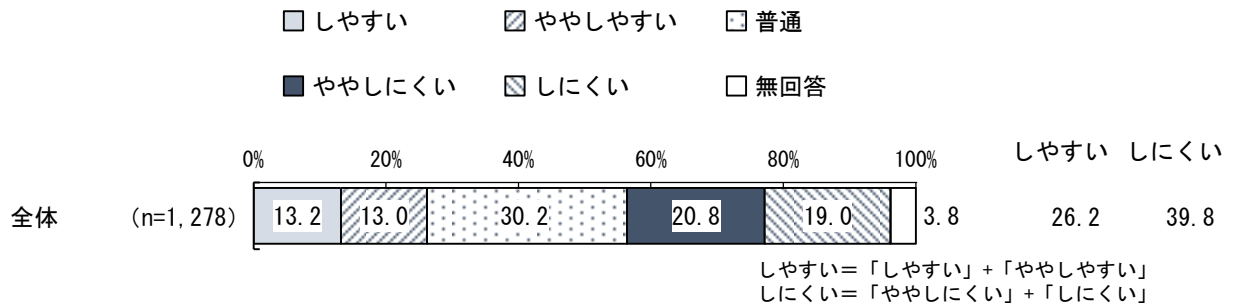




問31 公共交通（電車、バス、タクシー）を利用しての外出や移動がしやすいですか。（〇は一つ）

—公共交通を利用して“移動しやすい”と思う人は26.2%—

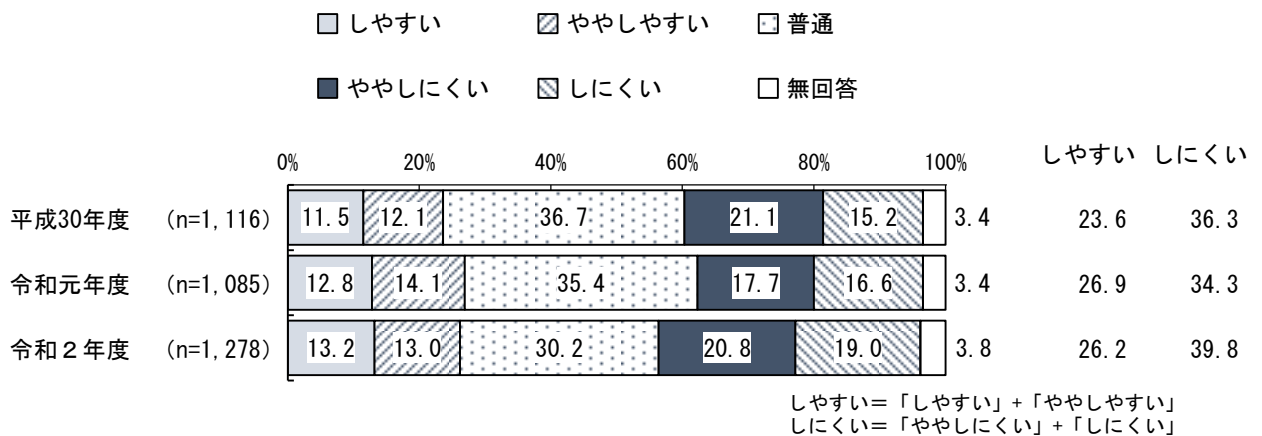
「しやすい」（13.2%）と「ややしやすい」（13.0%）を合わせた“しやすい”の割合は26.2%、「普通」の割合は30.2%、「ややしにくい」（20.8%）と「しにくい」（19.0%）を合わせた“しにくい”の割合は39.8%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「しにくい」が徐々に増加しています。

経年比較

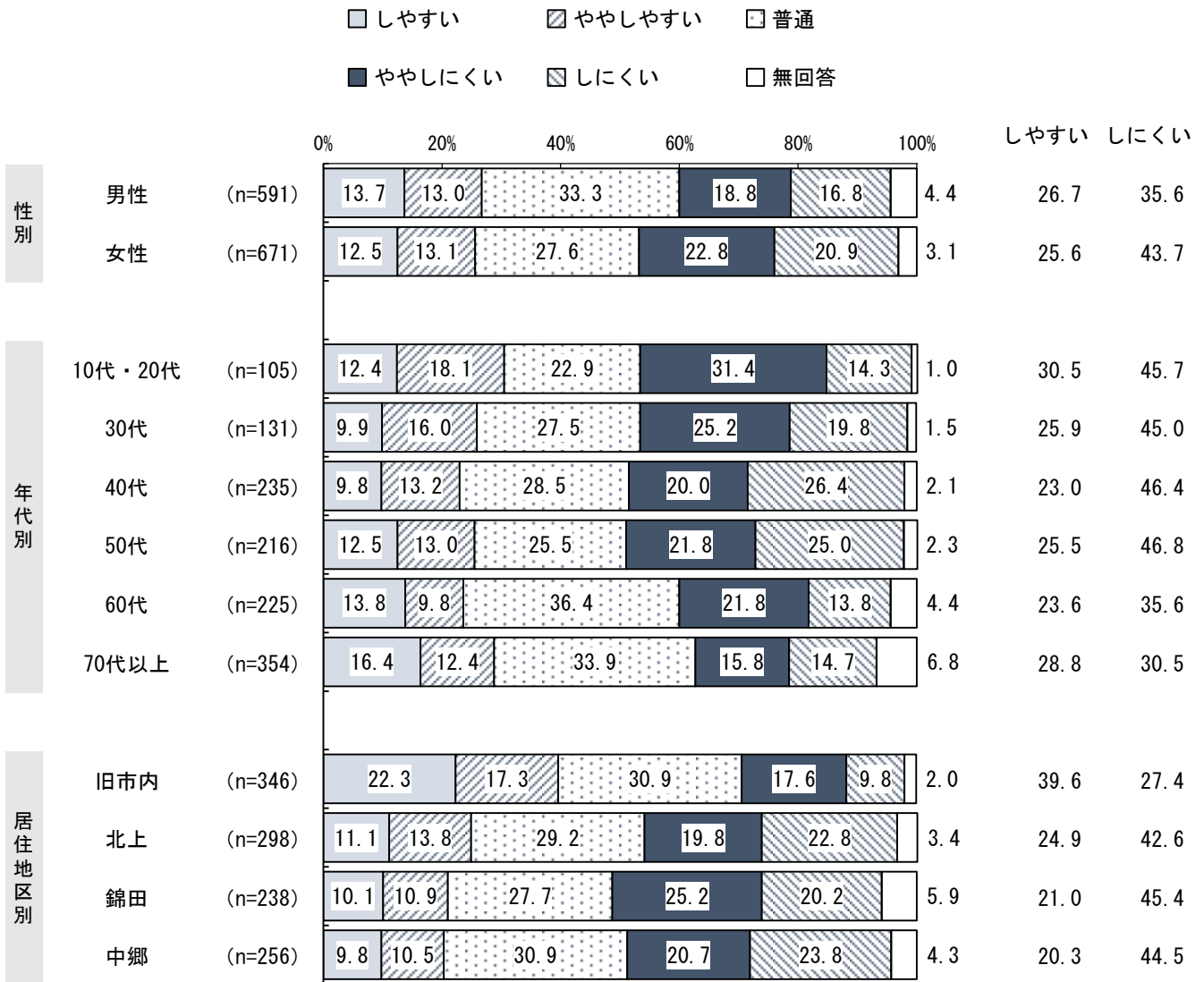


## 【属性別比較】

性別でみると、“しやすい”（男性26.7%、女性25.6%）は、大きな差はみられません。

年代別でみると、60代以上では「普通」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、旧市内では“しやすい”（39.6%）が“しにくい”（27.4%）よりも多くなっています。



しやすい = 「しやすい」 + 「ややししやすい」  
 しにくい = 「ややしにくい」 + 「しにくい」

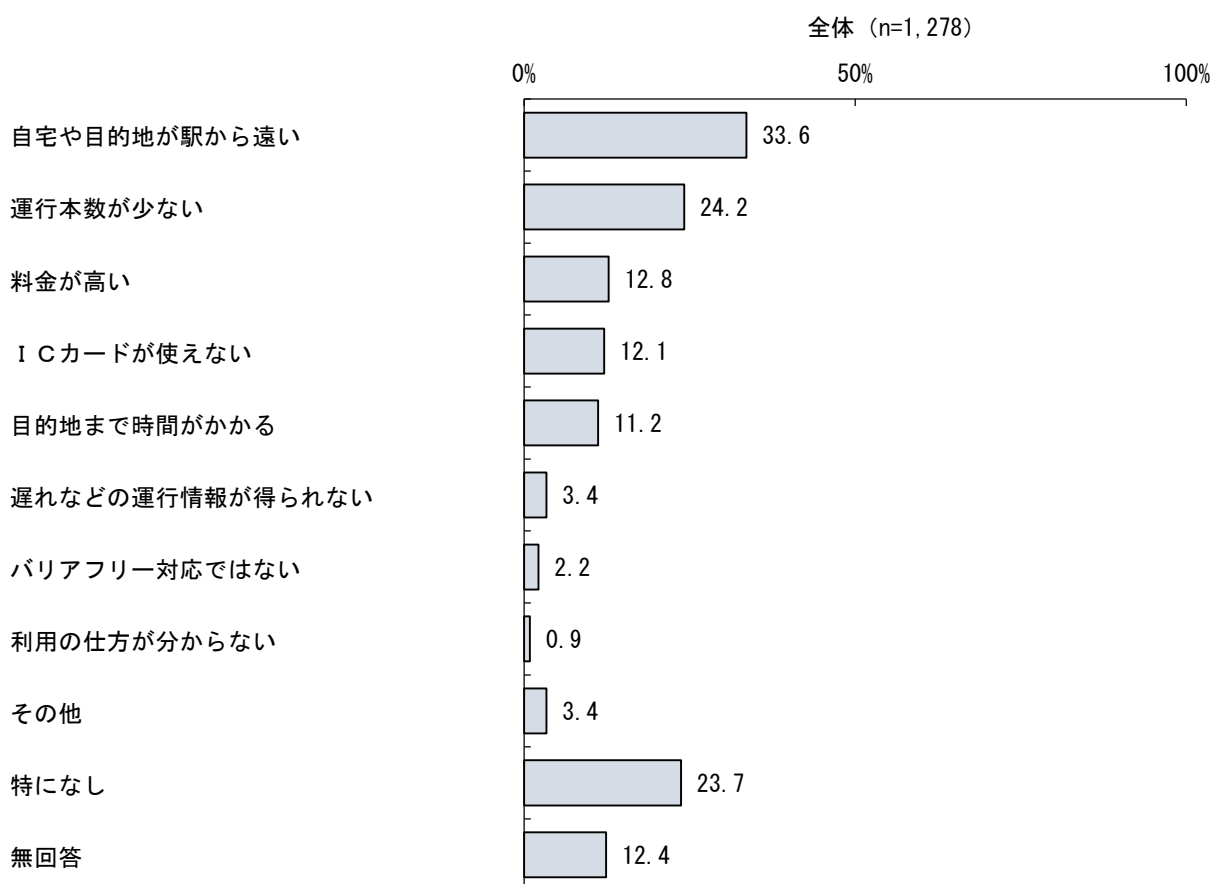
問32 公共交通（電車、バス、タクシー）を利用しての外出や移動がしにくいと感じる理由は何ですか。（〇はいくつでも）

（1）鉄道の場合

—鉄道を利用しての外出や移動がしにくいと感じる理由は

「自宅や目的地が駅から遠い」が33.6%—

「自宅や目的地が駅から遠い」（33.6%）が最も多く、続いて「運行本数が少ない」（24.2%）、「料金が低い」（12.8%）となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「自宅や目的地が駅から遠い」（男性30.3%、女性37.0%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で、「自宅や目的地が駅から遠い」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、北上・錦田・中郷では「自宅や目的地が駅から遠い」が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	利用の仕方が分からない	自宅や目的地が駅から遠い	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	遅れなどの運行情報が得られない	料金が高い	ICカードが使えない	バリアフリー対応ではない	その他	特になし	無回答
全体		1,278	0.9	33.6	24.2	11.2	3.4	12.8	12.1	2.2	3.4	23.7	12.4
性別	男性	591	1.2	30.3	22.5	9.8	3.6	12.9	11.2	2.2	2.7	27.1	10.8
	女性	671	0.7	37.0	25.9	12.5	3.4	12.5	12.8	2.2	3.9	20.7	13.7
年代別	10代・20代	105	-	33.3	33.3	11.4	1.9	20.0	27.6	1.0	4.8	15.2	4.8
	30代	131	0.8	38.2	35.1	15.3	4.6	13.0	16.8	1.5	6.9	16.8	6.1
	40代	235	0.4	36.6	31.9	9.8	3.8	14.5	14.9	-	3.0	22.1	9.4
	50代	216	0.5	40.3	27.8	10.6	4.6	18.1	19.9	2.3	2.8	18.5	9.3
	60代	225	1.8	32.0	16.9	11.6	2.7	12.9	4.9	3.6	1.3	27.6	13.3
	70代以上	354	1.4	28.0	15.3	10.7	3.1	6.5	3.7	3.4	3.4	30.2	20.1
居住地区別	旧市内	346	0.6	22.0	23.1	10.1	4.6	17.3	17.9	4.3	4.6	23.7	14.2
	北上	298	1.0	33.6	32.9	10.7	3.0	13.1	6.0	2.3	3.4	23.8	11.4
	錦田	238	0.8	39.5	21.4	10.9	1.3	9.7	11.3	0.4	2.5	23.5	13.9
	中郷	256	1.2	45.3	18.0	14.1	4.7	9.0	12.1	1.6	2.3	24.2	9.0

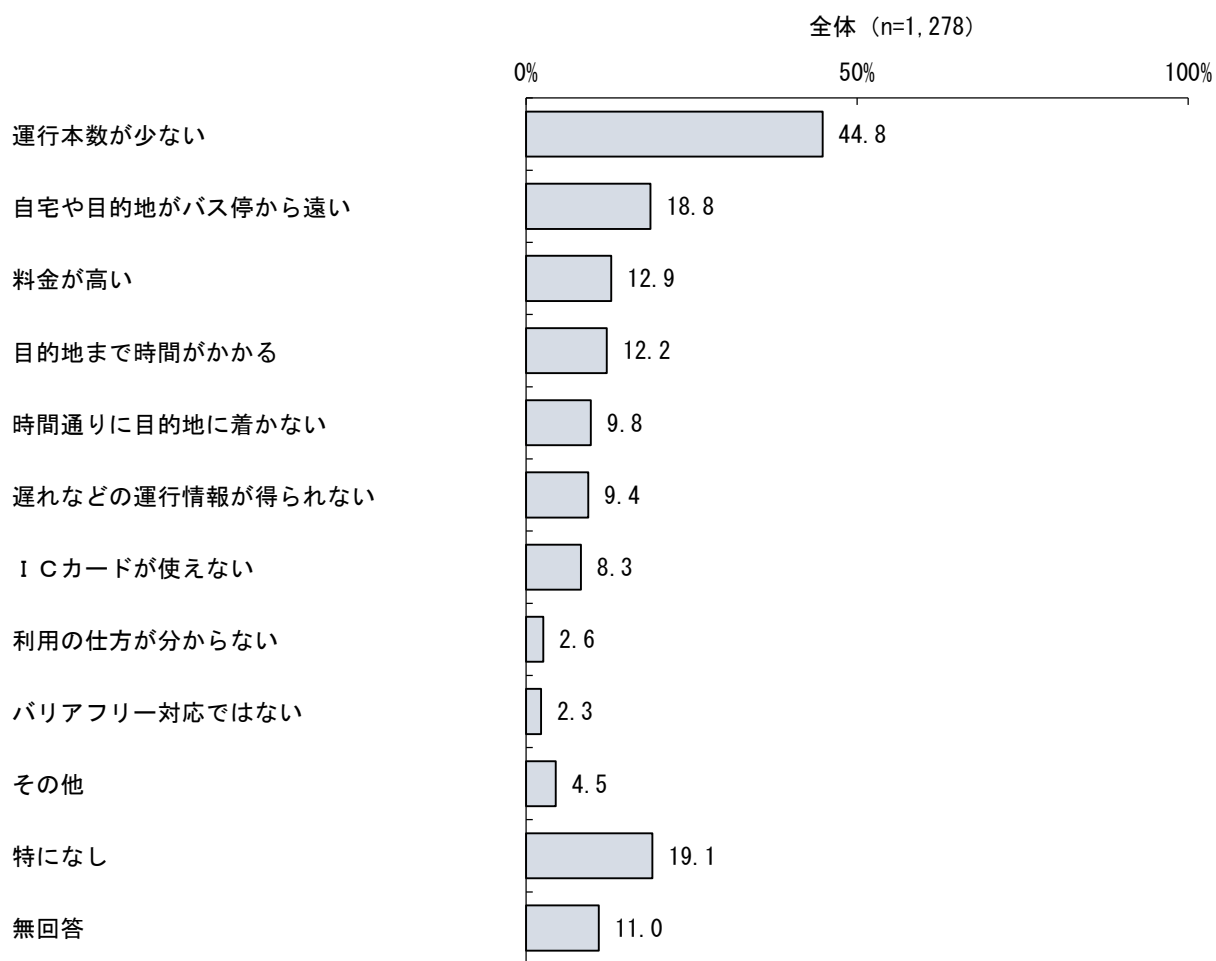
1位 :  2位 :  3位 :

## (2) バスの場合

### ーバスを利用しての外出や移動がしにくいと感じる理由は

#### 「運行本数が少ない」が44.8%ー

「運行本数が少ない」(44.8%)が最も多く、続いて「自宅や目的地がバス停から遠い」(18.8%)、「料金が高い」(12.9%)となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「運行本数が少ない」（男性42.8%、女性46.9%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「運行本数が少ない」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「運行本数が少ない」が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	利用の仕方が分からない	自宅や目的地がバス停から遠い	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	時間通りに目的地に着かない	遅れなどの運行情報が得られない	料金が高い	ICカードが使えない	バリアフリー対応ではない	その他	特になし	無回答
全体		1,278	2.6	18.8	44.8	12.2	9.8	9.4	12.9	8.3	2.3	4.5	19.1	11.0
性別	男性	591	3.4	17.3	42.8	10.2	6.1	8.1	11.7	7.4	2.2	4.9	22.5	10.7
	女性	671	1.9	20.4	46.9	14.3	13.3	10.4	13.7	9.2	2.2	4.3	16.2	10.9
年代別	10代・20代	105	2.9	19.0	43.8	12.4	14.3	16.2	12.4	19.0	1.0	5.7	17.1	3.8
	30代	131	3.1	22.1	51.9	13.7	15.3	13.7	13.0	13.7	0.8	6.1	11.5	4.6
	40代	235	3.4	24.7	51.5	14.5	9.4	11.5	14.9	8.1	0.9	6.8	14.5	8.1
	50代	216	1.9	20.4	56.5	16.7	17.1	10.6	19.9	12.0	2.8	3.7	14.4	8.8
	60代	225	2.2	14.7	44.4	13.3	5.8	8.0	14.7	5.8	2.2	1.8	21.3	12.0
	70代以上	354	2.5	15.5	32.2	7.1	5.1	4.8	6.5	2.8	3.7	4.5	27.1	17.2
居住地区別	旧市内	346	4.0	18.2	37.9	12.7	11.8	11.8	12.7	11.8	4.3	5.5	19.9	12.4
	北上	298	1.0	16.1	52.0	12.1	11.1	11.1	15.1	3.4	1.7	4.7	17.4	10.7
	錦田	238	1.3	14.7	52.1	12.2	8.8	6.7	13.4	12.6	2.1	4.6	18.9	10.1
	中郷	256	4.3	28.1	39.1	12.1	6.6	7.4	9.8	6.3	1.2	2.7	21.1	9.4

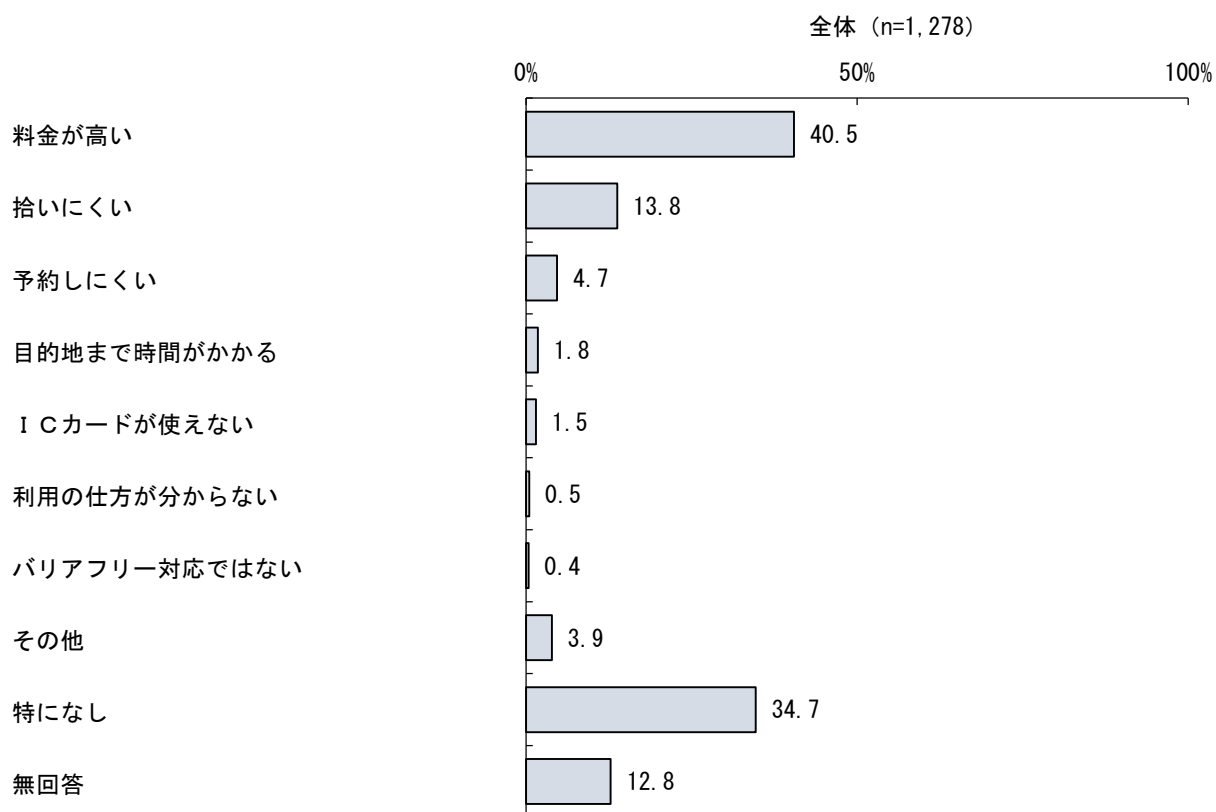
1位 :  2位 :  3位 :

### (3) タクシーの場合

#### ータクシーを利用時の外出や移動がしにくいと感じる理由は

#### 「料金が高い」が40.5%ー

「料金が高い」(40.5%)が最も多く、続いて「拾いにくい」(13.8%)、「予約しにくい」(4.7%)となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「料金が高い」（男性38.6%、女性42.5%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「料金が高い」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「料金が高い」が最も多くなっています。

単位(%)

		調査数	利用の仕方が分からない	目的地まで時間がかかる	料金が高い	ICカードが使えない	拾いにくい	予約しにくい	バリアフリー対応ではない	その他	特になし	無回答
全体		1,278	0.5	1.8	40.5	1.5	13.8	4.7	0.4	3.9	34.7	12.8
性別	男性	591	0.5	1.9	38.6	1.9	13.9	3.7	0.3	3.4	37.4	11.7
	女性	671	0.4	1.6	42.5	1.2	13.9	5.7	0.4	4.3	32.0	13.7
年代別	10代・20代	105	1.9	1.0	50.5	3.8	19.0	4.8	1.0	2.9	29.5	5.7
	30代	131	-	1.5	45.0	2.3	22.1	5.3	-	2.3	31.3	9.2
	40代	235	-	1.7	49.4	1.7	16.6	2.6	0.4	6.0	30.2	10.6
	50代	216	-	1.9	53.2	2.3	18.1	6.0	0.9	1.9	24.5	9.7
	60代	225	0.9	1.8	37.3	-	8.4	4.9	-	3.1	40.0	12.9
	70代以上	354	0.6	2.3	25.4	0.8	8.5	5.1	0.3	5.1	42.4	19.2
居住地区別	旧市内	346	0.6	0.9	39.9	1.4	13.6	6.1	-	4.3	33.8	13.9
	北上	298	0.7	2.0	39.6	0.7	15.1	5.4	0.7	5.0	33.6	13.1
	錦田	238	0.4	2.1	37.0	2.5	15.5	4.2	0.8	2.5	38.7	12.2
	中郷	256	0.4	3.1	43.8	1.2	10.9	3.5	0.4	2.3	35.9	9.8

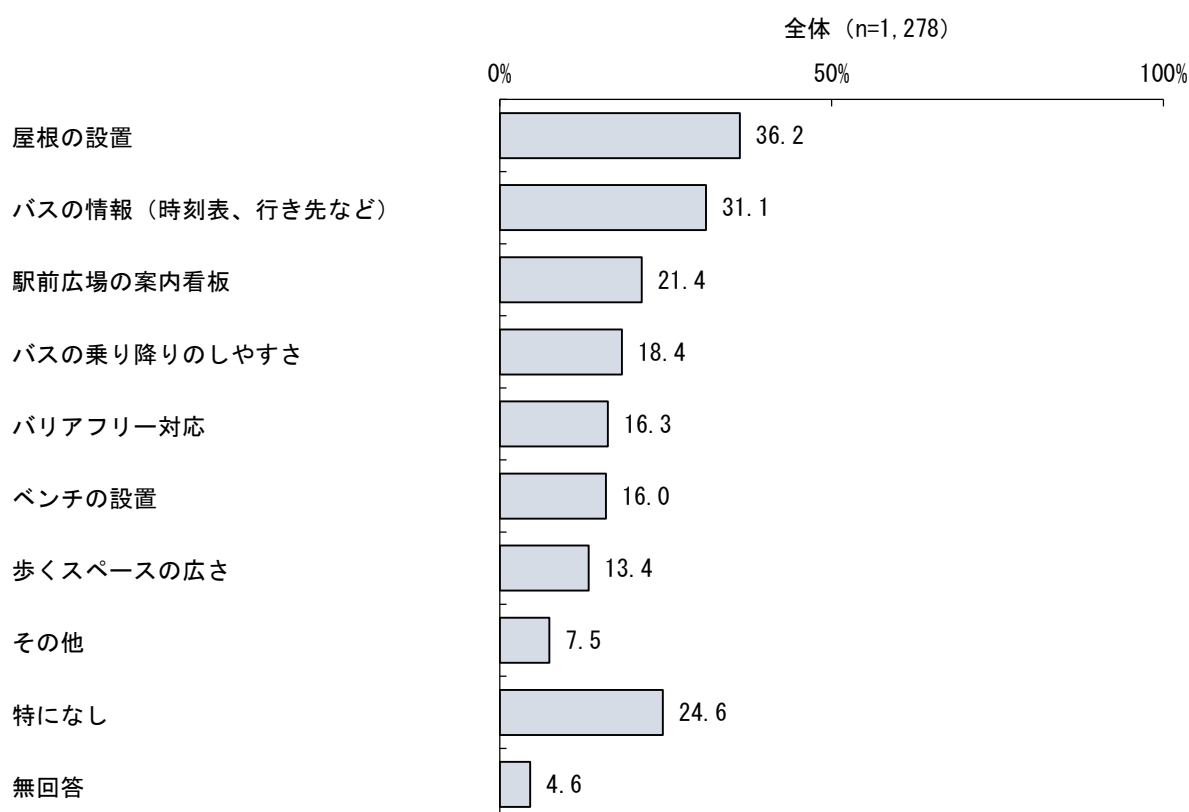
1位 :  2位 :  3位 : 



問33 三島市では、鉄道・バス・タクシーが多く乗り入れる三島駅駅前広場（南口）を快適に利用できるようにするための環境整備を考えていますが、改善が必要と思われるものは何ですか。（〇はいくつでも）

－三島駅駅前広場の環境整備のために改善が必要と思われるものは  
「屋根の設置」が36.2%－

「屋根の設置」（36.2%）が最も多く、続いて「バスの情報（時刻表、行き先など）」（31.1%）、「駅前広場の案内看板」（21.4%）となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「屋根の設置」（男性37.6%、女性35.3%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「屋根の設置」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「屋根の設置」が最も多くなっています。

単位 (%)

		調査数	駅前広場の案内看板	バスの情報（時刻表、行き先など）	ベンチの設置	屋根の設置	バスの乗り降りのしやすさ	歩くスペースの広さ	バリアフリー対応	その他	特になし	無回答
全体		1,278	21.4	31.1	16.0	36.2	18.4	13.4	16.3	7.5	24.6	4.6
性別	男性	591	20.8	27.6	15.7	37.6	18.1	13.7	16.4	8.5	27.1	3.6
	女性	671	22.4	34.6	16.5	35.3	19.1	13.4	16.4	6.9	23.0	4.0
年代別	10代・20代	105	19.0	33.3	14.3	41.9	7.6	15.2	13.3	7.6	19.0	1.0
	30代	131	23.7	38.9	13.0	43.5	19.8	18.3	17.6	10.7	17.6	3.1
	40代	235	19.1	36.6	10.2	36.6	16.2	12.8	12.8	8.1	21.7	3.4
	50代	216	26.4	39.4	17.1	44.9	21.8	13.4	21.8	7.4	22.2	3.2
	60代	225	23.1	30.2	17.8	32.4	18.7	13.3	17.8	9.8	25.8	3.1
	70代以上	354	19.2	20.1	20.3	29.4	20.9	11.9	15.3	4.8	32.5	5.9
居住地区別	旧市内	346	26.3	38.2	15.3	41.0	22.5	18.5	21.4	9.0	15.0	4.0
	北上	298	21.1	24.5	18.1	39.3	19.5	12.1	16.1	6.7	27.2	4.0
	錦田	238	20.2	31.9	13.4	32.4	16.4	10.1	17.6	8.4	27.7	4.2
	中郷	256	19.1	28.1	17.6	35.9	15.2	12.1	10.5	5.5	29.3	4.3

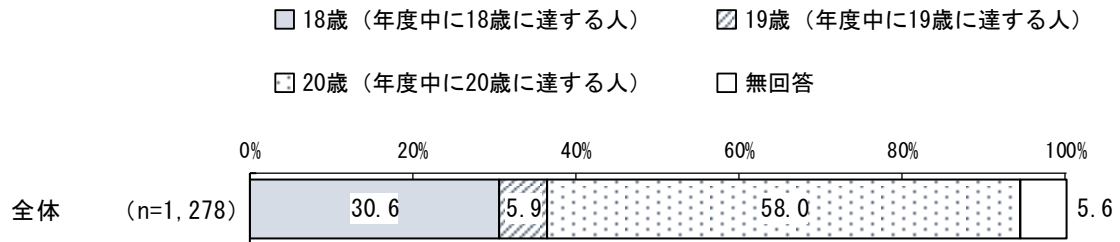
1位 :  2位 :  3位 :

## (14) 成人式について

問34 令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられた後、成人式は何歳の人を対象に実施するのがよいと思いますか。(〇は一つ)

### —成人式の対象年齢は「20歳（年度中に20歳に達する人）」が58.0%—

「20歳（年度中に20歳に達する人）」(58.0%)が最も多く、続いて「18歳（年度中に18歳に達する人）」(30.6%)、「19歳（年度中に19歳に達する人）」(5.9%)となっています。

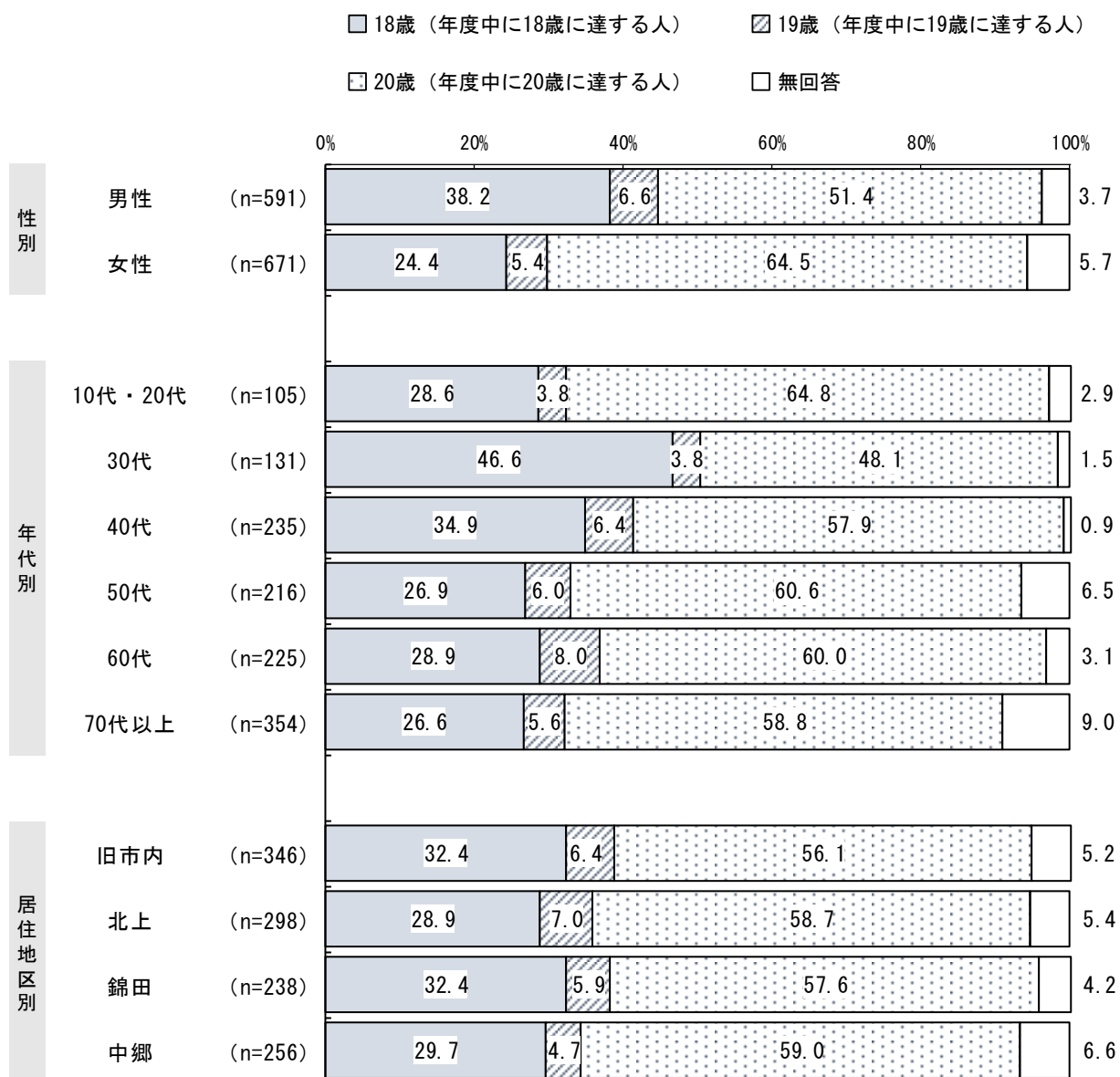


## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「20歳（年度中に20歳に達する人）」（男性51.4%、女性64.5%）が最も多くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「20歳（年度中に20歳に達する人）」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「20歳（年度中に20歳に達する人）」が5割を超えています。



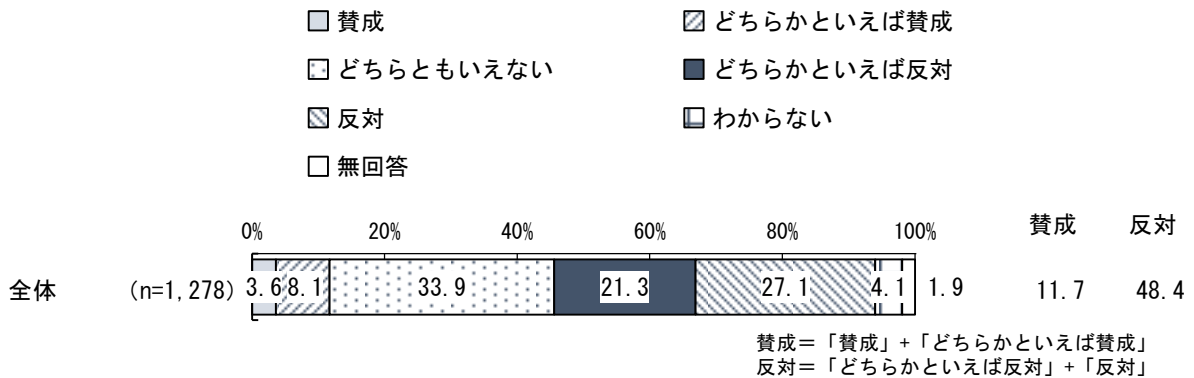
## (15) 男女共同参画について

問35 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は一つ)

### －性別役割分担意識に“反対”は48.4%－

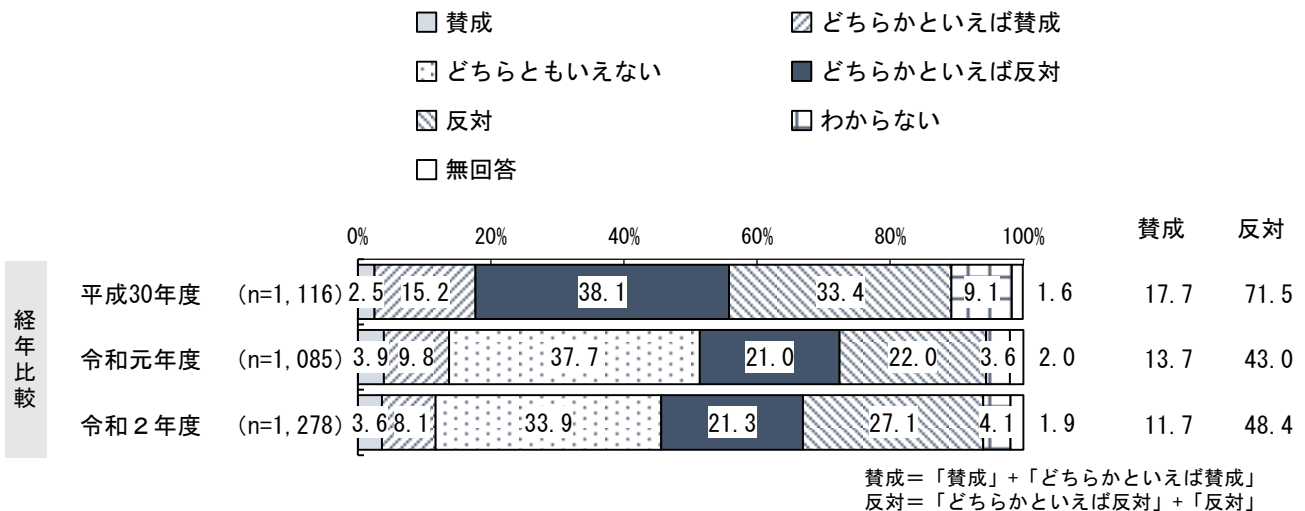
「賛成」(3.6%)と「どちらかといえば賛成」(8.1%)を合わせた“賛成”は11.7%となっています。

「どちらかといえば反対」(21.3%)と「反対」(27.1%)を合わせた“反対”は48.4%となっています。



### 【経年比較】

時系列でみると、令和元年度と比べて「反対」の割合が増加しています。



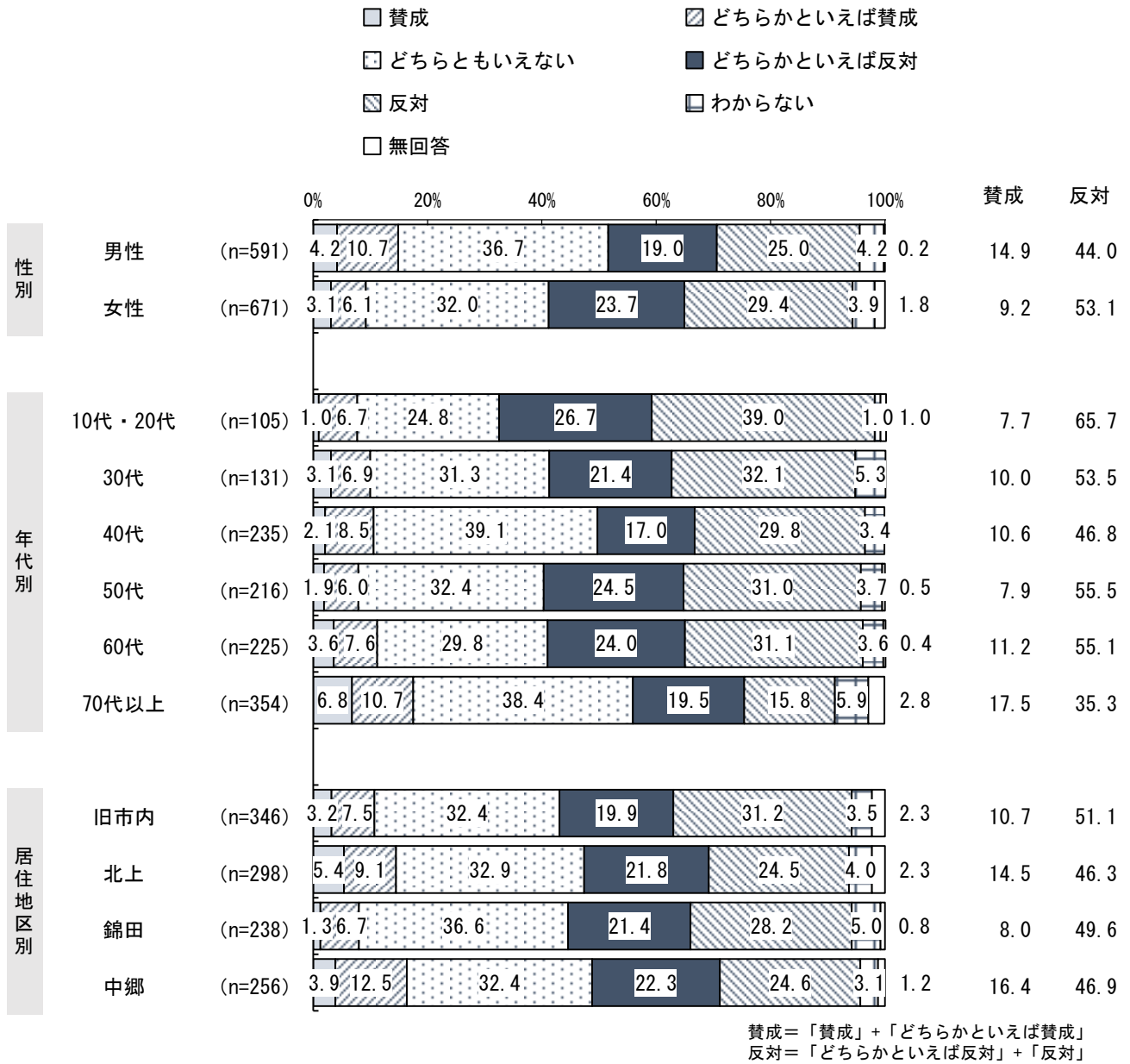
※「どちらともいえない」は令和元年度からの選択肢

## 【属性別比較】

性別でみると、“反対”は、男性（44.0%）より女性（53.1%）で割合が多くなっています。

年代別でみると、10代・20代で“反対”（65.7%）が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で“反対”が4割を超えています。



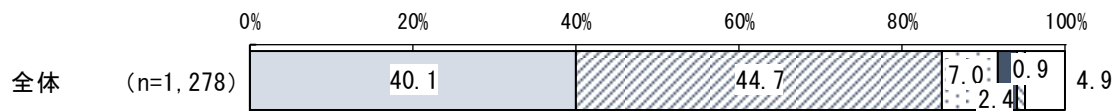
問36 一般的に女性の働き方で望ましいと思われるものはどれが一番近いですか。(○は一つ)

—女性の働き方で望ましいと思われるものは

「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」が44.7%—

「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」(44.7%)が最も多く、続いて「ずっと職業を続けるのがよい」(40.1%)、「子どもができるまでは職業をもつほうがよい」(7.0%)となっています。

- ずっと職業を続けるのがよい
- 子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい
- 子どもができるまでは職業をもつほうがよい
- 結婚するまでは職業をもつほうがよい
- 女性は職業をもたないほうがよい
- 無回答

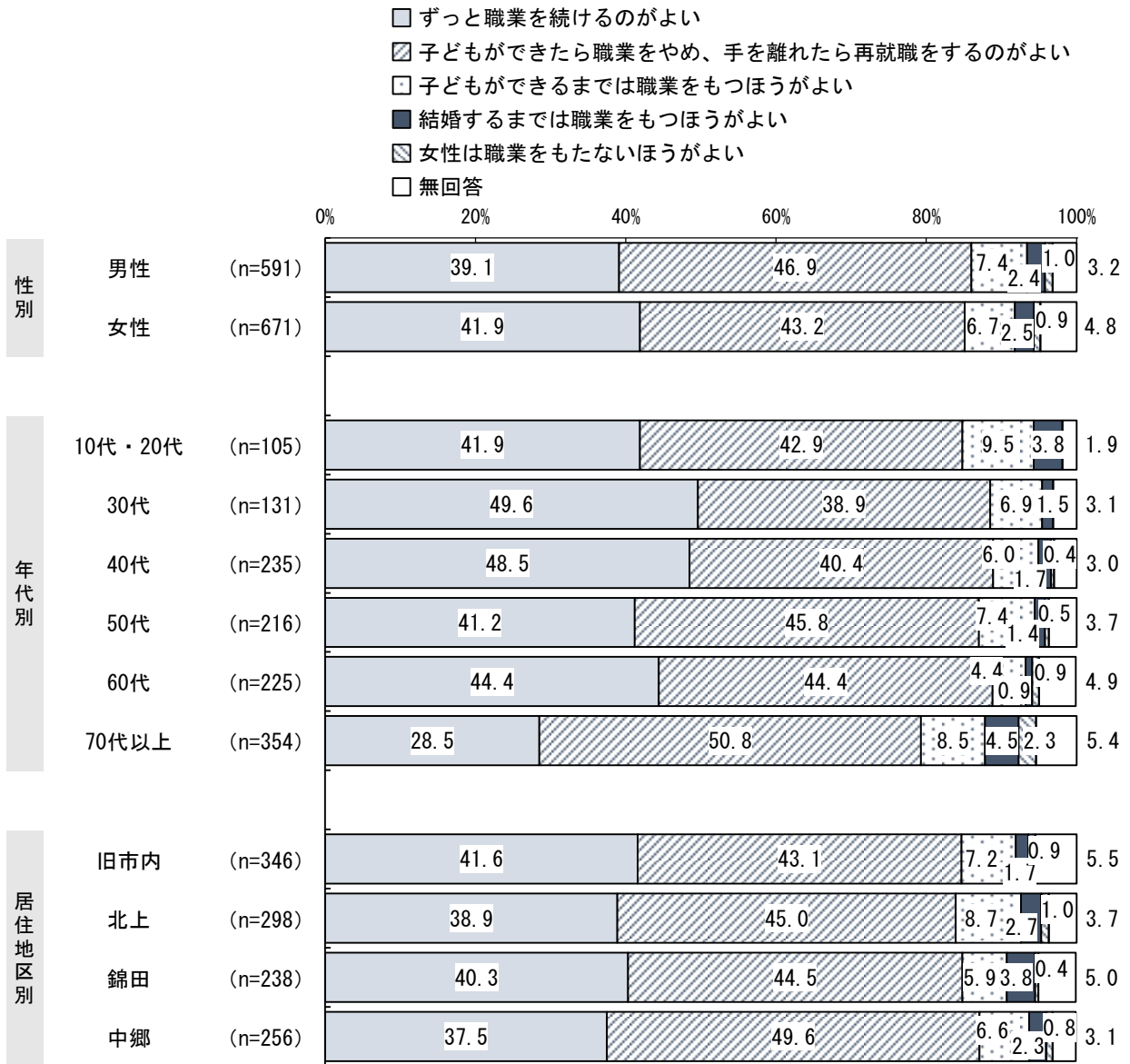


## 【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」(男性46.9%、女性43.2%)が最も多くなっています。

年代別でみると、30代・40代では「ずっと職業を続けるのがよい」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」が最も多くなっています。





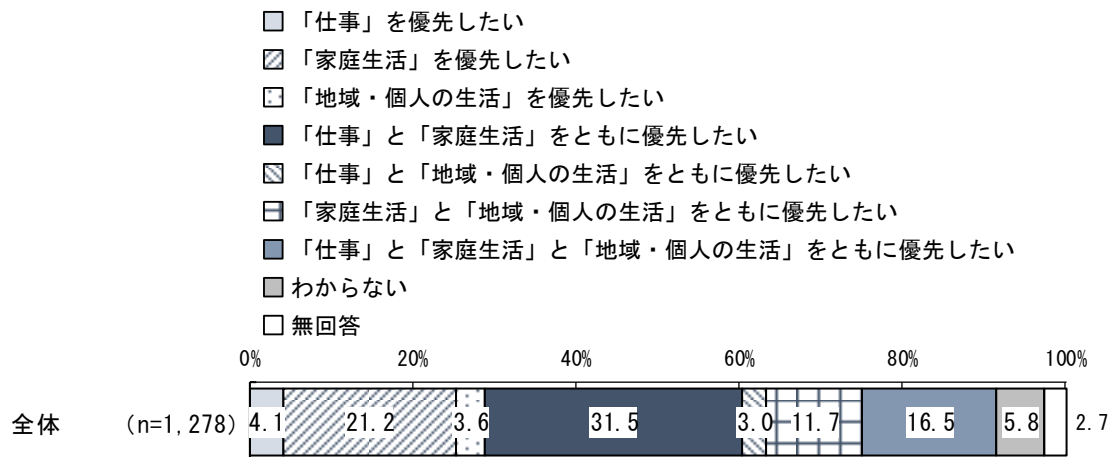
問37 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。

(1) あなたの希望に最も近いものをお答えください。(〇は一つ)

—生活の中での希望することは

「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が31.5%—

「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」(31.5%)が最も多く、続いて「『家庭生活』を優先したい」(21.2%)、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」(16.5%)となっています。

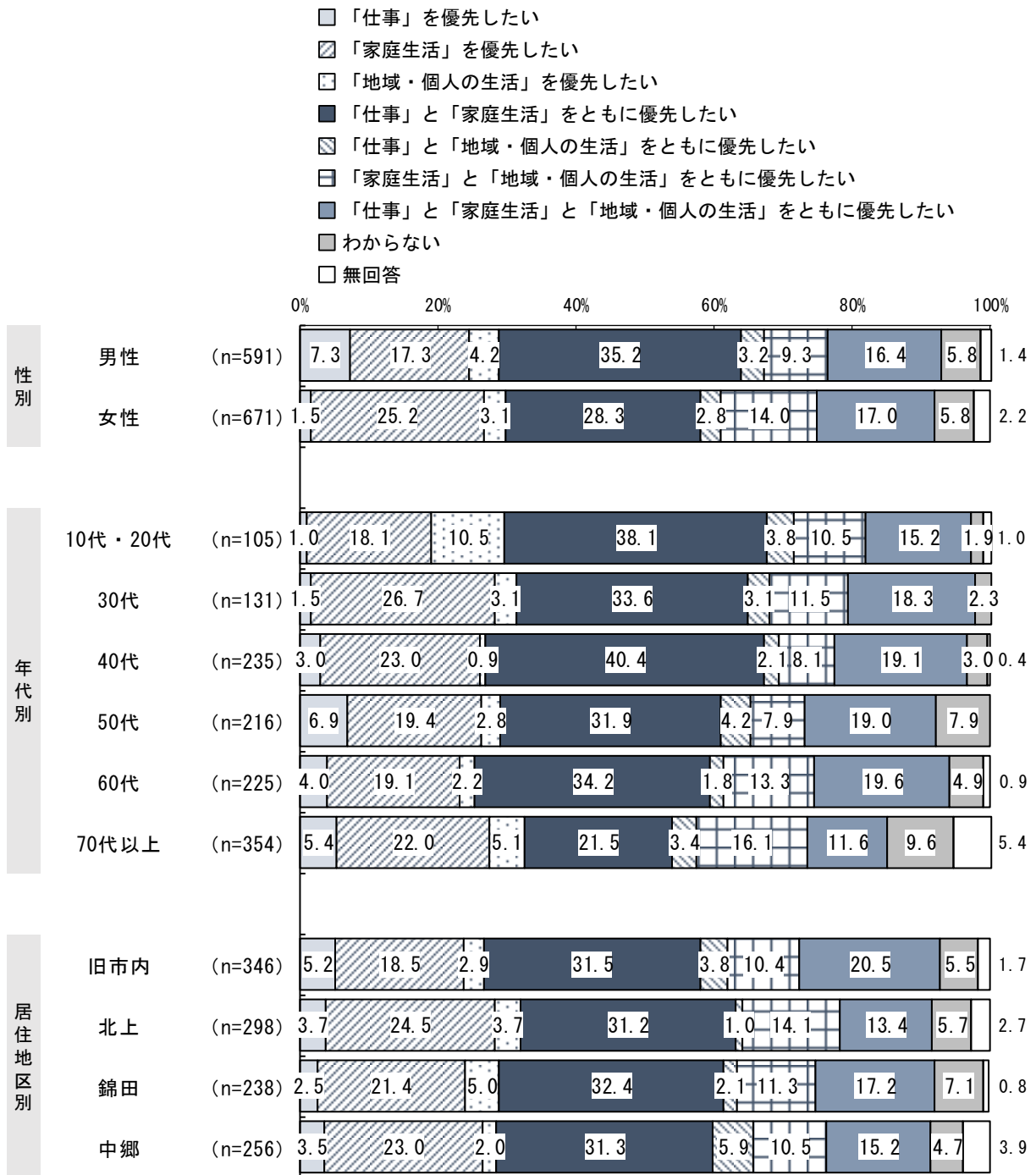


## 【属性別比較】

性別でみると、『家庭生活』を優先したいは、男性（17.3%）より女性（25.2%）の割合が多くなっています。

年代別でみると、60代以下では『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが最も多くなっています。

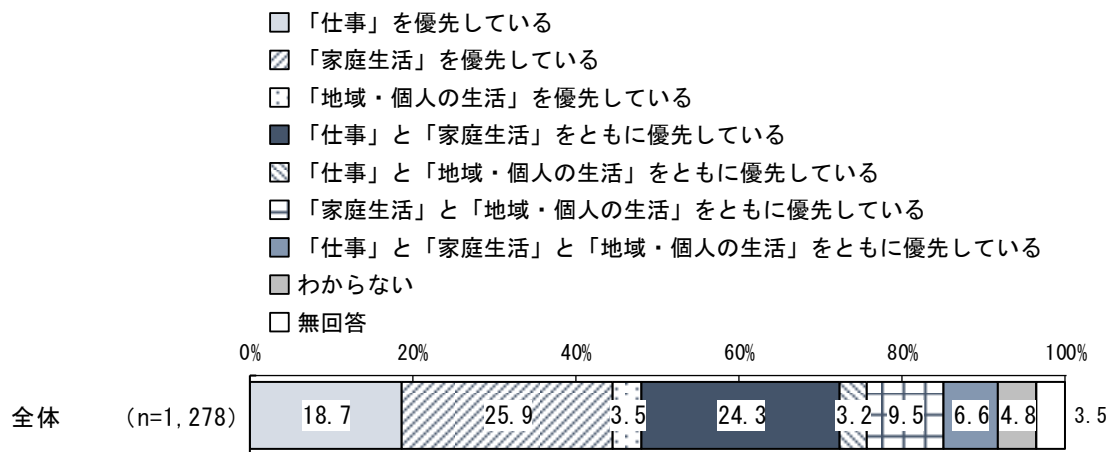
居住地区別でみると、すべての居住地区で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが最も多くなっています。



(2) あなたの現実・現状に最も近いものをお答えください。(〇は一つ)

—生活の中での現実・現状は『家庭生活』を優先しているが25.9%—

『家庭生活』を優先している(25.9%)が最も多く、続いて『仕事』と『家庭生活』をともに優先している(24.3%)、『仕事』を優先している(18.7%)となっています。



## 【属性別比較】

性別でみると、男性では「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」(26.6%)が最も多く、女性では「『家庭生活』を優先している」(35.2%)が最も多くなっています。

年代別でみると、30代・70代以上では「『家庭生活』を優先している」が最も多くなっています。40代・50代・60代では「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、旧市内では「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が最も多く、北上・錦田・中郷では「『家庭生活』を優先している」が最も多くなっています。

